

平成30年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		岩手県		市町村類型	中核市		指定団体等の指定状況		区分		平成30年度(千円)	平成29年度(千円)	区分		平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)
							財政健全化等		×	歳入総額	112,067,865	110,886,019	実質収支比率		1.6	1.9
									×	歳出総額	110,325,183	109,255,976	経常収支比率		95.1	94.4
市町村名		盛岡市		地方交付税種地	1-6		財源超過		×	歳入歳出差引	1,742,682	1,630,043	(※1)		(103.1)	(101.8)
							首都		×	翌年度に繰越すべき財源	712,597	423,470	標準財政規模		63,911,655	64,294,344
							近畿		×	実質収支	1,030,085	1,206,573	財政力指数		0.75	0.74
									×	単年度収支	-176,488	-73,058	公債費負担比率		16.5	16.7
人口		27年国調(人)	297,631 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <td>×</td> <th>積立金</th> <td>983,485</td> <td>614,857</td> <th colspan="2">健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>	産業構造 (※5)			中部	×	積立金	983,485	614,857	健全化判断比率				
		22年国調(人)	298,348 <th>過疎</th> <td>×</td> <th>繰上償還金</th> <td>0</td> <td>3,707</td> <th colspan="2">実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				過疎	×	繰上償還金	0	3,707	実質赤字比率		-	-	
		増減率 (％)	-0.2 <th>山振</th> <td>○</td> <th>積立金取崩し額</th> <td>1,141,479</td> <td>1,913,830</td> <th colspan="2">連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	○	積立金取崩し額	1,141,479	1,913,830	連結実質赤字比率		-	-	
住民基本台帳人口 (※7)		31.01.01(人)	290,136 <th>区分</th> <th>27年国調</th> <th>22年国調</th> <th>低開発</th> <td>○</td> <th>実質単年度収支</th> <td>-334,482</td> <td>-1,368,324</td> <th colspan="2">実質公債費比率</th> <td>9.3</td> <td>9.5</td>	区分	27年国調	22年国調	低開発	○	実質単年度収支	-334,482	-1,368,324	実質公債費比率		9.3	9.5	
		うち日本人(人)		288,667 <th rowspan="2">第1次</th> <td>4,797</td> <td>5,016<th>指数表選定</th><td>○</td><th colspan="2"></th><td></td><th colspan="2">将来負担比率</th><td>60.6</td><td>64.2</td></td>	第1次	4,797	5,016 <th>指数表選定</th> <td>○</td> <th colspan="2"></th> <td></td> <th colspan="2">将来負担比率</th> <td>60.6</td> <td>64.2</td>	指数表選定	○				将来負担比率		60.6	64.2
		30.01.01(人)	291,859 <td>3.4</td> <td>3.7<th colspan="2"></th><td></td><td></td><td></td></td>	3.4		3.7 <th colspan="2"></th> <td></td> <td></td> <td></td>										
		うち日本人(人)		290,422 <th rowspan="2">第2次</th> <td>20,013</td> <td>18,242<th colspan="2"></th><td></td><td></td><td></td><th colspan="2">資金不足比率 (※4)</th><td></td><td></td></td>	第2次	20,013	18,242 <th colspan="2"></th> <td></td> <td></td> <td></td> <th colspan="2">資金不足比率 (※4)</th> <td></td> <td></td>						資金不足比率 (※4)			
		増減率 (％)	-0.6 <td>14.3</td> <td>13.5<th colspan="2"></th><td></td><td></td><td></td><th colspan="2">病院事業会計</th><td>5.5</td><td>3.0</td></td>	14.3		13.5 <th colspan="2"></th> <td></td> <td></td> <td></td> <th colspan="2">病院事業会計</th> <td>5.5</td> <td>3.0</td>						病院事業会計		5.5	3.0	
		うち日本人(%)		-0.6 <th rowspan="2">第3次</th> <td>115,081</td> <td>112,277<th colspan="2"></th><td></td><td></td><td></td><th colspan="2"></th><td></td><td></td></td>	第3次	115,081	112,277 <th colspan="2"></th> <td></td> <td></td> <td></td> <th colspan="2"></th> <td></td> <td></td>									
面積 (km ²)		886.47 <td>82.3</td> <td>82.8<th colspan="2"></th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>	82.3	82.8 <th colspan="2"></th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>												
人口密度 (人/km ²)		336														
世帯数 (世帯)		129,718 <th colspan="3"></th> <th colspan="2"></th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>														
職員の状況																
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等 (※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		131,002,651	130,960,250				
	市区町村長	1	11,380 <th>一般職員</th> <td>1,636</td> <td>5,102,684</td> <td>3,119<th colspan="2">うち公的資金</th><td>107,309,025</td><td>105,400,964</td><th colspan="4"></th></td>		一般職員	1,636	5,102,684	3,119 <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>107,309,025</td> <td>105,400,964</td> <th colspan="4"></th>	うち公的資金		107,309,025	105,400,964				
	副市区町村長	2	8,820 <th>うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">債務負担行為額 (支出予定額)</th><td>39,804,896</td><td>16,837,842</td><th colspan="4"></th></td>		うち消防職員	-	-	- <th colspan="2">債務負担行為額 (支出予定額)</th> <td>39,804,896</td> <td>16,837,842</td> <th colspan="4"></th>	債務負担行為額 (支出予定額)		39,804,896	16,837,842				
	教育長	1	7,210 <th>うち技能労務職員</th> <td>246</td> <td>784,002</td> <td>3,187<th colspan="2">収益事業収入</th><td>-</td><td>-</td><th colspan="4"></th></td>		うち技能労務職員	246	784,002	3,187 <th colspan="2">収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td> <th colspan="4"></th>	収益事業収入		-	-				
	議会議長	1	7,110 <th>教育公務員</th> <td>71</td> <td>280,033</td> <td>3,944<th colspan="2">土地開発基金現在高</th><td>4,797,500</td><td>4,797,500</td><th colspan="4"></th></td>		教育公務員	71	280,033	3,944 <th colspan="2">土地開発基金現在高</th> <td>4,797,500</td> <td>4,797,500</td> <th colspan="4"></th>	土地開発基金現在高		4,797,500	4,797,500				
	議会副議長	1	6,450 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th rowspan="2">積立金現在高</th><th>財政調整基金</th><td>7,732,889</td><td>7,890,883</td><th colspan="4"></th></td>		臨時職員	-	-	- <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>7,732,889</td> <td>7,890,883</td> <th colspan="4"></th>	積立金現在高	財政調整基金	7,732,889	7,890,883				
	議会議員	36	6,170 <th>合計</th> <td>1,707</td> <td>5,382,717</td> <td>3,153<th>減債基金</th><td>307,391</td><td>307,974</td><th colspan="4"></th></td>		合計	1,707	5,382,717	3,153 <th>減債基金</th> <td>307,391</td> <td>307,974</td> <th colspan="4"></th>		減債基金	307,391	307,974				
					ラスパイレス指数		99.6		その他特定目的基金		5,256,595	4,957,077				
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧						
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)				
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険費特別会計	(7)	水道事業会計	(10)	農業集落排水事業費特別会計	(13)	盛岡地区広域消防組合	(23)	(財)地場産業振興センター					
(2)	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計	(5)	介護保険費特別会計	(8)	下水道事業会計	(11)	公設浄化槽事業費特別会計	(14)	盛岡・紫波地区環境施設組合	(24)	盛岡まちづくり(株)					
(3)	土地取得事業費特別会計	(6)	後期高齢者医療費特別会計	(9)	病院事業会計	(12)	中央卸売市場費特別会計	(15)	紫波・稗貫衛生処理組合	(25)	(財)盛岡観光コンベンション協会					
								(16)	盛岡地区衛生処理組合	(26)	たまやま振興					
								(17)	盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合	(27)	(株)盛岡地域交流センター					
								(18)	矢櫃山造林一部組合	(28)	(財)盛岡国際交流協会					
								(19)	岩手・玉山環境組合	(29)	(社)盛岡市社会福祉事業団					
								(20)	盛岡北部行政事務組合	(30)	盛岡市勤労者福祉サービスセンター					
								(21)	岩手県後期高齢者医療広域連合	(31)	(財)盛岡地区勤労者共同福祉センター					
								(22)	岩手県市町村総合事務組合	(32)	盛岡市都南自治振興公社					

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債（特例分）」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計（10会計まで）を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク (*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン (－) としている）。
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	42,744,170	38.1	40,645,639	67.1	普通税	40,591,127	95.0	706,543
地方譲与税	894,155	0.8	894,155	1.5	法定普通税	40,591,127	95.0	706,543
利子割交付金	57,323	0.1	57,323	0.1	市町村民税	21,186,699	49.6	706,543
配当割交付金	74,588	0.1	74,588	0.1	個人均等割	512,834	1.2	-
株式等譲渡所得割交付金	69,263	0.1	69,263	0.1	所得割	15,957,398	37.3	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	1,149,190	2.7	-
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	3,567,277	8.3	706,543
地方消費税交付金	5,992,837	5.3	5,992,837	9.9	固定資産税	16,819,689	39.3	-
ゴルフ場利用税交付金	24,806	0.0	24,806	0.0	うち純固定資産税	16,617,212	38.9	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	616,259	1.4	-
自動車取得税交付金	164,419	0.1	164,419	0.3	市町村たばこ税	1,968,480	4.6	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	鉱産税	-	-	-
地方特例交付金	166,244	0.1	166,244	0.3	特別土地保有税	-	-	-
地方交付税	13,338,889	11.9	11,930,450	19.7	法定外普通税	-	-	-
普通交付税	11,930,450	10.6	11,930,450	19.7	目的税	2,153,043	5.0	-
特別交付税	1,301,127	1.2	-	-	法定目的税	2,153,043	5.0	-
震災復興特別交付税	107,312	0.1	-	-	入湯税	54,512	0.1	-
（一般財源計）	63,526,694	56.7	60,019,724	99.1	事業所税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	54,877	0.0	54,877	0.1	都市計画税	2,098,531	4.9	-
分担金・負担金	1,385,828	1.2	-	-	水利地益税等	-	-	-
使用料	1,288,706	1.1	254,119	0.4	法定外目的税	-	-	-
手数料	514,832	0.5	1,229	0.0	旧法による税	-	-	-
国庫支出金	19,580,763	17.5	-	-	合計	42,744,170	100.0	706,543
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	区分		平成30年度	平成29年度
都道府県支出金	7,204,940	6.4	-	-	徴収率 (%)	現・計 年	合計	99.0 97.5
財産収入	1,655,284	1.5	149,424	0.2			市町村民税	99.1 97.4
寄附金	87,614	0.1	-	-			純固定資産税	99.2 97.6
繰入金	1,999,972	1.8	-	-				98.8 96.9
繰越金	1,630,043	1.5	-	-	公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
諸収入	1,625,510	1.5	56,218	0.1	合計	13,657,997	実質収支	167,570
地方債	11,512,802	10.3	-	-	下水道	3,678,527	再差引収支	-29,899
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	病院	877,618	加入世帯数（世帯）	36,025
うち臨時財政対策債	5,040,802	4.5	-	-	市場	465,261	被保険者数（人）	53,901
歳入合計	112,067,865	100.0	60,535,591	100.0	上水道	89,533	被保険者	98
					国民健康保険	1,825,561	1人当り	-
					その他	6,721,497	保険税（料）収入額	336
							国庫支出金	-
							保険給付費	336

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	650,170	0.6	-	650,170	
総務費	10,375,472	9.4	821,311	8,721,539	
民生費	44,828,910	40.6	1,250,430	20,787,554	
衛生費	9,071,679	8.2	540,042	7,945,225	
労働費	260,949	0.2	41,889	150,053	
農林水産業費	2,173,275	2.0	270,203	1,416,953	
商工費	2,072,723	1.9	132,739	1,580,041	
土木費	14,986,247	13.6	8,028,399	7,809,914	
消防費	4,031,074	3.7	111,296	3,868,291	
教育費	9,229,446	8.4	1,996,294	7,216,106	
災害復旧費	205,223	0.2	-	64,634	
公債費	12,440,015	11.3	-	12,228,329	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	110,325,183	100.0	13,192,603	72,438,809	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	58,147,570	52.7	35,766,051	35,550,370	54.2
人件費	14,861,457	13.5	13,619,021	13,406,296	20.4
うち職員給	9,822,100	8.9	8,904,829	-	-
扶助費	30,846,125	28.0	9,918,728	9,915,772	15.1
公債費	12,439,988	11.3	12,228,302	12,228,302	18.6
元利償還金	12,436,301	11.3	12,224,615	12,224,615	18.6
うち元金	11,470,401	10.4	11,289,588	11,289,588	17.2
うち利子	965,900	0.9	935,027	935,027	1.4
一時借入金利子	3,687	0.0	3,687	3,687	0.0
その他の経費	38,779,787	35.2	34,090,624	26,837,631	40.9
物件費	13,042,691	11.8	11,111,067	10,077,214	15.4
維持補修費	1,472,451	1.3	1,437,615	1,437,615	2.2
補助費等	12,049,957	10.9	11,297,488	8,675,836	13.2
うち一部事務組合負担金	4,936,525	4.5	4,936,525	4,453,920	6.8
繰出金	9,474,921	8.6	8,008,689	6,646,388	10.1
積立金	2,069,901	1.9	1,970,144	-	-
投資・出資金・貸付金	669,866	0.6	265,621	578	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-		
投資的経費計	13,397,826	12.1	2,582,134		
うち人件費	517,485	0.5	457,259		
普通建設事業費	13,192,603	12.0	2,517,500		
うち補助	6,797,857	6.2	414,042		
うち単独	6,268,833	5.7	2,093,345		
災害復旧事業費	205,223	0.2	64,634		
失業対策事業費	-	-	-		
歳出合計	110,325,183	100.0	72,438,809		

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成30年度

岩手県盛岡市

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	112,041	110,371	1,670	957	71	131,011	
2	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計	240	167	73	73	0	478	
3	土地取得事業費特別会計	19	19	0	0	0	0	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等（純計）				1,030			-

※一般会計等（純計）は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険費特別会計	27,287	27,119	168	168	1,826	0	0		
2	介護保険費特別会計	25,325	25,154	171	171	3,542	0	0		
3	後期高齢者医療費特別会計	3,077	3,068	9	9	3,171	0	0		
4	水道事業会計	7,381	5,279	2,102	10,739	90	9,795	59		法適用企業
5	下水道事業会計	8,068	7,489	579	2,991	3,216	36,682	18,158		法適用企業
6	病院事業会計	4,452	4,409	43	▲ 215	878	4,657	3,046		法適用企業
7	農業集落排水事業費特別会計	549	547	2	2	461	2,773	2,621		法非適用企業
8	公設浄化槽事業費特別会計	9	8	1	1	2	72	31		法非適用企業
9	中央卸売市場費特別会計	1,319	1,317	2	2	465	4,254	2,293		法非適用企業
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				13,868					-

関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）

	一部事務組合等名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	盛岡地区広域消防組合	6,764	6,691	73	73		4,213	1,825	
2	盛岡・紫波地区環境施設組合	3,628	3,568	60	60		2,206	284	
3	紫波・稗貫衛生処理組合	886	886	0	0				
4	盛岡地区衛生処理組合	742	741	1	1		176	88	
5	盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合	171	147	24	24		0	0	
6	矢継山造林一部組合	3	1	2	2				
7	岩手・玉山環境組合	395	332	63	63		44	21	
8	盛岡北部行政事務組合	477	447	30	30				
9	岩手県後期高齢者医療広域連合	3,120	3,111	9	9				
10	岩手県市町村総合事務組合	11,221	11,154	67	67				
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等								

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（単位：百万円）

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1	（財）地場産業振興センター	▲ 9	610	11	45					
2	盛岡まちづくり（株）	▲ 1	18	10	1					
3	（財）盛岡観光コンベンション協会	▲ 3	362	151	44					
4	たまやま振興	▲ 4	8	48	1					
5	（株）盛岡地域交流センター	241	4,641	690	0					
6	（財）盛岡国際交流協会	0	103	100	6					
7	（社）盛岡市社会福祉事業団	31	1,003	3	54					
8	盛岡市勤労者福祉サービスセンター	1	156	100	10					
9	（財）盛岡地区勤労者共同福祉センター	▲ 2	86	1	0					
10	盛岡市都南自治振興公社	2	64	5	0					
11	（財）盛岡市駐車場公社	▲ 8	22	3	0					
12	（財）盛岡市動物公園公社	▲ 12	143	30	21					
13	（財）岩手育英会	0	139	68	0					
14	（財）盛岡市文化振興事業団	▲ 17	361	100	99					
15	盛岡市体育協会	8	344	58	36					
16	テレビ岩手開発センター	2	85	1	0					
17	盛岡中央市場冷蔵	▲ 6	83	30	5					
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等									

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					将来負担比率（千円・％）															
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	分母比	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	分母比	内訳				平成28年度	平成29年度	平成30年度	分母比	
元利償還金 減債基金積立不足算定額 満期一括償還地方債に係る年度割相当額 公営企業債の元利償還金に対する繰入金 組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等 債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの） 一時借入金の利子 合計 内訳		12,457,368	12,560,466	12,436,301	22.9	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	132,055,203	131,453,053	131,488,617	242.3	債務負担行為	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額	975,069	703,980	515,041	0.9		いわゆる五省協定等に係るもの	854,935	642,992	489,993	0.9			
		-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額	29,925,188	27,944,734	26,206,446	48.3		国営土地改良事業に係るもの	14,317	-	-	-	-		
		3,695,018	3,562,312	3,460,342	6.4		組合等負担等見込額	2,674,960	2,927,202	3,094,769	5.7		森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	-		
		471,829	419,487	499,489	0.9		退職手当負担見込額	13,919,815	13,162,316	12,854,230	23.7		地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	-		
		182,593	182,574	168,257	0.3		設立法人等の負債額等負担見込額	2,625	-	-	-		依頼土地の買い戻しに係るもの	58,588	30,538	-	-	-		
		-	-	-	-		うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-		社会福祉法人の施設建設費に係るもの	35,858	30,000	25,000	0.0			
		-	-	-	-		連結実質赤字額	-	-	-	-		損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-		引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-	-		
		(A)	16,806,808	16,724,839	16,564,389			合計	(E)	179,552,860	176,191,285		174,159,103		その他上記に準ずるもの	11,371	450	48	0.0	
PFI事業に係るもの いわゆる五省協定等に係るもの 国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの 地方公務員等共済組合に係るもの 社会福祉法人の施設建設費に係るもの 損失補償・債務保証の履行に係るもの 引き受けた債務の履行に係るもの その他上記に準ずるもの 利子補給に係るもの 特定財源の額 標準財政規模 算入公債費等の額 実質公債費比率 （単年度） （3ヵ年平均）		-	-	-	充当可能財源等	充当可能基金	16,695,625	15,667,942	15,449,039	28.5	企業債等繰入見込額	下水道事業会計	20,262,458	18,971,164	18,157,621	33.5				
		168,257	168,257	168,257		0.3	充当可能特定歳入	21,055,187	20,633,205	20,832,798		38.4	病院事業会計	3,631,998	3,374,136	3,045,547	5.6			
		14,336	14,317	-		-	基準財政需要額算入見込額	104,664,572	104,943,461	104,948,129		193.4	農業集落排水事業費特別会計	3,120,069	2,873,048	2,620,782	4.8			
		-	-	-		-	合計	(F)	142,415,384	141,244,608		141,229,966		中央卸売市場費特別会計	2,801,793	2,620,045	2,293,001	4.2		
		-	-	-		-	将来負担比率（（E）-（F））／（（C）-（D））×100	68.6	64.2	60.6			その他の会計	108,870	106,341	89,495	0.2			
		-	-	-		-														
		-	-	-		-														
		-	-	-		-														
		-	-	-		-														
		(B)	1,810,516	1,765,113		1,757,223		健全化判断比率				平成30年度	早期健全化基準	財政再生基準						
	(C)	64,080,361	64,294,344	63,911,655		実質赤字比率	-	11.25	20.00		公社・三セク等	地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-	-			
	(D)	9,990,511	9,867,514	9,648,582		連結実質赤字比率	-	16.25	30.00			土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-	-			
	(C)-(D)	54,089,850	54,426,830	54,263,073		実質公債費比率	9.3	25.0	35.0			地方独立行政法人に係る将来負担額	-	-	-	-	-			
						将来負担比率	60.6	350.0				その他第三セクター等に係る将来負担額	2,625	-	-	-	-			
	(単年度)	9.3	9.4	9.5																
	（3ヵ年平均）	9.6	9.5	9.3																

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	口	290,136	人(H31.1.1現在)			
うち日本人		288,667	人(H31.1.1現在)			
面積		886.47	k㎡			
歳入総額		112,067,865	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額		110,325,183	千円	連結実質赤字比率	-	%
実質収支		1,030,085	千円	実質公債費比率	9.3	%
標準財政規模		63,911,655	千円	将来負担比率	60.6	%
地方債現在高		131,002,651	千円	市町村類型	H26 中核市 H27 中核市 H28 中核市	
				(年度毎)	H29 中核市 H30 中核市	

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

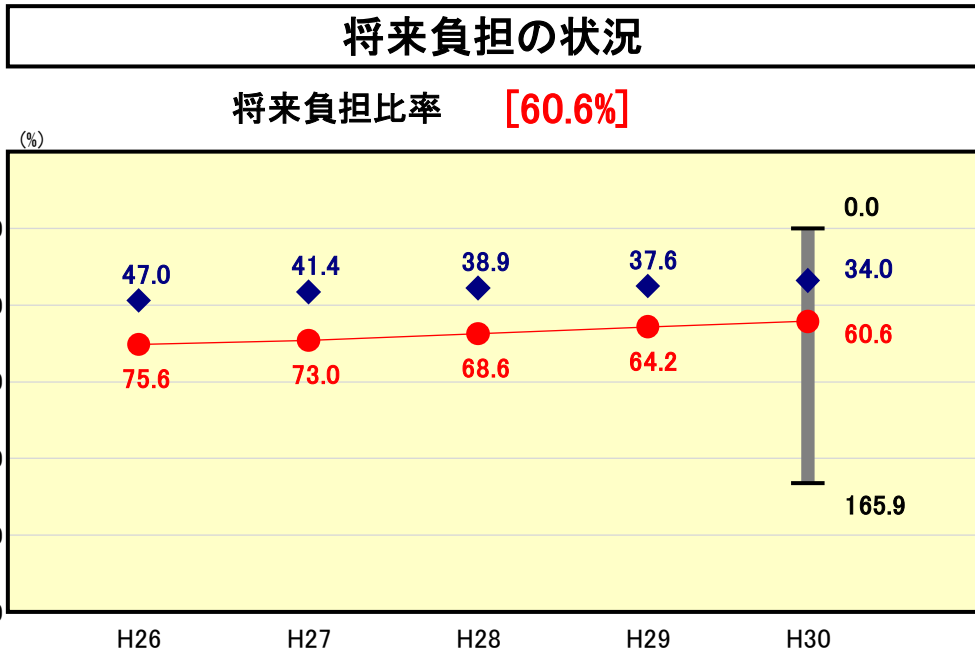
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

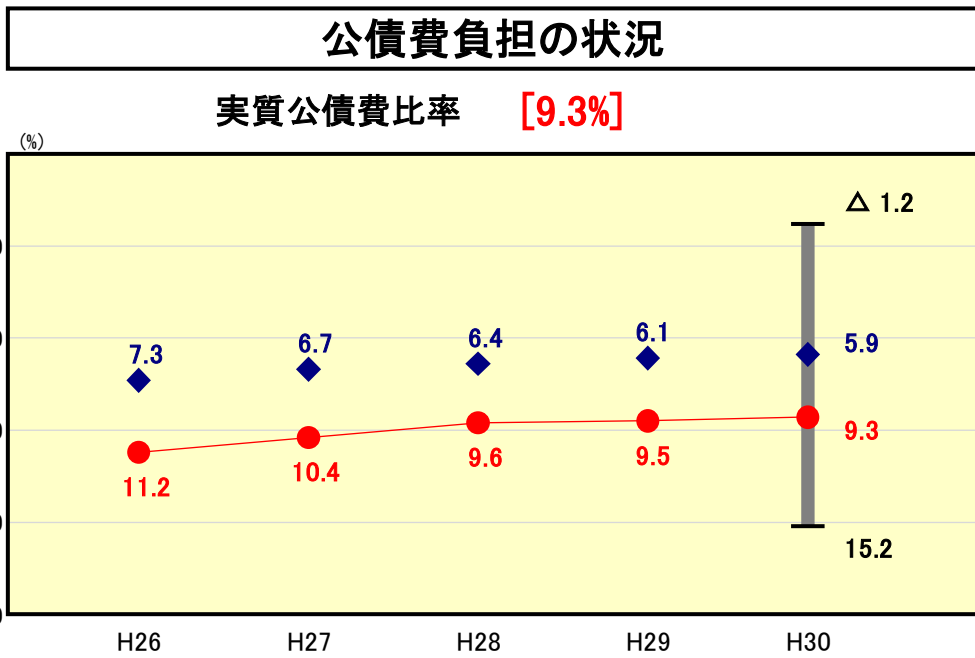


類似団体内順位 36/54
全国平均 28.9
岩手県平均 55.1

将来負担比率の分析欄

年々数値は改善の傾向にあるが、平成4～10年度に行った大規模施設の建設、区画整理等の都市計画事業への充当債の償還に係る充当一般財源が120億円を超えていることが将来負担比率を高める要因となっており、類似団体を上回っている状況にある。

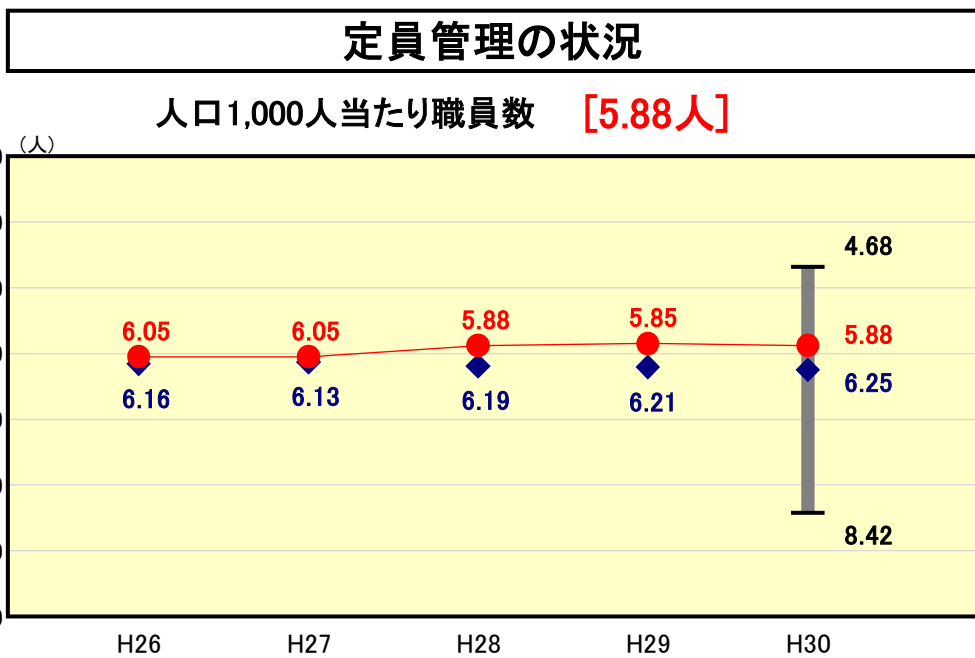
総合計画実施計画に掲げる自治体経営の取組において、算定開始から現在までで最も数値の高かった149.4%を上回らない財政運営を行うこととして目標値を設定している。また、市債の新規発行額を予算総額の8%以内(臨時財政対策債を除く)かつ元金償還額以内とし、将来の公債費の縮減を図る。



類似団体内順位 41/54
全国平均 6.1
岩手県平均 11.3

実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率は対前年度比0.2ポイントの減となった。平成4～10年度に行った大規模施設の建設、区画整理等の都市計画事業債の償還はピークを過ぎたものの、元利償還金充当一般財源が依然として高い水準にあるため、類似団体平均を上回っている。総合計画実施計画に掲げる自治体経営の取組において、14%を上回らないよう目標値を設定している。

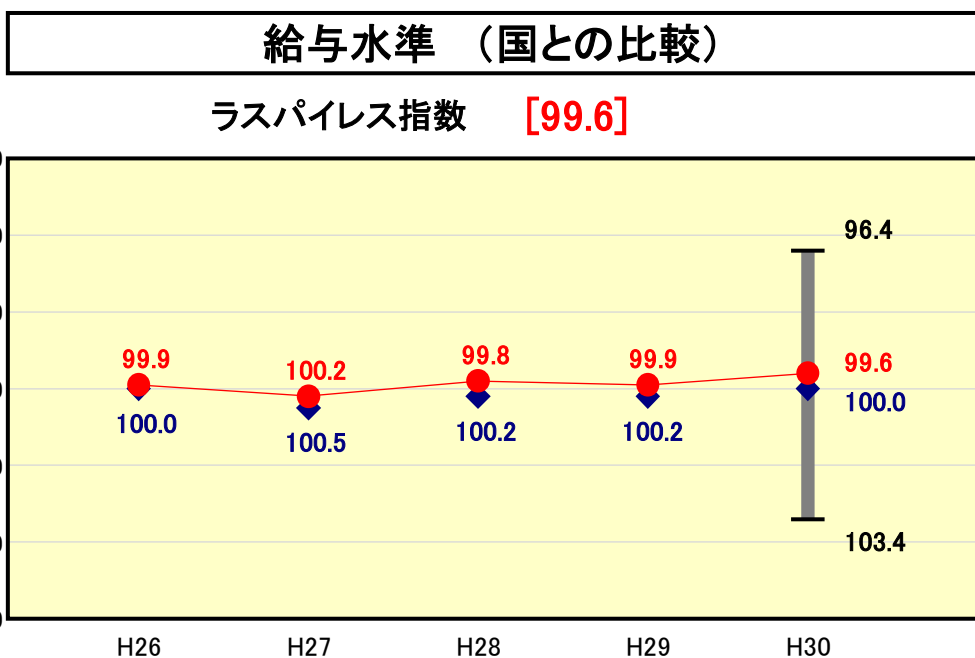


類似団体内順位 17/54
全国平均 7.95
岩手県平均 8.37

人口1,000人当たり職員数の分析欄

平成27年度までの定員適正化計画及び平成28年度から定員管理計画の実行により類似団体より職員数は少ない状況である。

今後においても、平成28年～令和2年度までの定員管理計画において、東日本大震災の被災地派遣分を除き、類似団体の平均程度の職員数を基本とし、平成27年4月1日現在の職員数(2,251人)を基準に、5年間で128人、5.7%減員することとしている。

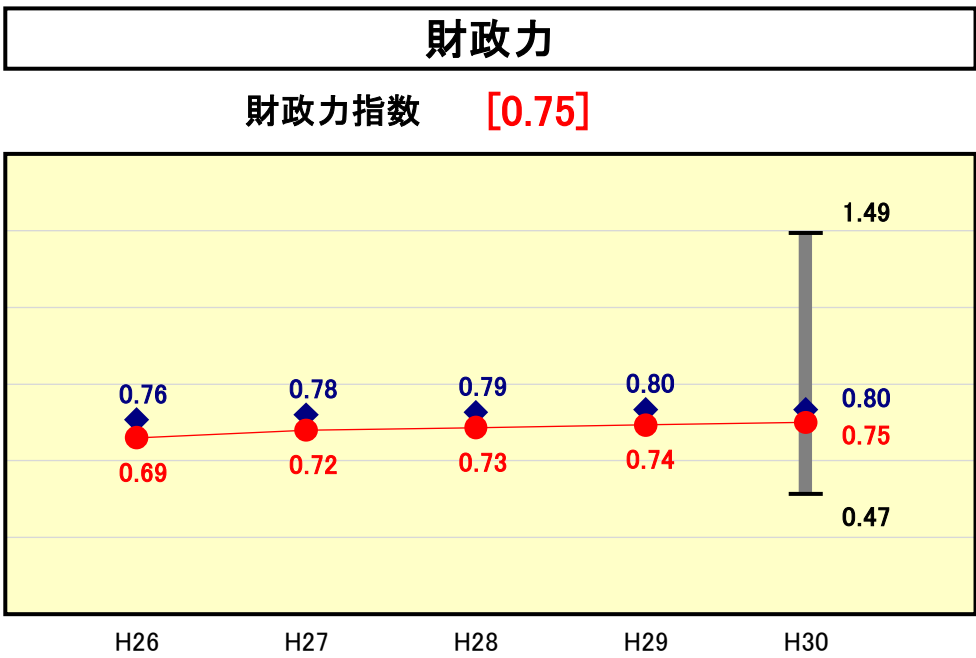


類似団体内順位 24/54
全国市平均 98.9
全国町村平均 96.3

ラスパイレス指数の分析欄

定員管理計画に基づく人件費の抑制を図っており、前年度比0.3pt減となった。指数は地職員の増や給与改定に伴う人件費の増により100を上回った平成27年度を除き、100を下回っている。

依然として類似団体平均を下回っており、今後もより一層の給与の適正化に努めることとする。

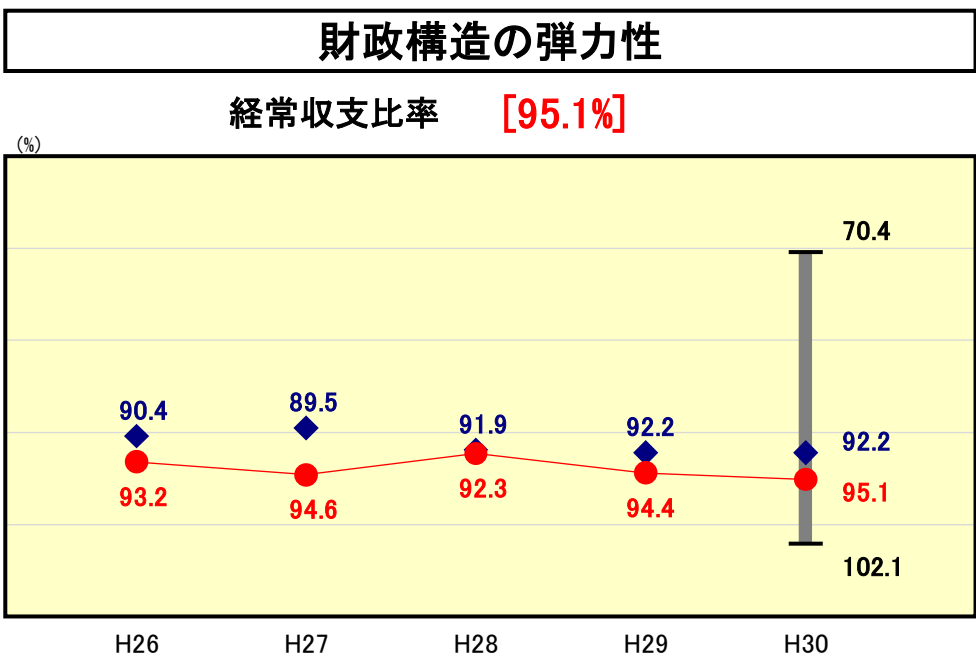


類似団体内順位 38/54
全国平均 0.51
岩手県平均 0.36

財政力指数の分析欄

類似団体を下回り0.75となっているが、平成26年度から毎年改善傾向にある。

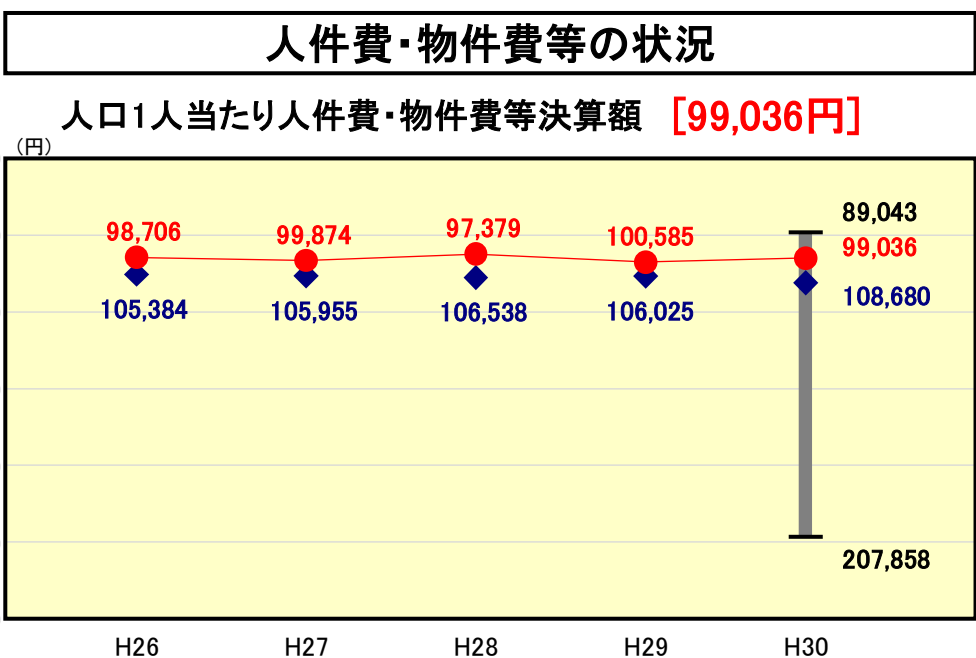
「盛岡市総合計画実施計画」に掲げる自治体経営の取り組みの中でも、税収の確保に向けた取組みを推進することとしており、具体的な取り組みとして、①納付機会の拡大等による収納窓口の充実、②納税推進センターによる早期納付の勧奨、③口座振替の促進、④適宜適切な滞納整理の実施により、収納率の向上に努め、自主財源の確保を図ることとしている。



類似団体内順位 40/54
全国平均 93.0
岩手県平均 92.6

経常収支比率の分析欄

扶助費の増加により経常収支比率は前年度0.7pt増の95.1%となり類似団体平均を上回っている。定員適正化計画や市債の新規発行額の抑制により、人件費や公債費は年々減少はしているものの、公債費については充当一般財源が123億円を超え依然として高い水準にあること、少子高齢化による扶助費の増加が経常収支比率を押し上げている。扶助費の増については、今後も継続すると見込まれており、従来から取り組んでいる事務事業の見直し等をより一層進めることにより経常経費の削減を図る。



類似団体内順位 12/54
全国平均 132,793
岩手県平均 151,145

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費については定員適正化計画に基づく人件費の抑制行っており、職員給、退職金の減等により対前年度比3.2%減となっている。

物件費は道路除排雪事業の減等により前年度比8.3%減となった。

合わせると一人当たり対前年度比1,549円の減となり、類似団体平均をやや下回っている状況にある。

引き続き、定員適正化計画及び事務事業の見直し等により人件費及び物件費の抑制に努めることとする。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

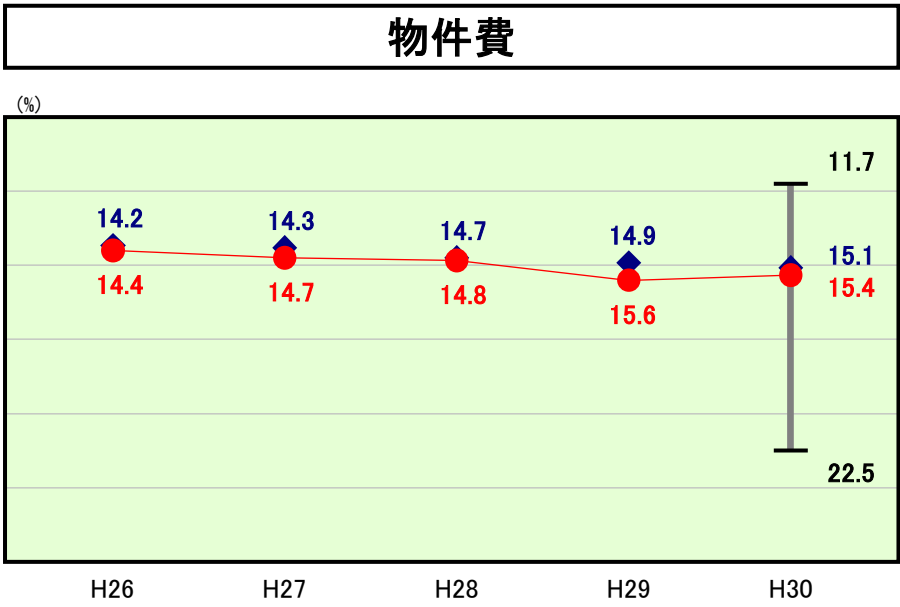
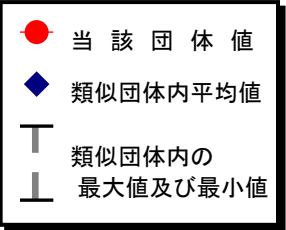
経常収支比率の分析

人口	290,136	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	288,667	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	886.47	km ²	実質公債費比率	9.3	%
歳入総額	112,067,865	千円	将来負担比率	60.6	%
歳出総額	110,325,183	千円			
実質収支	1,030,085	千円	市町村類型	H26 中核市 H27 中核市 H28 中核市	
標準財政規模	63,911,655	千円	(年度毎)	H29 中核市 H30 中核市	
地方債現在高	131,002,651	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

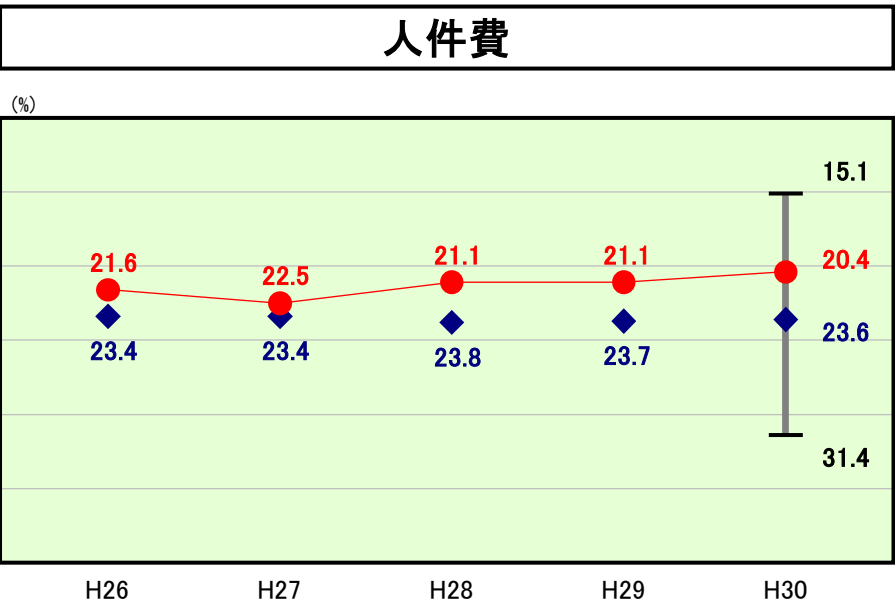


類似団体内順位 34/54 全国平均 14.7 岩手県平均 14.7

物件費の分析欄

市街地再開発等調査事業等の増はあったものの、道路除排雪事業の減等により対前年度比0.2pt減となったものの引き続き類似団体平均を上回る状態が続いている。

引き続き行政評価を活用した事務事業の徹底した見直しを推進し、物件費の抑制に努めることとする。

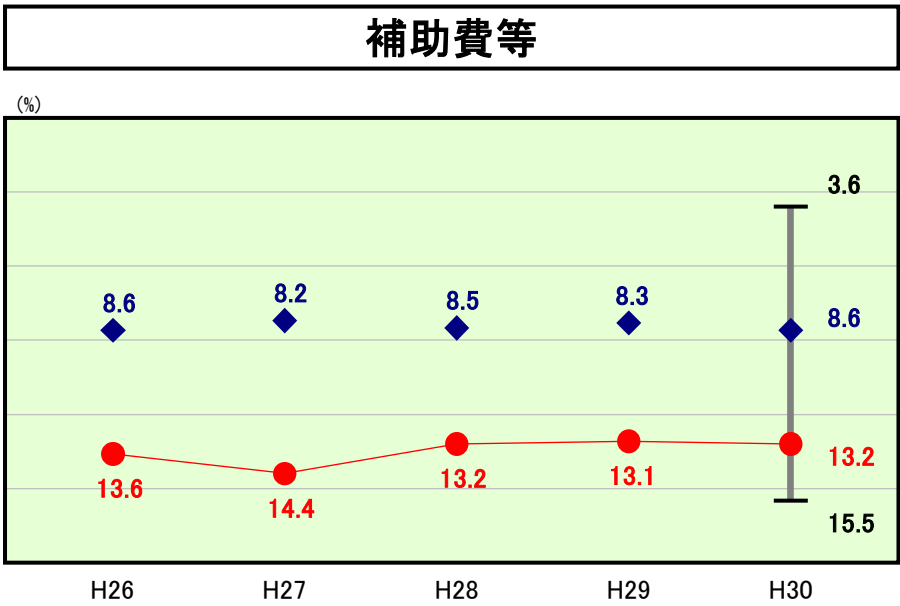


類似団体内順位 9/54 全国平均 25.6 岩手県平均 22.7

人件費の分析欄

定員管理計画に基づく人件費の抑制を行っており、退職金、職員給ともに減となったため前年度比0.7pt減となった。

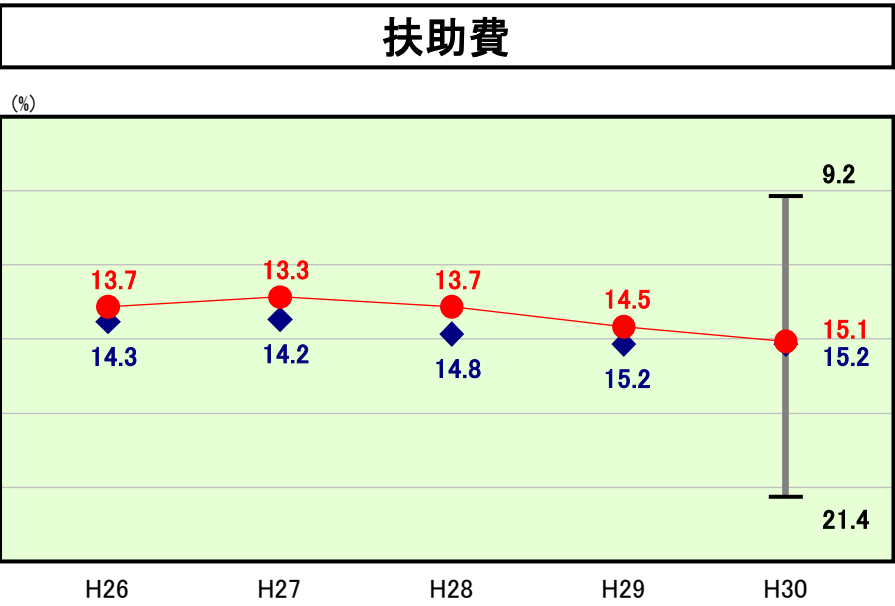
平成28～令和2年度までの定員管理計画に基づき、引き続き人件費の削減に努めることとする。



類似団体内順位 47/54 全国平均 10.2 岩手県平均 13.2

補助費等の分析欄

一部事務組合及び企業会計への負担金が大半を占めている。盛岡地区広域消防組合や東北絆まつり等開催事業等への負担金の増により対前年度比0.1pt増となった。類似団体と比較して依然として高い水準となっているため、引き続き、適正な額の精査に努めることとする。

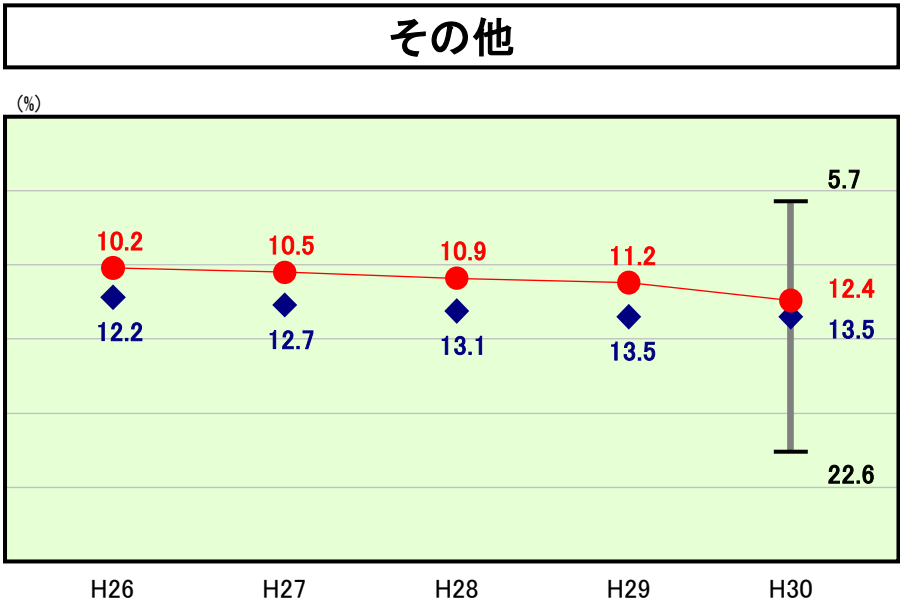


類似団体内順位 29/54 全国平均 12.6 岩手県平均 9.5

扶助費の分析欄

認定こども園等運営費や、介護給付等給付事業等の増により対前年度比0.6pt増となった。

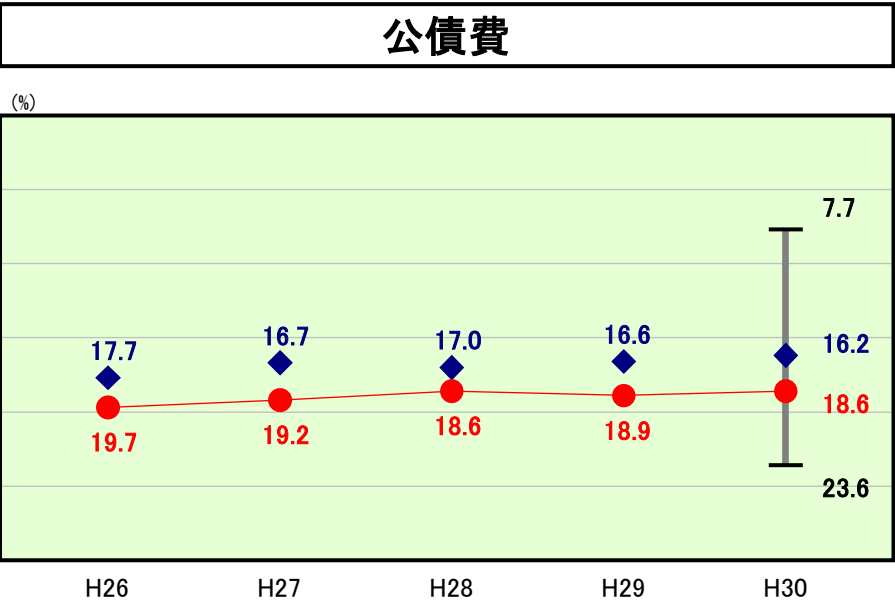
障がい給付認定審査等を通じた公正なサービス提供等により、年々増加傾向にある扶助費の急激な上昇傾向を抑制するよう努める。



類似団体内順位 13/54 全国平均 13.3 岩手県平均 12.9

その他の分析欄

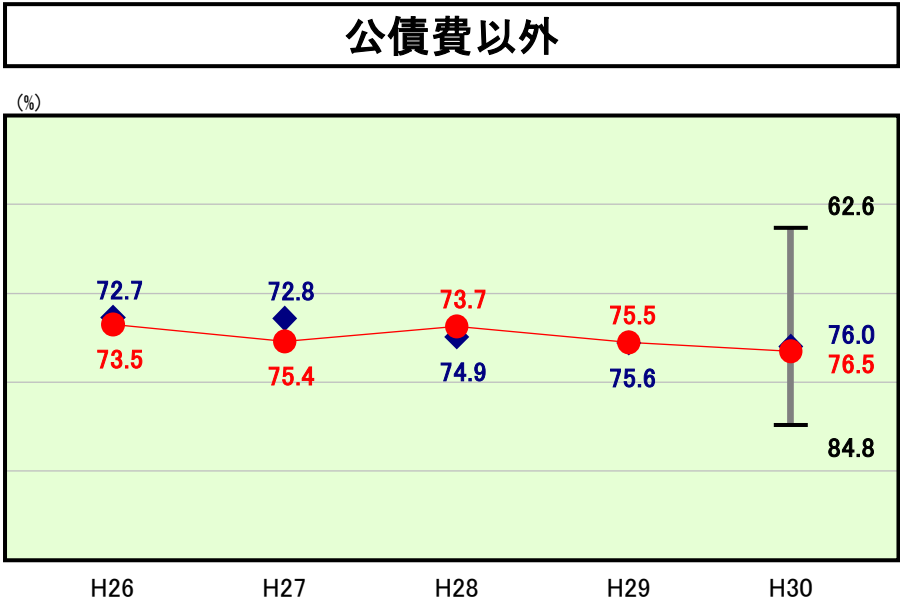
対前年度比1.2pt増となったが、依然として類似団体と比較すると低い水準である。今後、国保療養費、後期高齢者、後期高齢者医療費、介護給費等の増が見込まれるため、医療費及び介護給付費の適正化を推進することにより、急激な上昇傾向を抑制するよう努めることとする。



類似団体内順位 39/54 全国平均 16.6 岩手県平均 19.6

公債費の分析欄

類似団体と比較すると高い状況にあるが、平成16年度から二次6年間にわたる行財政構造改革に集中的に取り組んできたことから公債費は、減少傾向にある。だが、29年度においては、臨時財政対策債の償還額が増加(令和3年度償還のピーク)したことから、前年度比0.3ptの増となった。今後も、「盛岡市総合計画実施計画」に掲げる自治体経営の取組において、市債の新規発行額を予算総額の8%以内(臨時財政対策債を除く)かつ元金償還額以内とし、将来の公債費の縮減を図るよう努める。



類似団体内順位 28/54 全国平均 76.4 岩手県平均 73.0

公債費以外の分析欄

対前年度比1.0pt増となり、類似団体を上回る結果となった。市債の新規発行額の抑制による公債費の減少と、年々増加する扶助費の増が主な要因である。

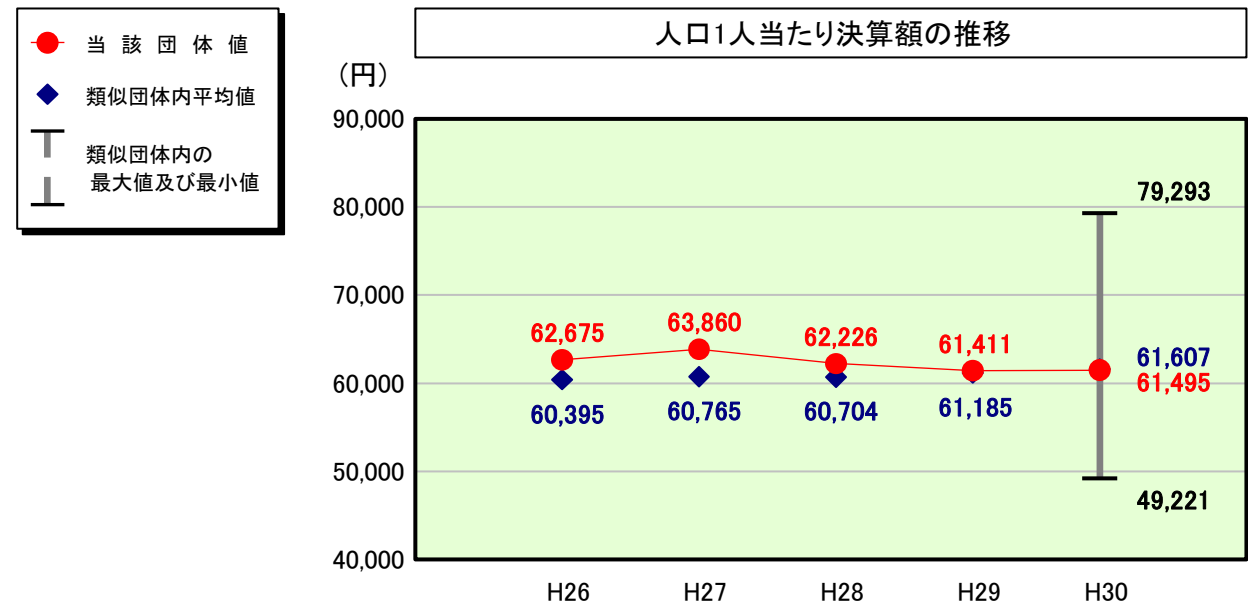
定員管理計画に基づく人件費の削減や、一部事務組合及び企業会計への負担金及び扶助費の急激な上昇傾向を抑制するよう努めることとする。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

岩手県盛岡市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

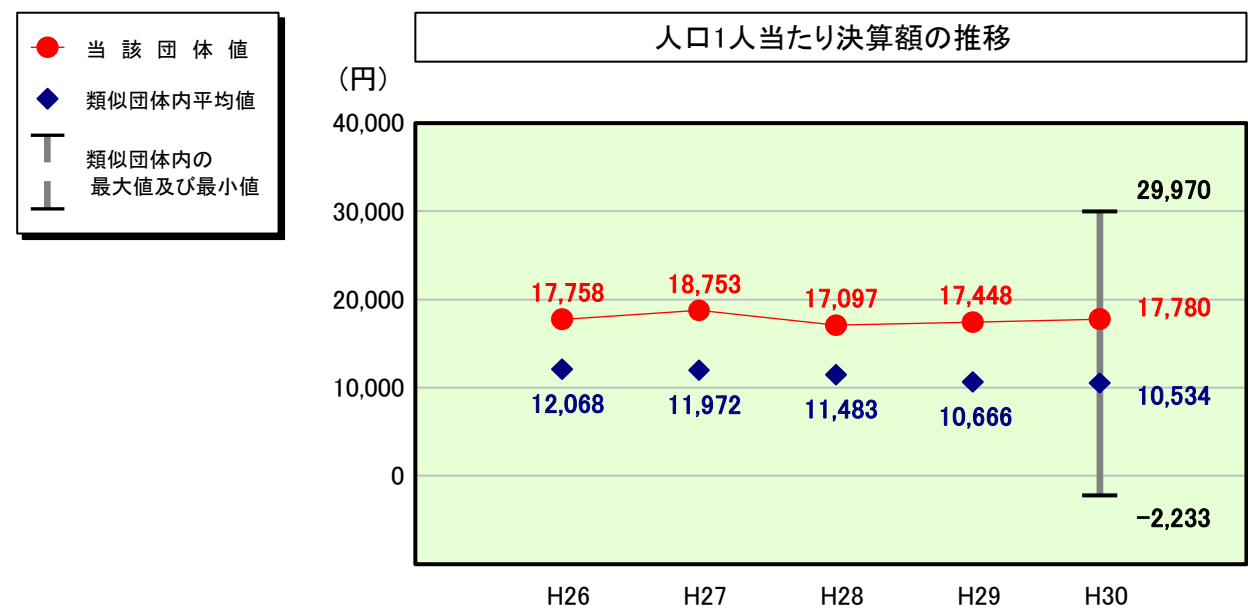
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	14,861,457	51,222	57,923	▲ 11.6
賃金 (物件費)	369,785	1,275	2,689	▲ 52.6
一部事務組合負担金 (補助費等)	2,719,587	9,373	1,561	500.4
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	82,667	285	539	▲ 47.1
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	13	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	451,185	1,555	1,886	▲ 17.6
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	517,485	1,784	1,251	42.6
▲退職金	▲ 1,160,271	▲ 3,999	▲ 4,255	▲ 6.0
合計	17,841,895	61,495	61,607	▲ 0.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	5.88	6.25	▲ 0.37
ラスパイレス指数	99.6	100.0	▲ 0.4

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

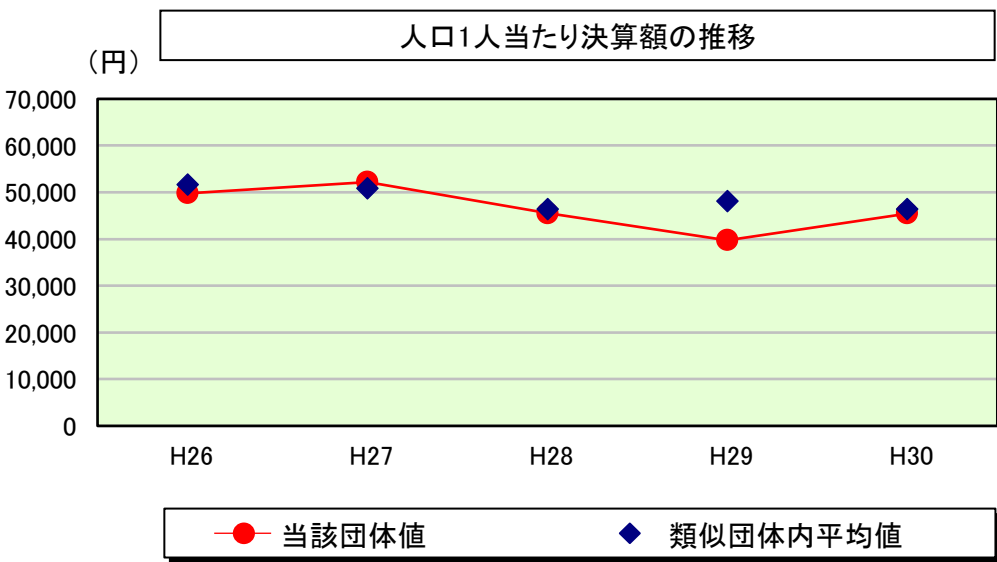


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	12,436,301	42,864	37,305	14.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	4	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	89	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	3,460,342	11,927	9,317	28.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	499,489	1,722	337	411.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	168,257	580	969	▲ 40.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 1,757,223	▲ 6,057	▲ 8,362	▲ 27.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 9,648,582	▲ 33,255	▲ 29,125	14.2
合計	5,158,584	17,780	10,534	68.8

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

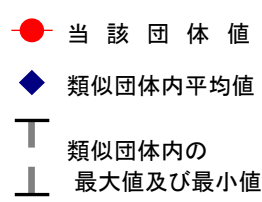
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A) - (B)
H26	14,698,870	49,798	▲ 2.7	51,613	8.3	▲ 11.0
うち単独分	6,148,202	20,829	12.3	25,872	10.8	1.5
H27	15,351,178	52,196	4.8	50,880	▲ 1.4	6.2
うち単独分	6,015,552	20,454	▲ 1.8	27,819	7.5	▲ 9.3
H28	13,331,391	45,531	▲ 12.8	46,395	▲ 8.8	▲ 4.0
うち単独分	5,603,448	19,138	▲ 6.4	26,304	▲ 5.4	▲ 1.0
H29	11,596,398	39,733	▲ 12.7	48,088	3.6	▲ 16.3
うち単独分	5,523,471	18,925	▲ 1.1	25,183	▲ 4.3	3.2
H30	13,192,603	45,470	14.4	46,457	▲ 3.4	17.8
うち単独分	6,268,833	21,607	14.2	24,020	▲ 4.6	18.8
過去5年間平均	13,634,088	46,546	▲ 1.8	48,687	▲ 0.3	▲ 1.5
うち単独分	5,911,901	20,191	3.4	25,840	0.8	2.6

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成30年度

岩手県盛岡市

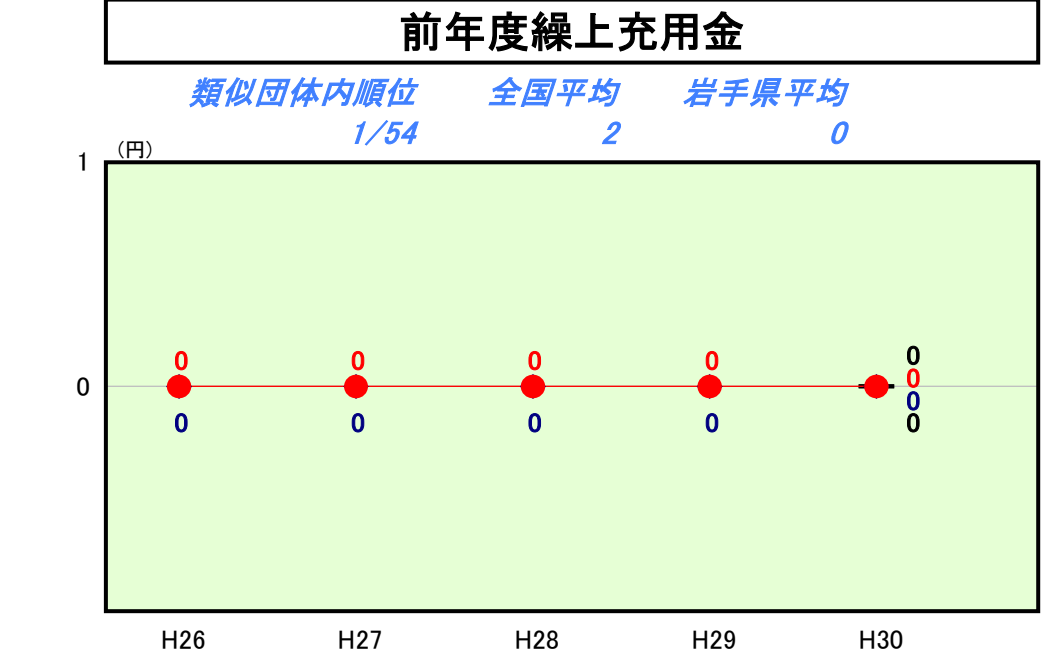
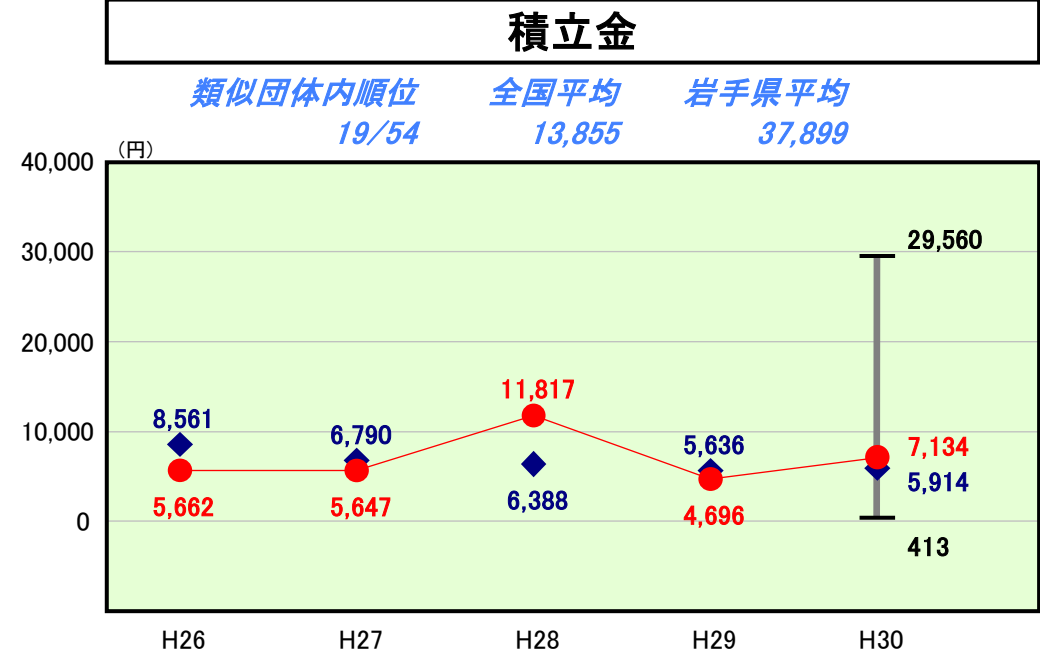
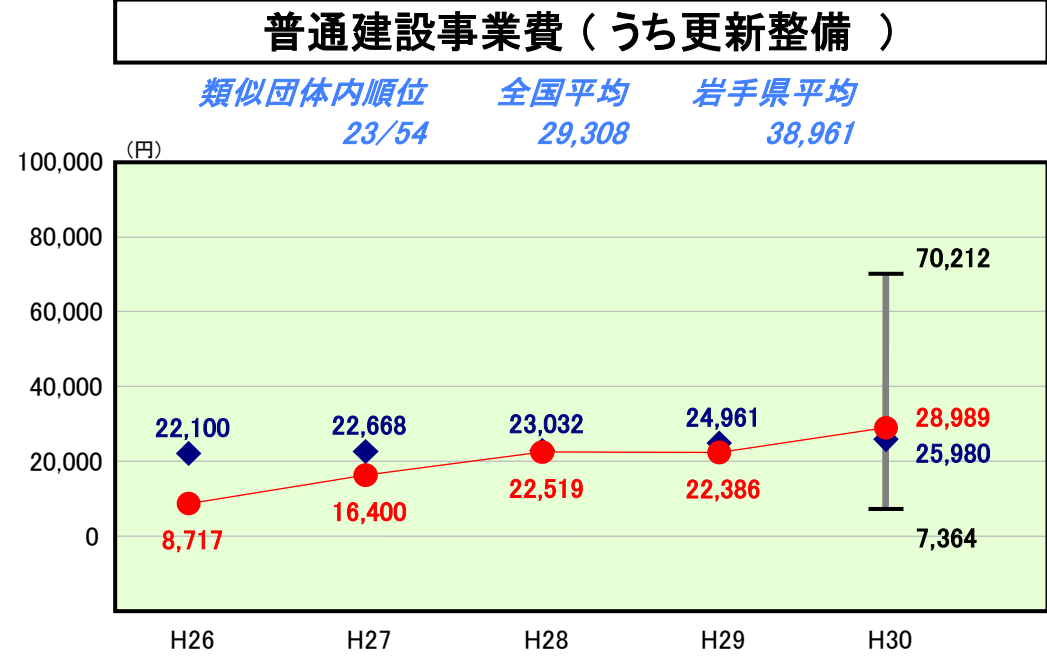
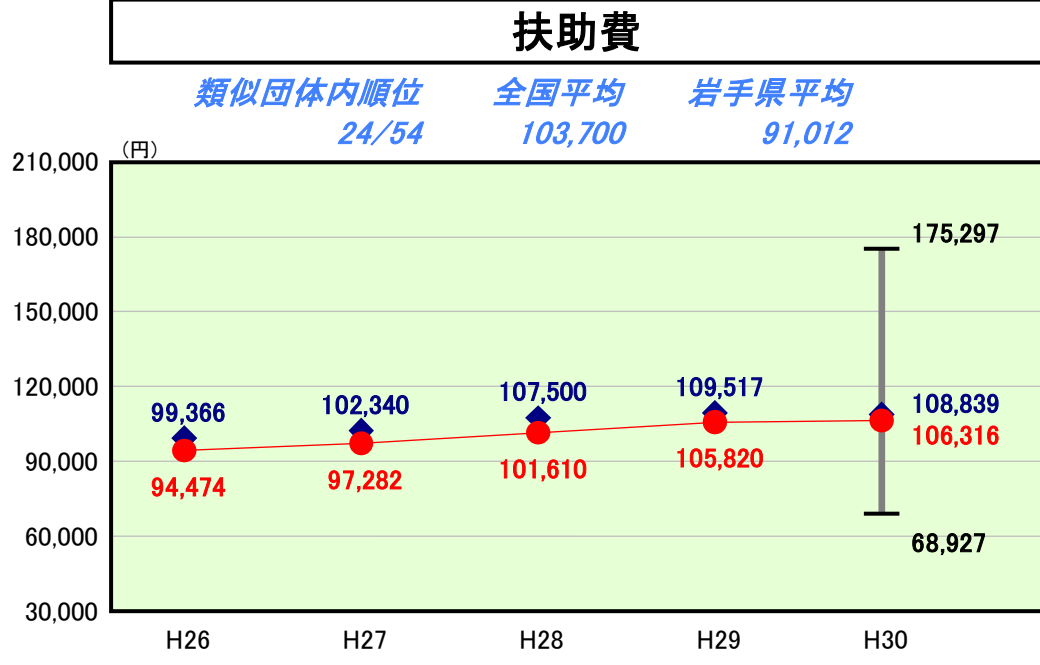
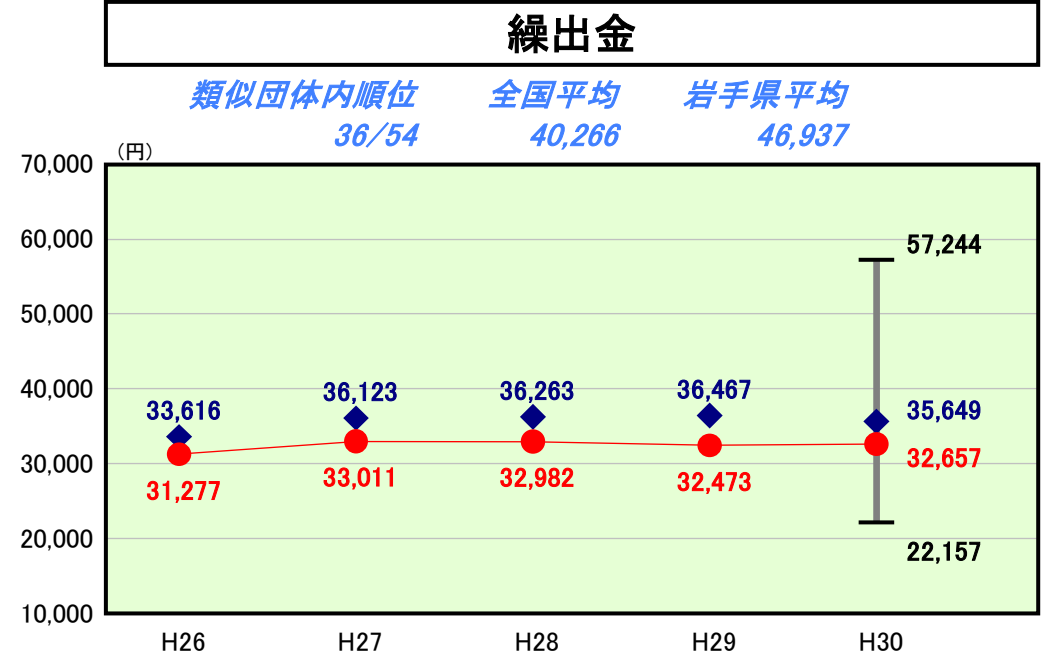
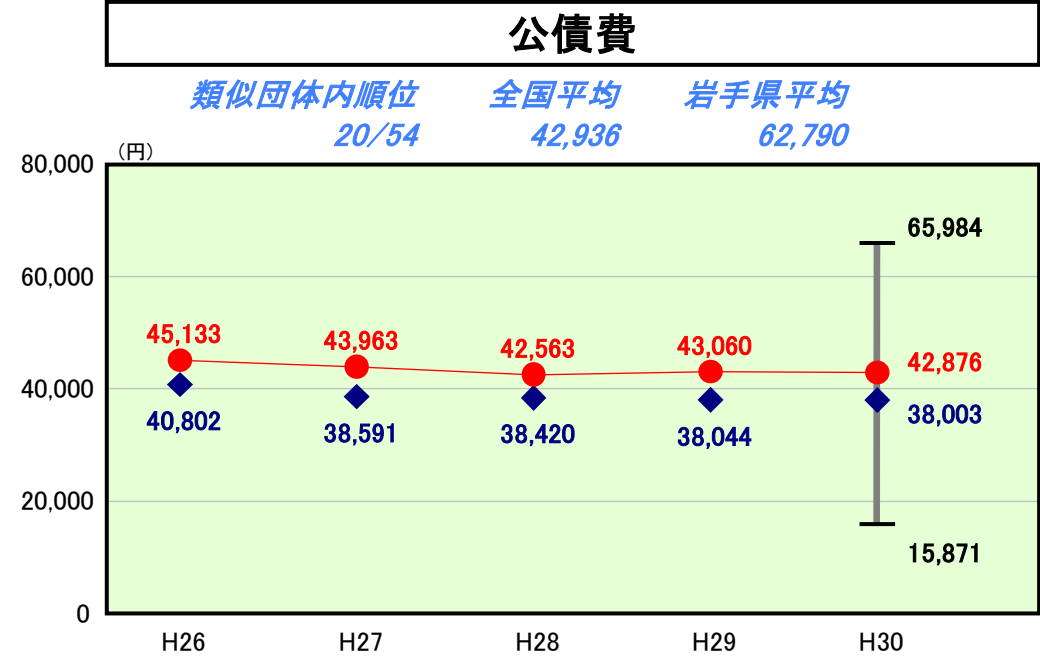
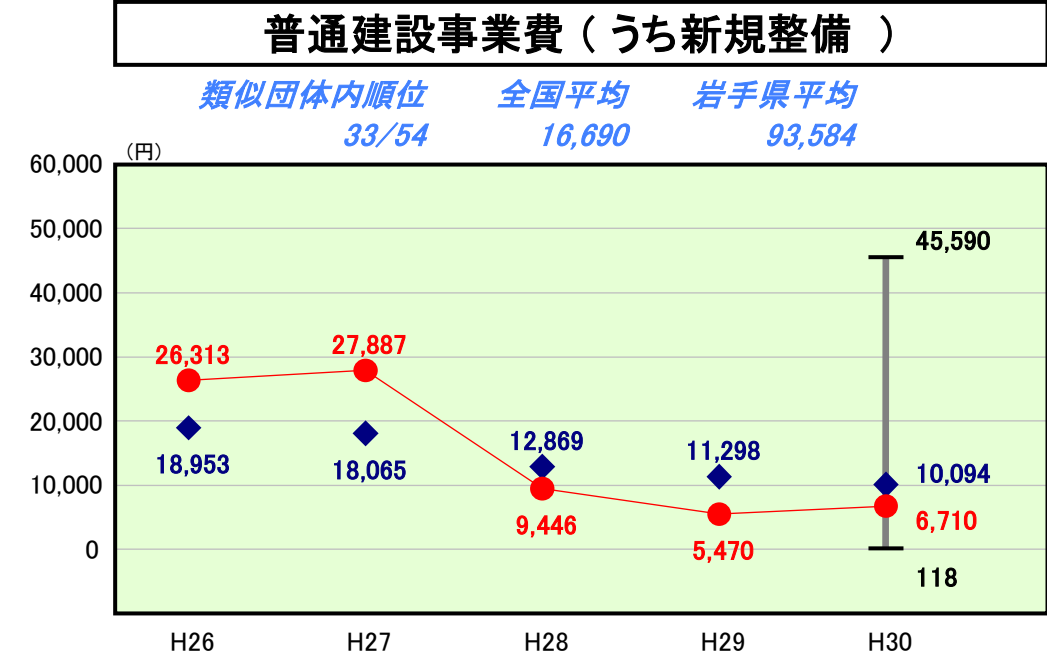
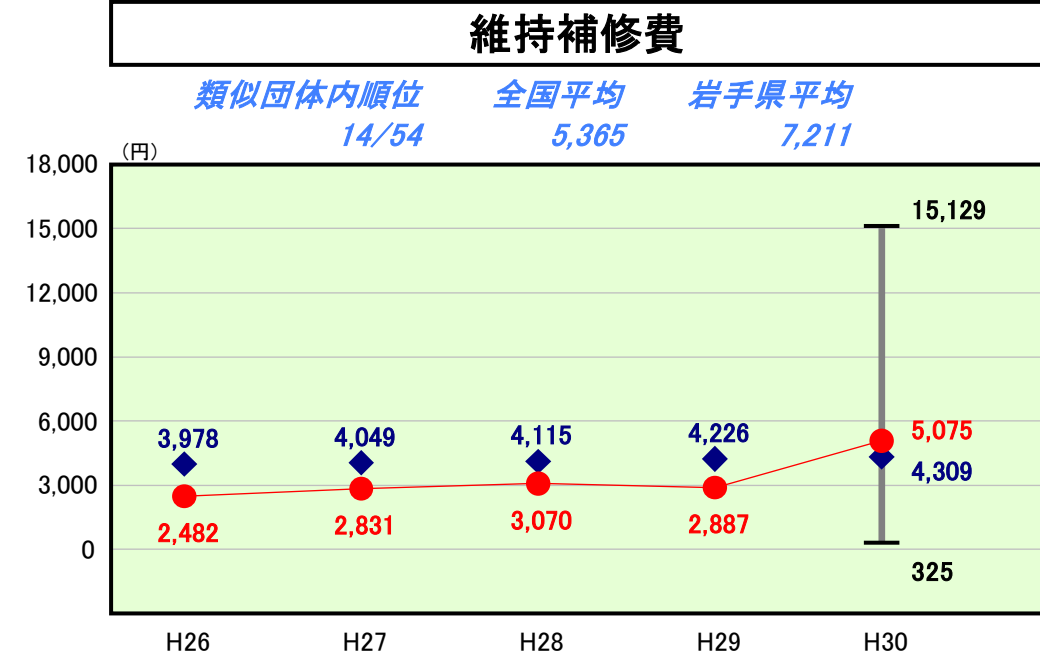
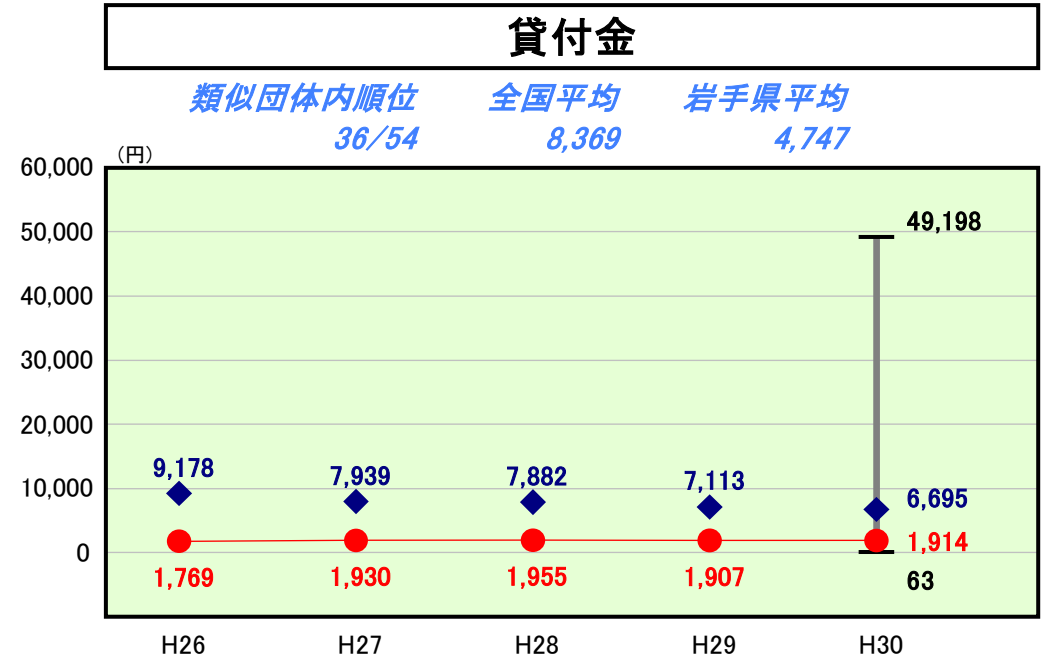
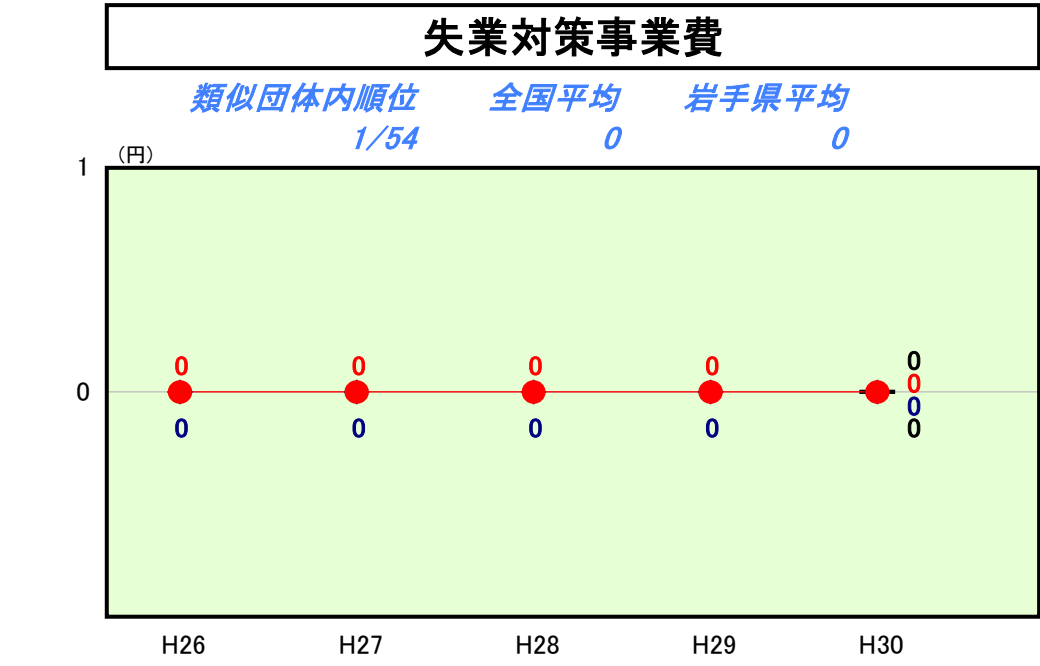
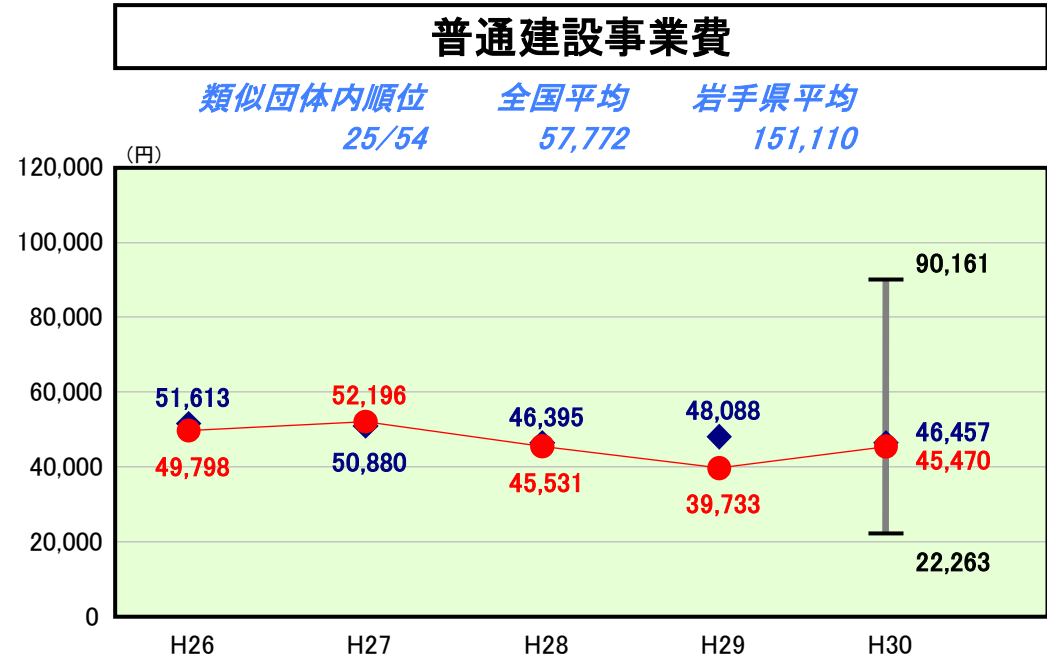
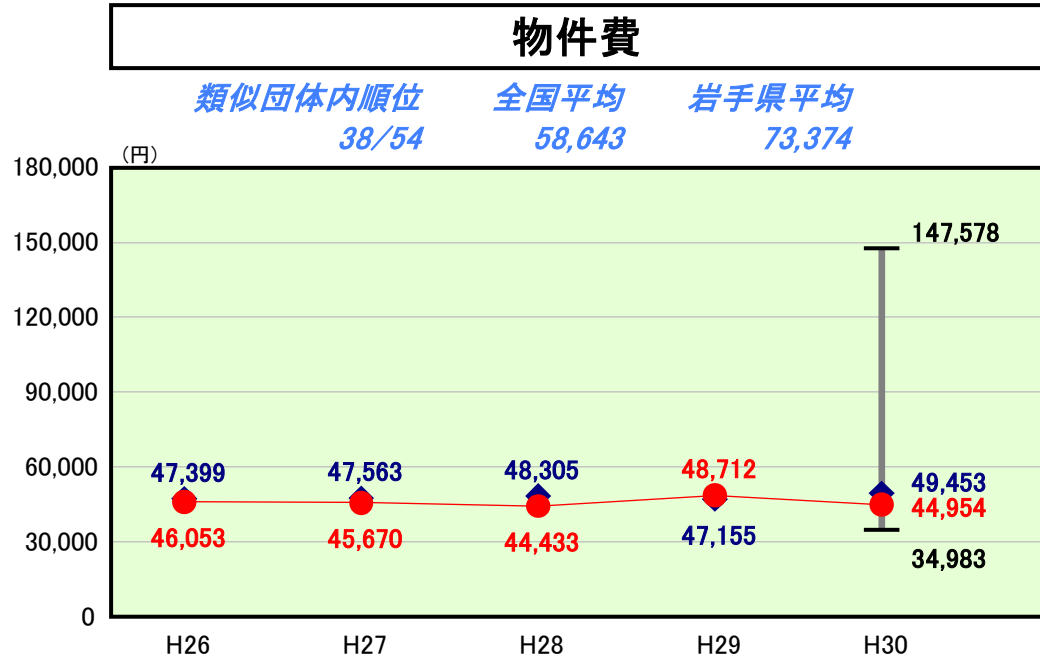
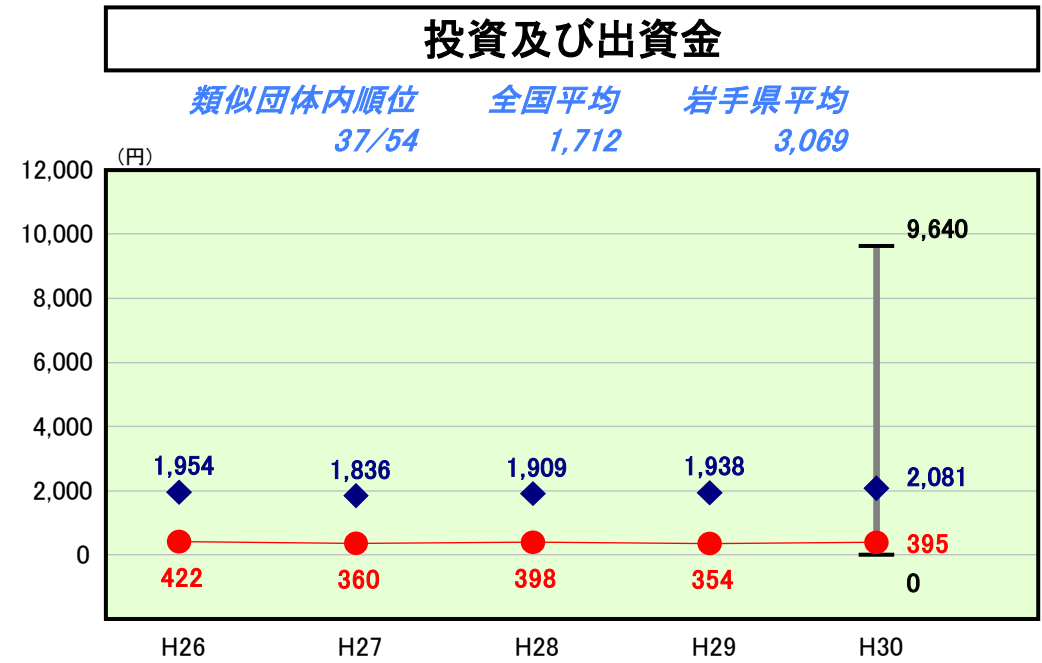
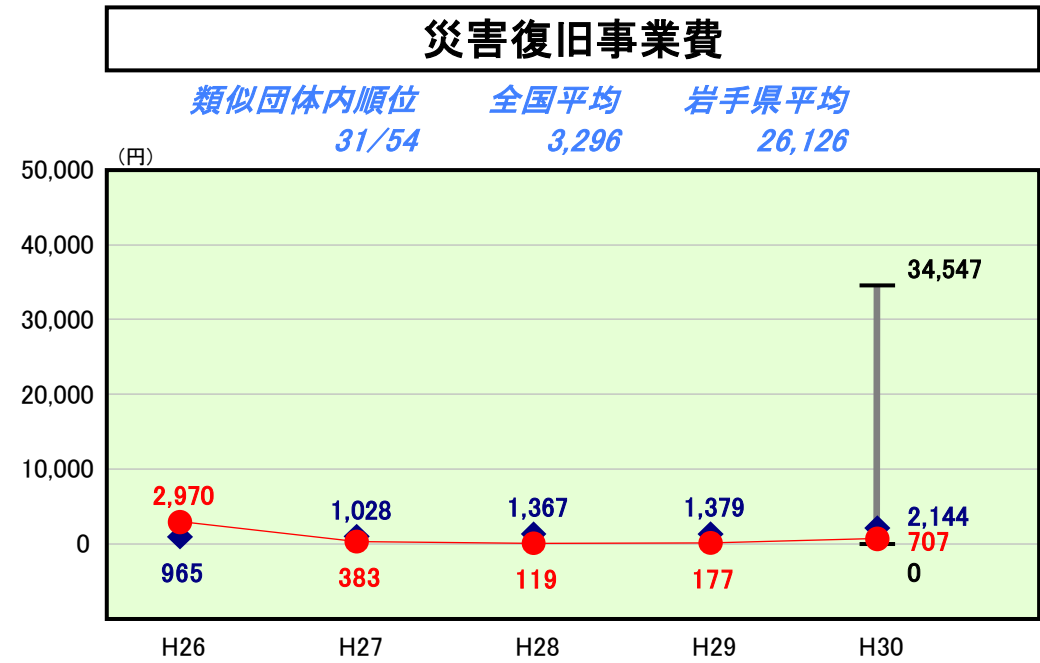
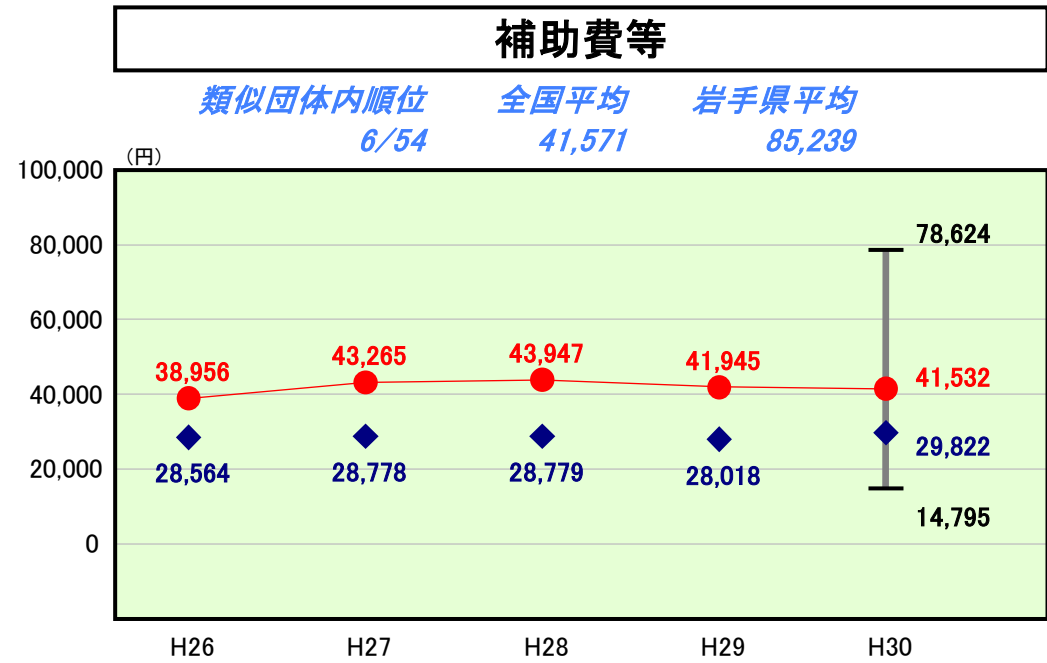
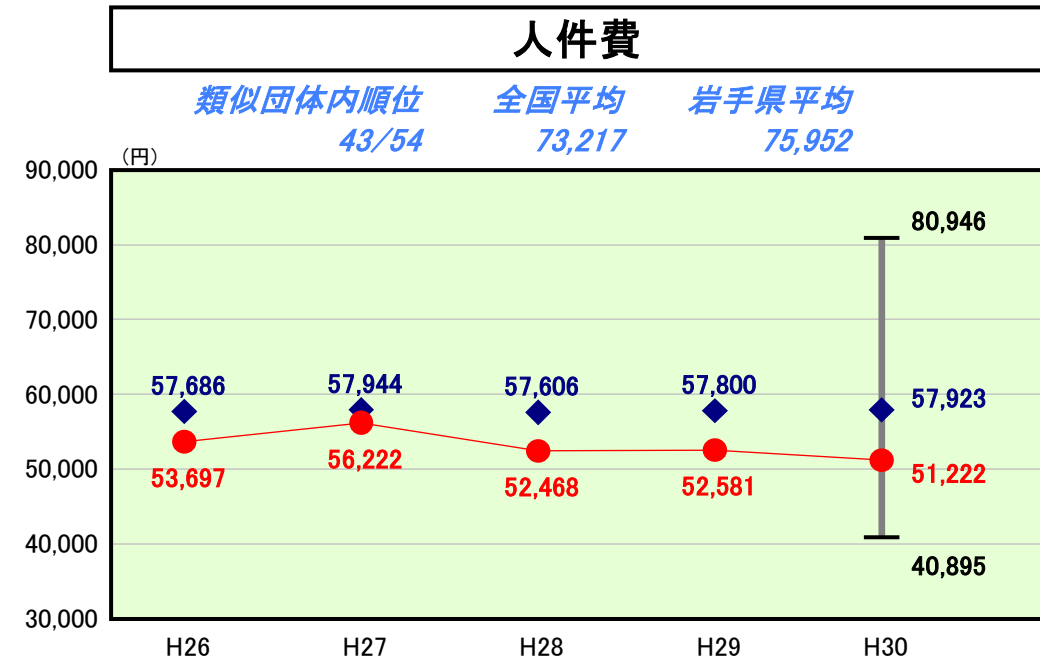
人	口	290,136	人(H31.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%						
う	日	288,667	人(H31.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率	-	%				
面	積	886.47	km ²	実	質	公	債	費	比	率	9.3	%					
歳入	総額	112,067,865	千円	将	来	負	担	比	率	60.6	%						
歳出	総額	110,325,183	千円	市	町	村	類	型									
実質	収支	1,030,085	千円	(	年	度	毎	)									
標準	財政規模	63,911,655	千円														
地方	債現在高	131,002,651	千円														



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

人件費については、定員管理計画に基づく抑制の結果、住民一人当たり51,222円となり類似団体平均との差がさらに広がった。維持補修費は道路除排雪事業や各施設の修繕等の増により、住民一人当たり5,075円となり類似団体平均値を上回る状態となった。老朽施設が増加するなか、計画的に施設の修繕を実施し維持補修費の抑制に努めることとする。

普通建設事業については、新規整備については類似団体平均より低くなっているが、施設の長寿命化等のための更新整備の増などにより住民一人当たり45,470円となり、類似団体平均と同程度となった。今後もこの傾向は継続すると見込まれており、公共施設等総合管理計画に基づき計画的に適正な規模での実施に努めることとする。

補助費等については、盛岡地区広域消防組合や東北絆まつり等開催事業等への負担金の増はあったものの、介護給付費等給付の減などがあり住民一人当たり41,582円となったが、類似団体と比較したコストが依然として高い状況となっている。

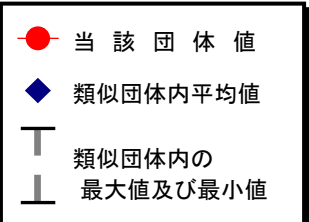
積立金については、今後の公共施設の長寿命化等に係る大規模改修事業等の財源として公共施設等整備基金への積立の増などにより、類似団体平均を上回る結果となった。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成30年度

岩手県盛岡市

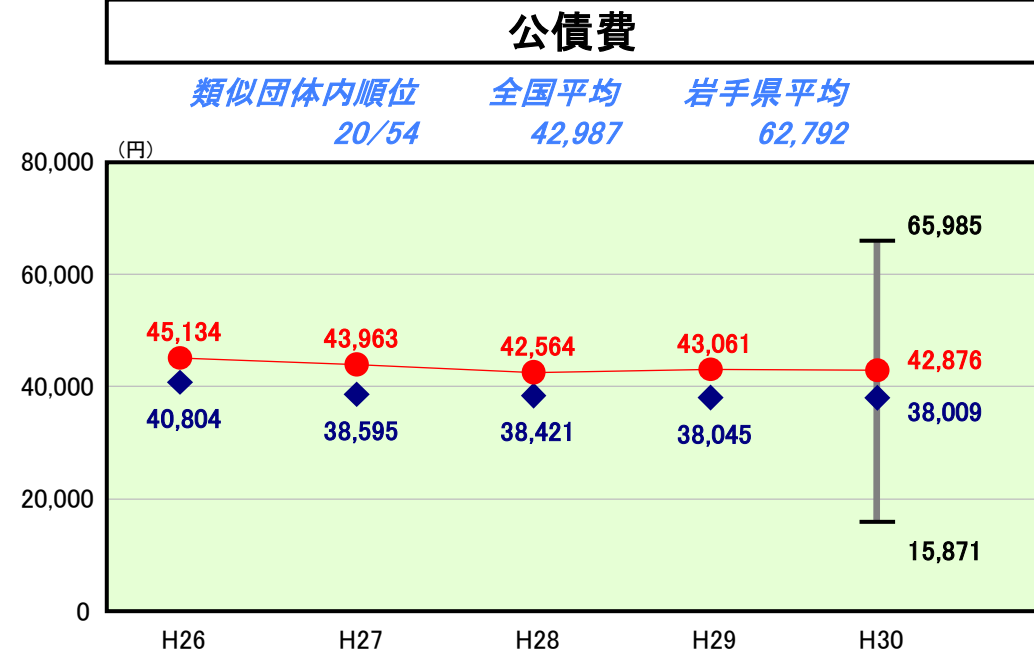
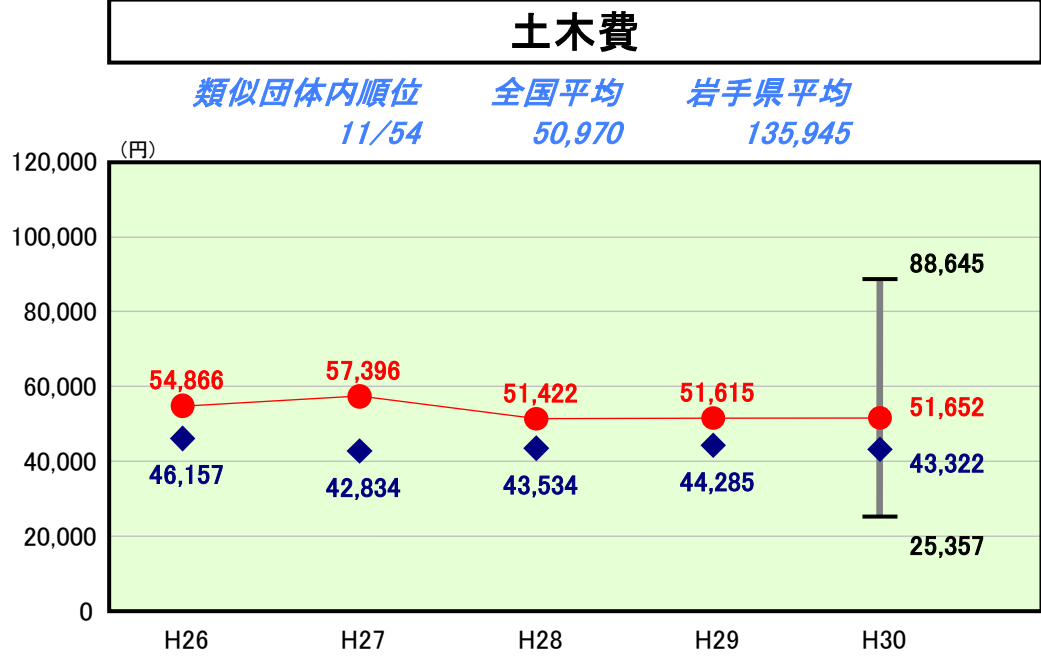
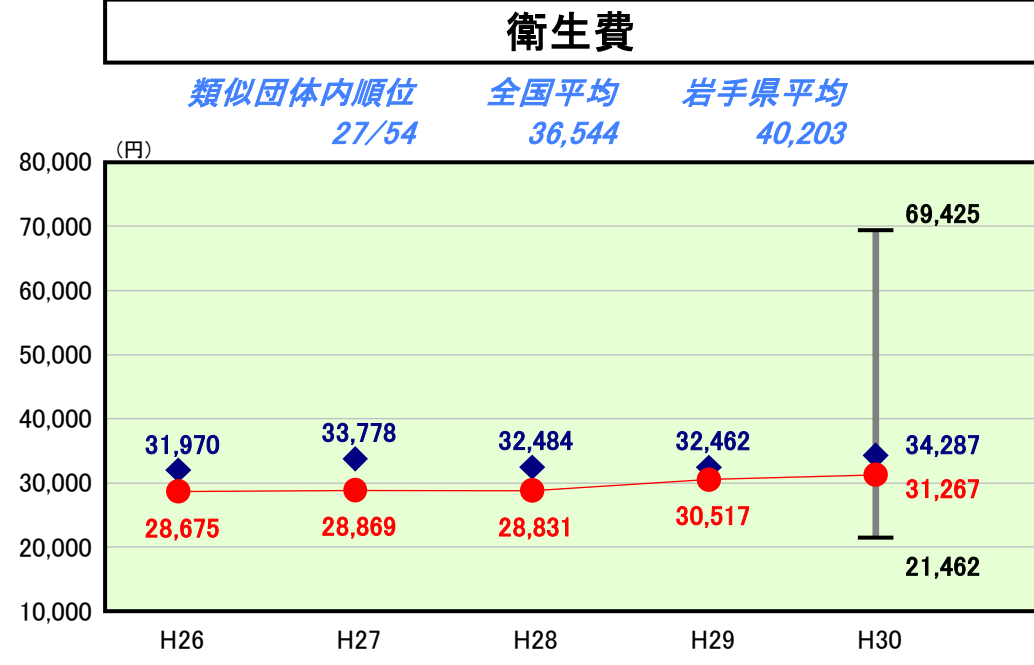
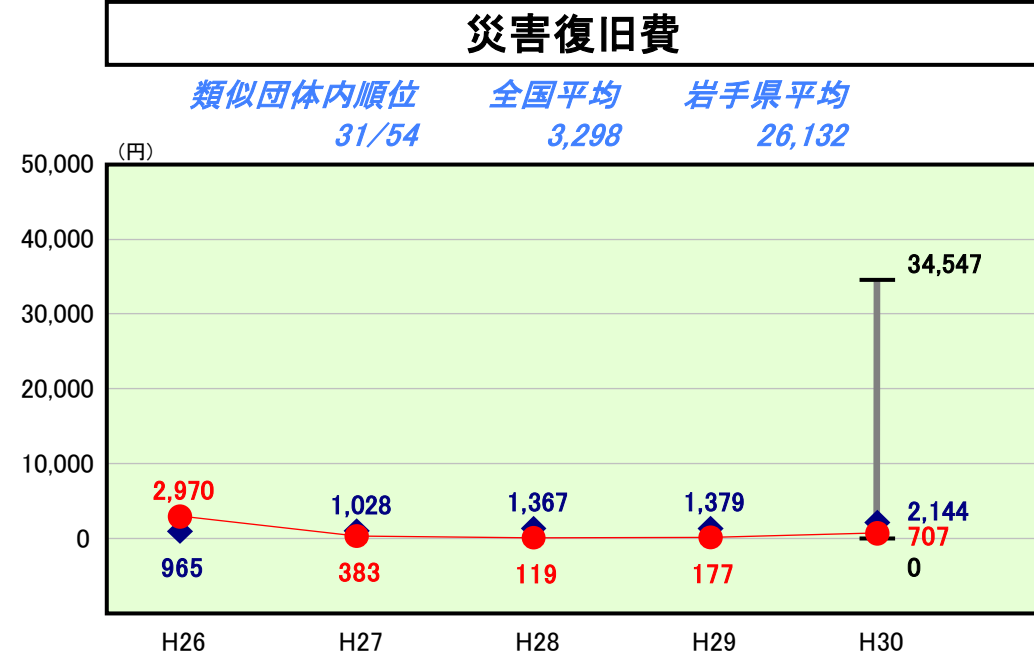
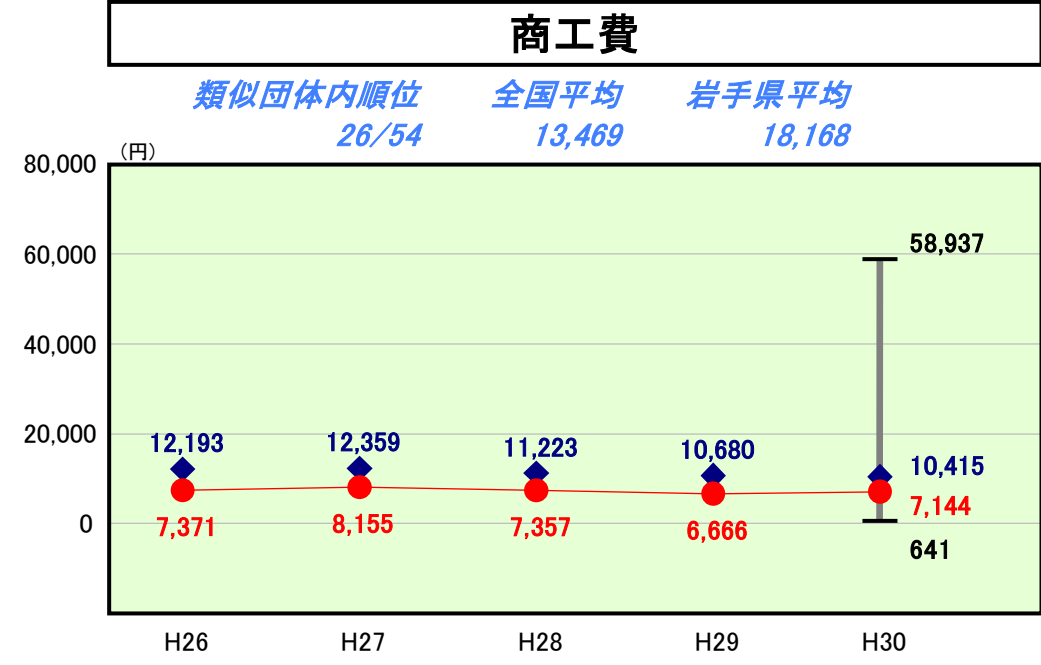
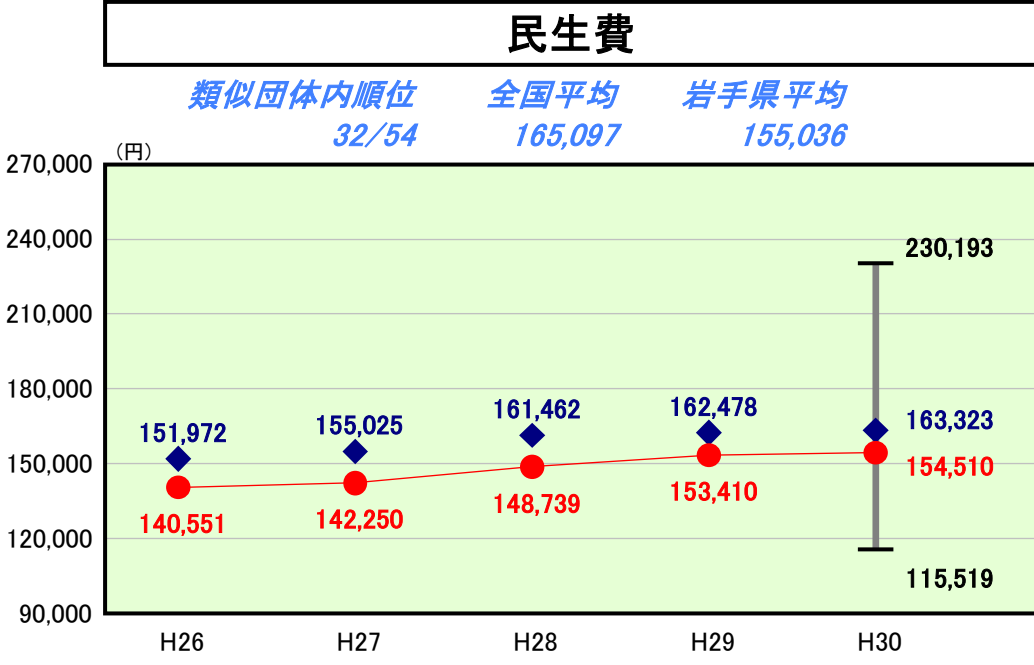
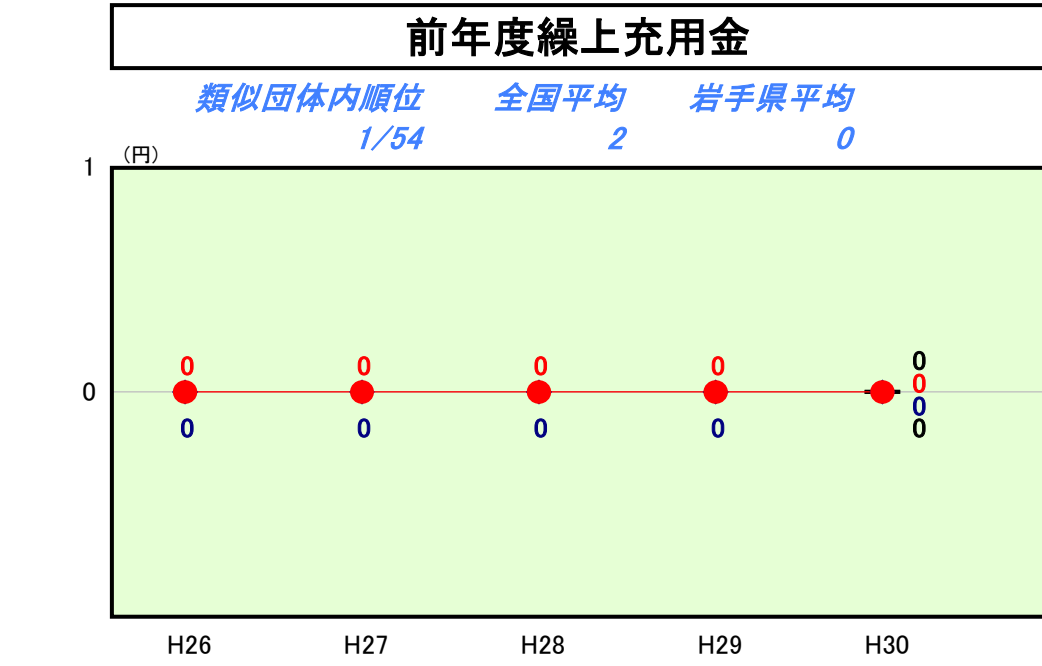
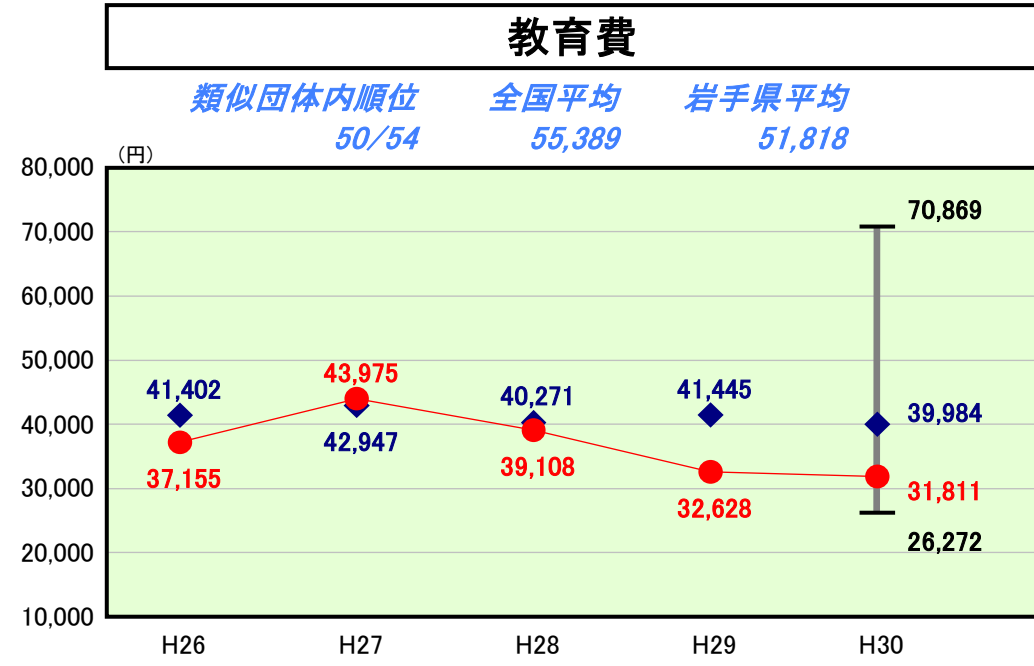
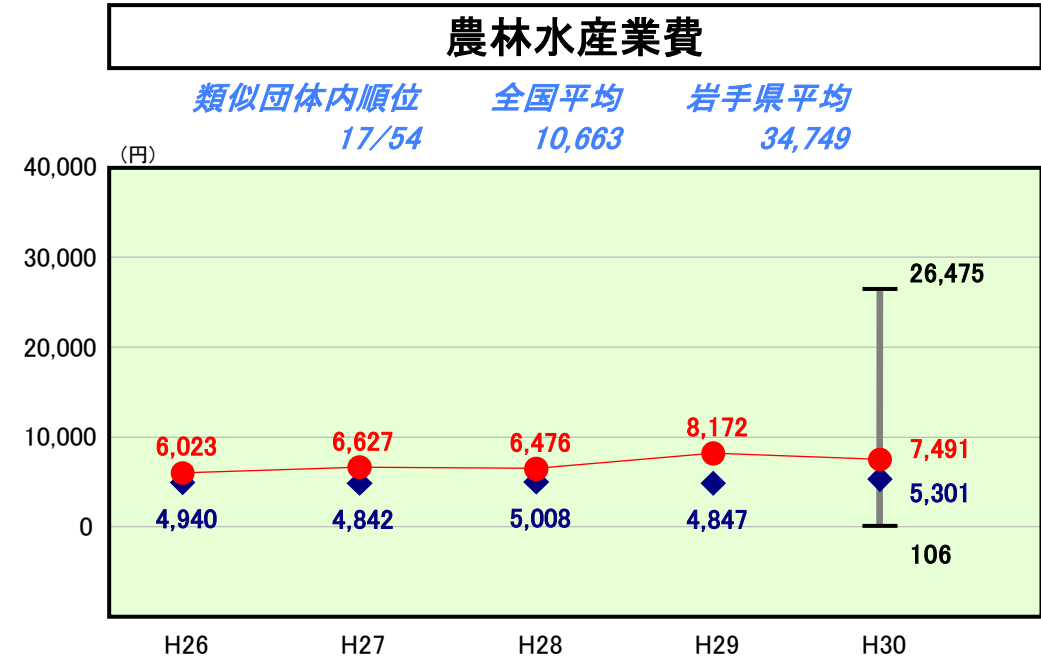
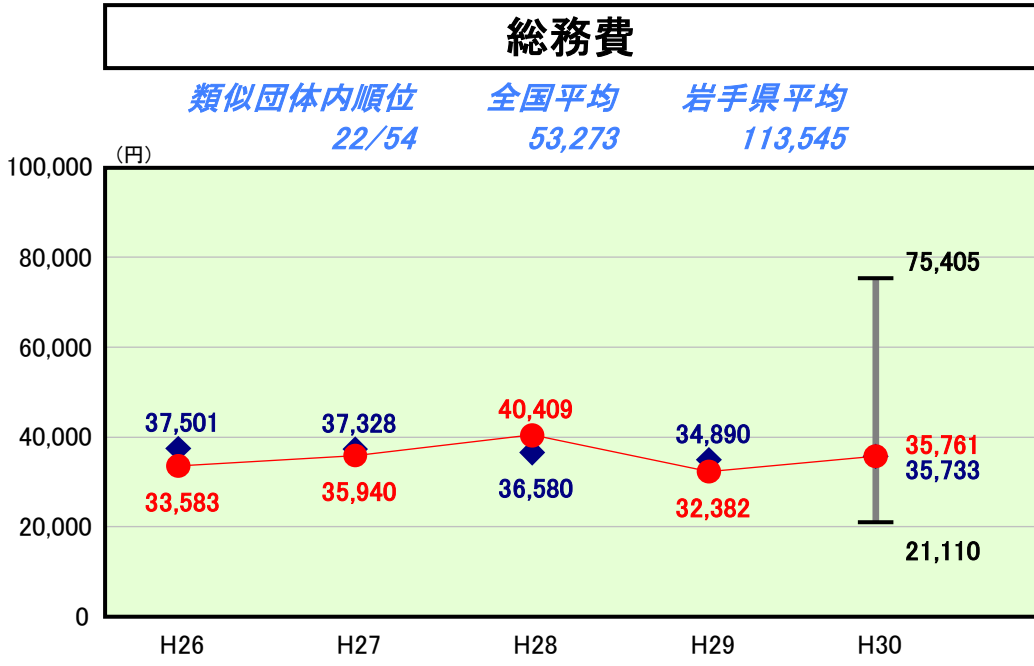
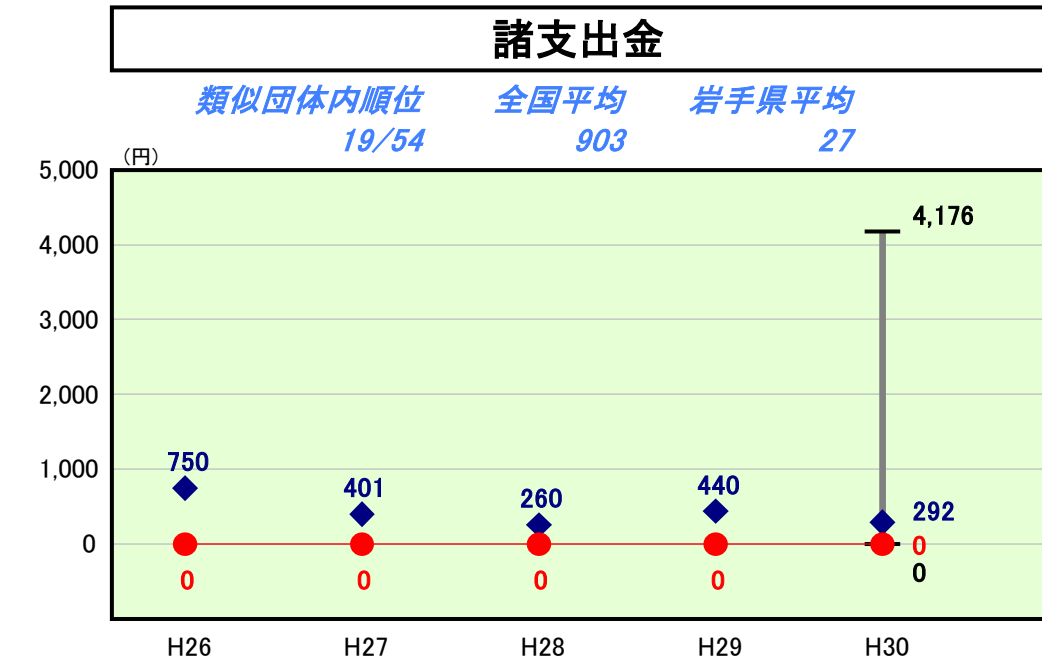
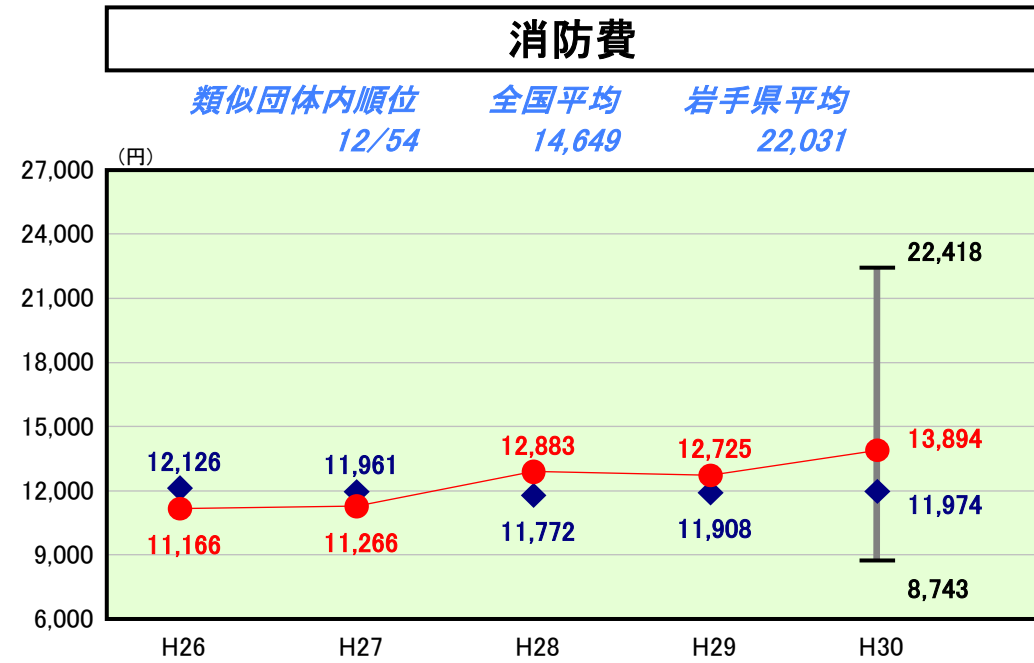
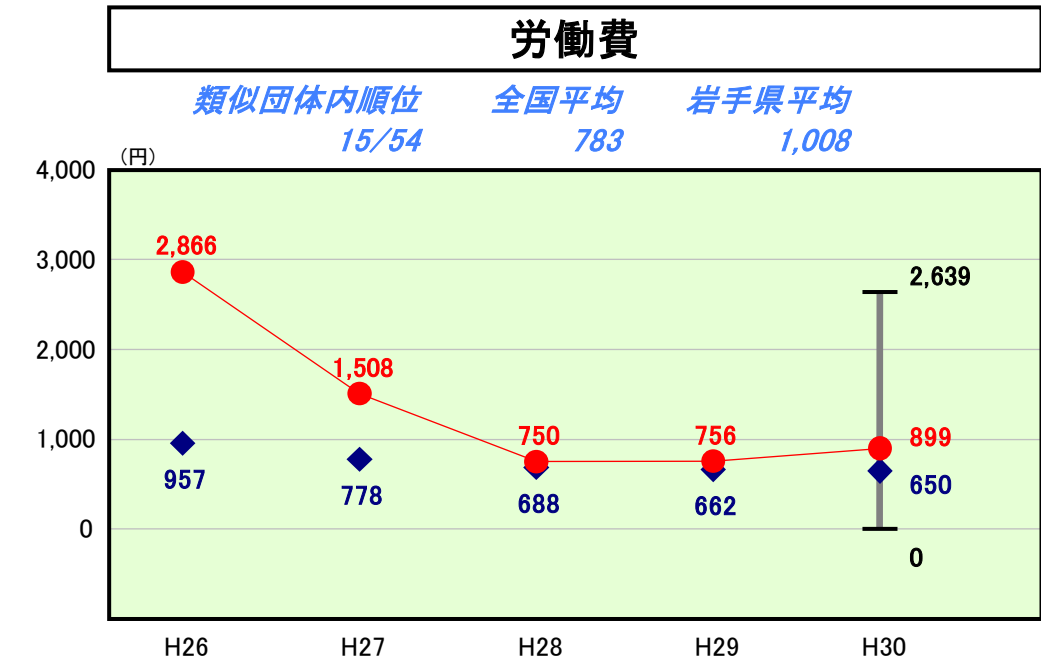
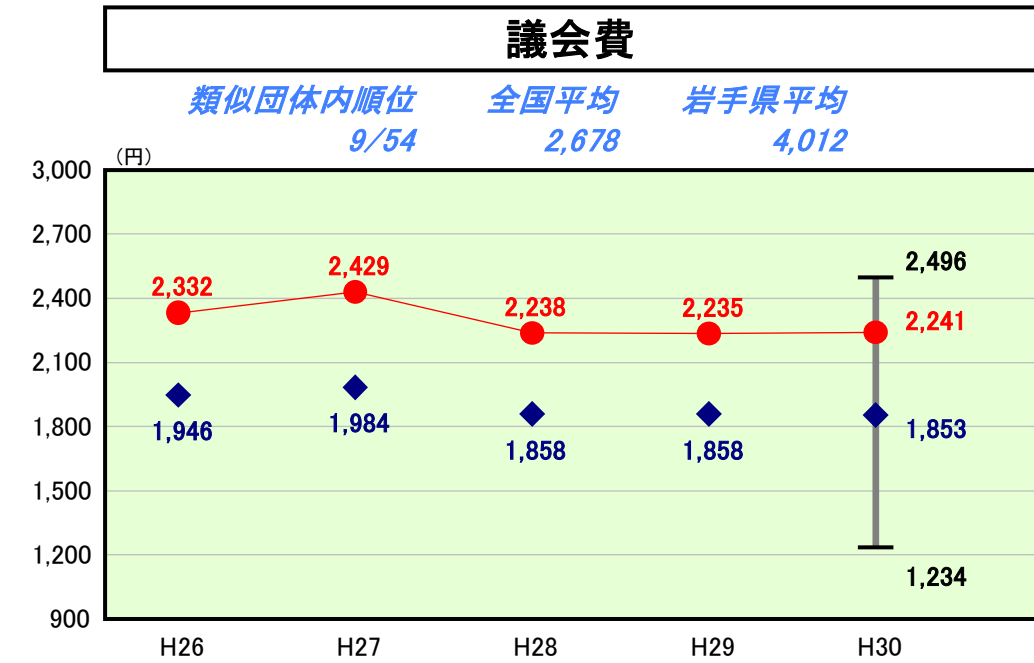
人	290,136人	(H31.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
口	288,667人	(H31.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面	886.47	k㎡	実	質	公	債	費	比	率	9.3
歳入総額	112,067,865	千円	将	来	負	担	比	率	60.6	%
歳出総額	110,325,183	千円	市	町	村	類	型		H26	中核市
実質収支	1,030,085	千円	(	年	度	毎	)		H29	中核市
標準財政規模	63,911,655	千円							H27	中核市
地方債現在高	131,002,651	千円							H28	中核市



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

労働費は勤労福祉会館等の施設の維持補修費の増により住民一人当たりのコストが前年度より増となり、依然として類似団体平均を上回る状態となっている。

農林水産業費は、住民一人当たり7,491円で前年度に比べて681円減となったが、依然として類似団体平均を上回るコストとなっている。減の要因としては産地パワーアップ事業や総合交流ターミナル整備事業の減などがある。今後も事務事業の見直し等により適切なコストとなるよう努めることとする。

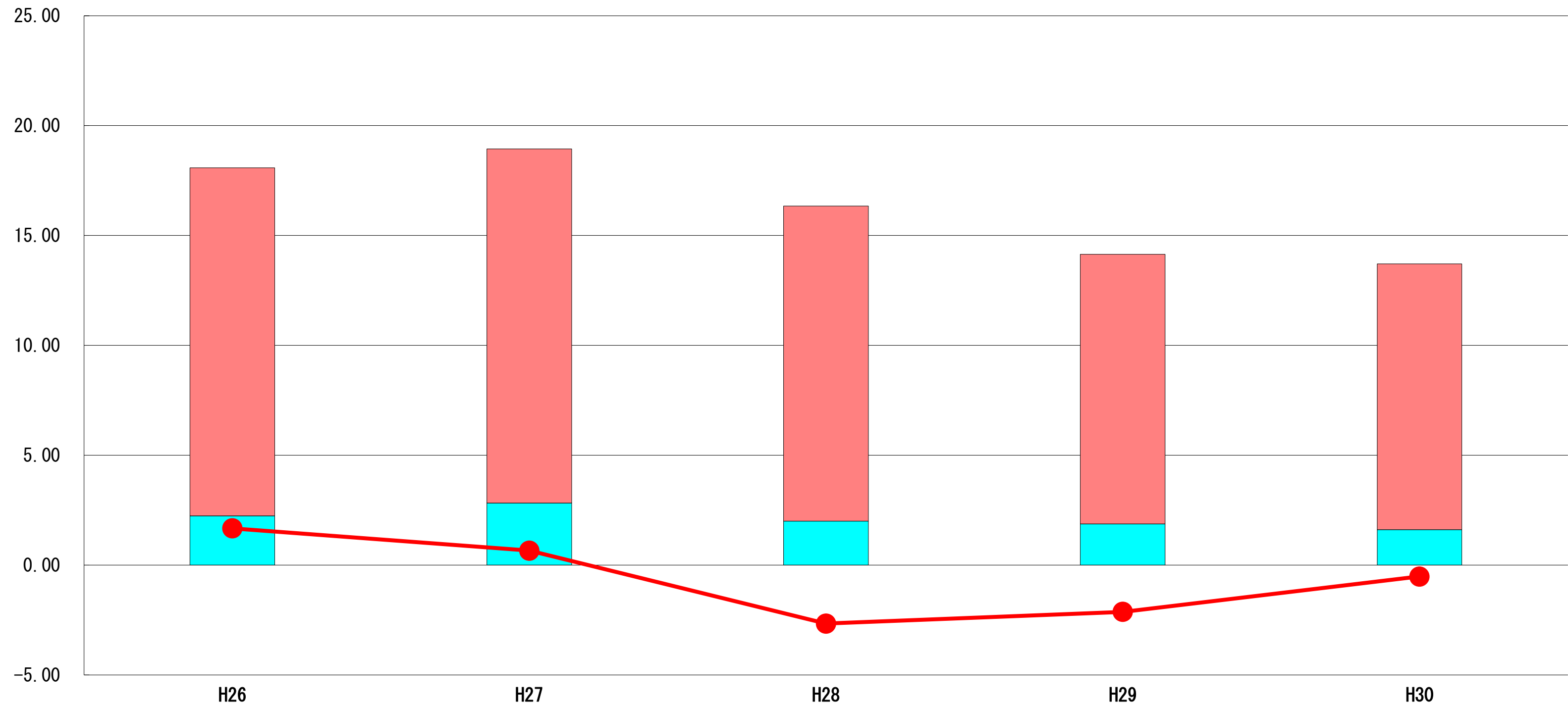
消防費については、盛岡広域消防組合への負担金の増などにより住民一人当たりのコストが13,894円となり、前年度に比べて1,169円の増となった。類似団体平均を上回る状態は平成28年度から継続しており、今後も事務事業の見直し等により適切なコストになるよう努めることとする。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成30年度

岩手県盛岡市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30
財政調整基金残高		15.84	16.11	14.34	12.27	12.10
実質収支額		2.24	2.83	2.00	1.88	1.61
実質単年度収支		1.67	0.66	▲ 2.66	▲ 2.13	▲ 0.52

分析欄

平成30年度の実質単年度収支は前年度比1. 61ptの増となったが、平成28年度から3年連続のマイナスとなった。財政調整基金残高、実質収支額については、それぞれ0. 17pt、0. 27ptの減となっている。財政調整基金残高の減少は、決算剰余金を積立てた一方で、増大する社会保障経費などによる。

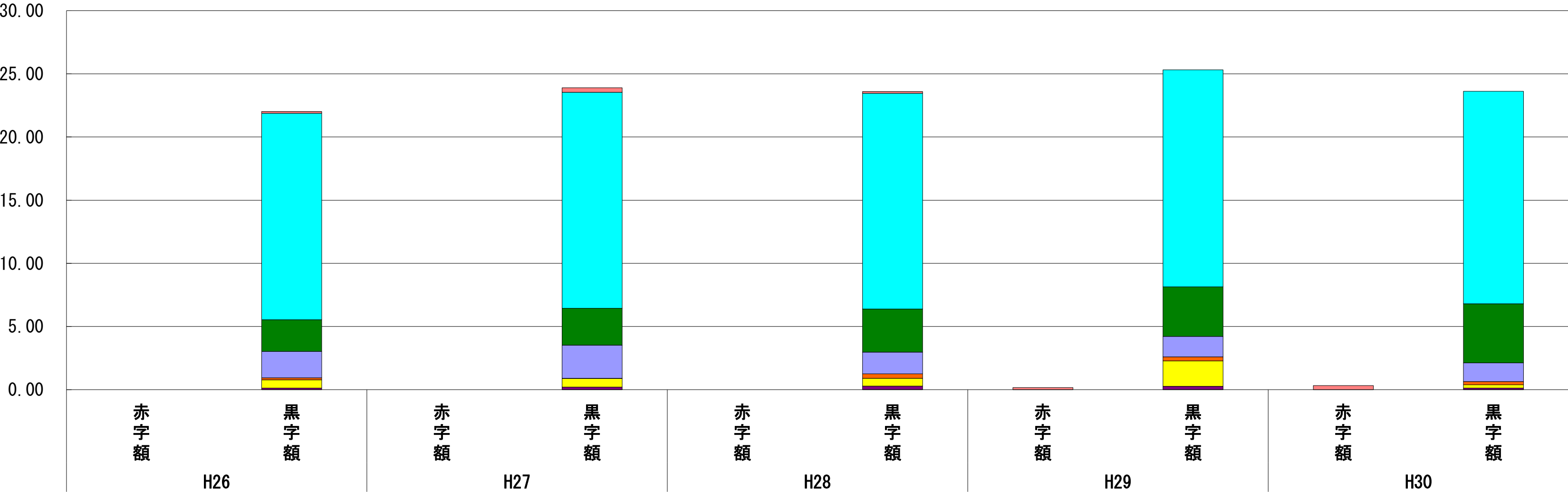
今後も、標準財政規模と財政調整基金のバランスを考慮した基金運用に努めることとする。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成30年度

岩手県盛岡市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H26	H27	H28	H29	H30
会計						
病院事業会計		0.13	0.35	0.13	▲ 0.17	▲ 0.33
水道事業会計		16.36	17.10	17.09	17.18	16.80
下水道事業会計		2.50	2.92	3.41	3.93	4.68
一般会計		2.10	2.63	1.72	1.61	1.49
介護保険費特別会計		0.14	0.02	0.36	0.32	0.26
国民健康保険費特別会計		0.66	0.67	0.61	2.01	0.26
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計		0.13	0.19	0.27	0.26	0.11
後期高齢者医療費特別会計		0.00	0.01	0.01	0.01	0.01
その他会計（赤字）		－	－	－	－	－
その他会計（黒字）		0.00	0.01	0.00	0.00	0.00

分析欄

平成21年度以降、全会計における連結実質赤字比率は黒字が続いている状況にあったが、病院事業会計において、平成29年度が標準財政規模比△0.17%、平成30年度が△0.33%と、資金不足が生じている状況である。

病院事業会計において、経営健全化基準は下回ったものの、事業経営が厳しい状況を示していることから、健全化に向けた経営の改善が更に必要である。

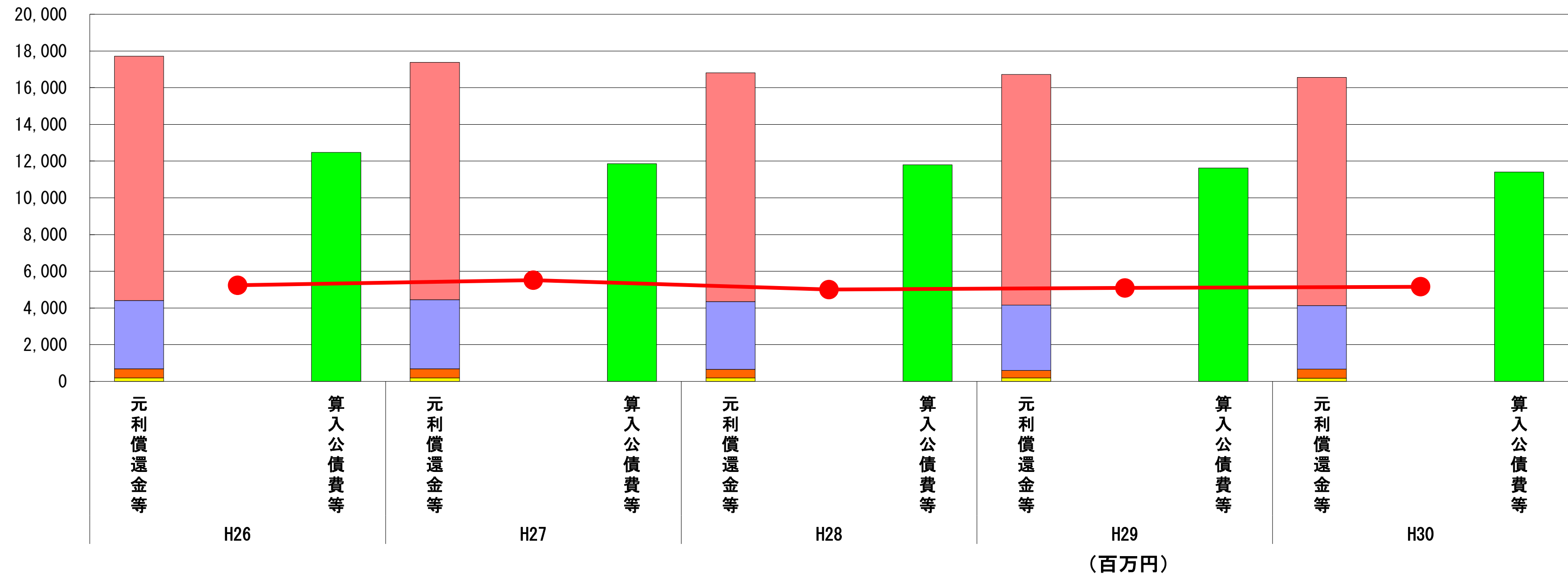
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

岩手県盛岡市

(百万円)



分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
元利償還金等 (A)	元利償還金		13,315	12,921	12,457	12,560	12,436
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		3,727	3,772	3,695	3,562	3,460
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		496	501	472	419	499
	債務負担行為に基づく支出額		183	183	183	183	168
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		12,479	11,862	11,801	11,632	11,406
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		5,242	5,515	5,006	5,092	5,157

分析欄

平成4～10年度に行った大規模施設の建設、区画整理等の都市計画事業債の償還はピークを過ぎたものの、平成29年度以降、臨時財政対策債の償還がピークを迎えることから、元利償還金は、依然として高い水準にある。

※1 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
(参考)

		年度	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高（注）		-	-	-	-	-
	減債基金積立相当額		-	-	-	-	-

分析欄

該当なし

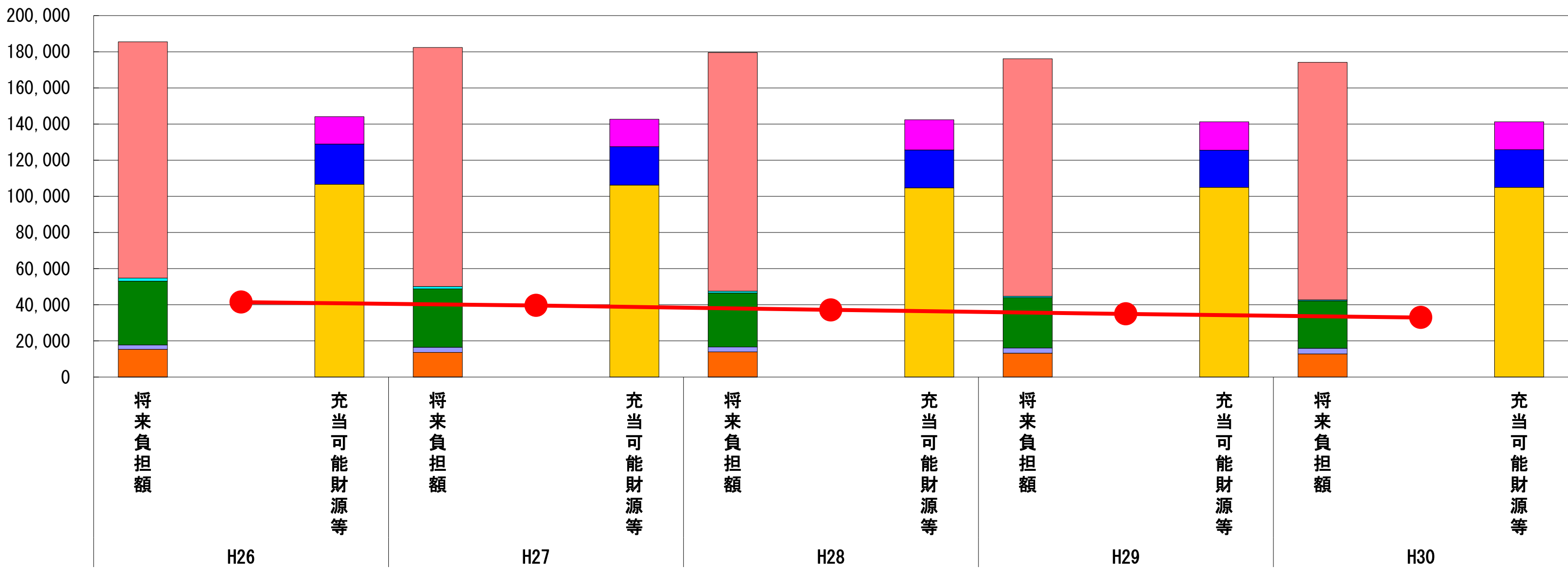
（注）減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

岩手県盛岡市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		130,843	132,181	132,055	131,453	131,489
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,702	1,318	975	704	515
	公営企業債等繰入見込額		35,196	32,355	29,925	27,945	26,206
	組合等負担等見込額		2,385	2,759	2,675	2,927	3,095
	退職手当負担見込額		15,372	13,673	13,920	13,162	12,854
	設立法人等の負債額等負担見込額		42	22	3	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		15,240	15,138	16,696	15,668	15,449
	充当可能特定歳入		22,282	21,290	21,055	20,633	20,833
(A) - (B)			106,588	106,272	104,665	104,943	104,948
		将来負担比率の分子	41,430	39,609	37,137	34,947	32,929

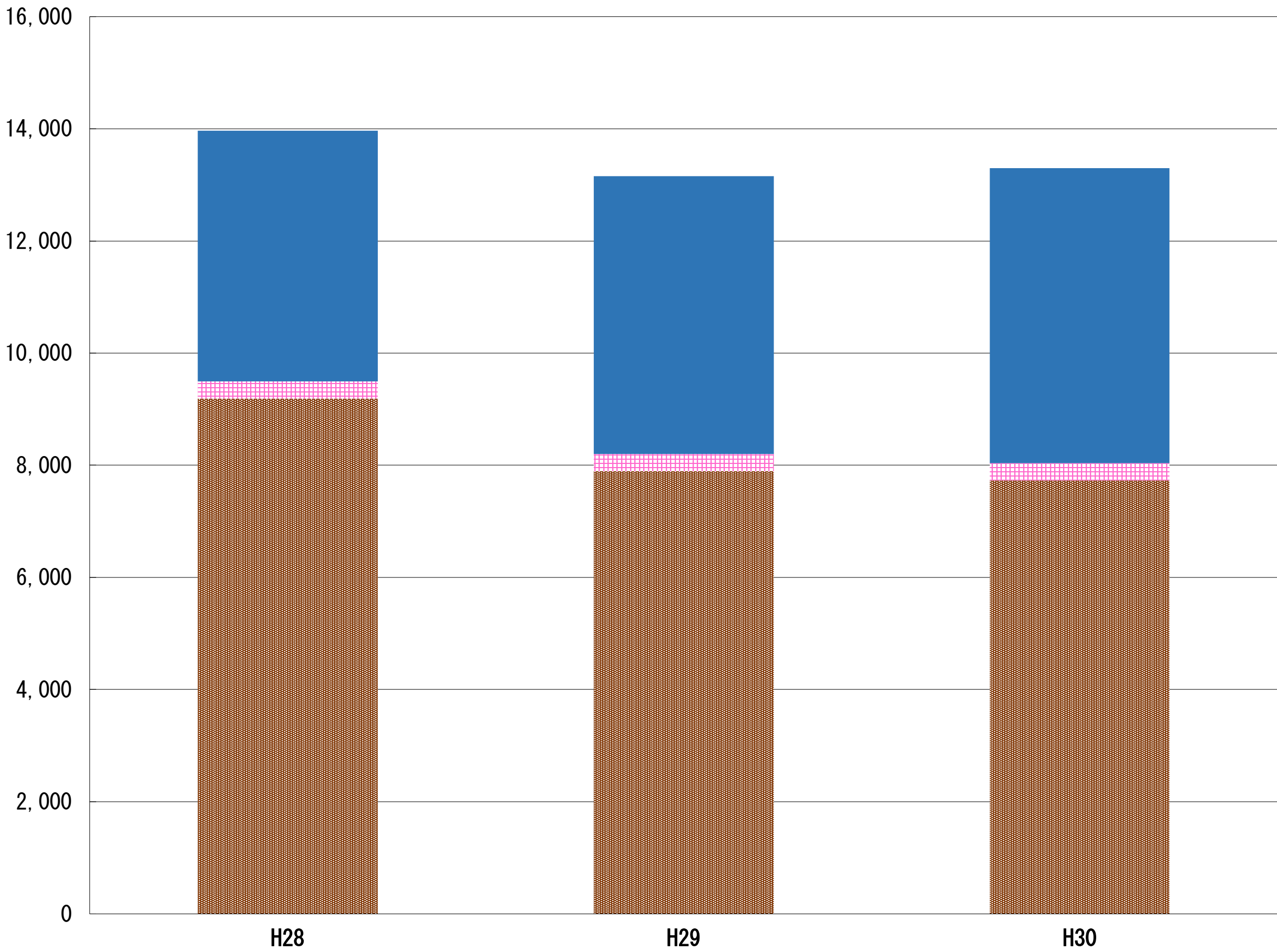
分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は、公共施設保有最適化・長寿命化計画に基づく大規模改修工事の実施などにより微増となった。また、公営企業債等繰入見込額は、前年度と比較し減少しているが、組合等負担等見込額については、微増傾向にあり、今後も、施設建設に係る負担が増加する見込みである。

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分		年度	H28	H29	H30
	財政調整基金		9,190	7,891	7,733
	減債基金		305	308	307
	その他特定目的基金		4,471	4,957	5,257
	公共施設等整備基金		2,579	2,881	3,039
	市庁舎整備基金		1,227	1,435	1,643
	国際交流基金		228	220	209
	地球温暖化対策実行計画推進基金		122	97	83
	子ども未来基金		91	82	83
基金残高合計			13,966	13,156	13,297

平成30年度

岩手県盛岡市

基金全体

（増減理由）

社会保障関係費の増などにより財政調整基金の取り崩しによる減があったものの、公共施設保有最適化・長寿命化計画に係る大規模改修工事等の財源とするため、公共施設等整備基金への積立等により特定目的基金の残高が前年度比300百万円増となったが、全体で前年度比141百万円の増となった。

（今後の方針）

社会保障関連経費や公共施設の保有最適化・長寿命化計画事業の増が見込まれる中で、災害等の不測の事態対応できるよう、適正な基金規模を維持しながら効果的な活用を図ることとする。

財政調整基金

（増減理由）

決算剰余金を積立てた一方で、社会保障経費の増大等による取崩しにより、前年度比158百万円の減となり平成27年度から3年連続の減となった。

（今後の方針）

今後も標準財政規模に応じた基金残高となるよう適正な運用に努めることとする。

減債基金

（増減理由）

岩手競馬経営改善推進資金過失献金利子等の積立はあったものの、公設浄化槽事業債償還の財源として取り崩したことにより前年度比1百万円の減となった。

（今後の方針）

地方債の償還計画を踏まえ、適正な基金の管理、活用を図ることとする。

その他特定目的基金

（基金の使途）

公共施設等整備基金：公共施設等の整備事業に要する経費の財源に充てるため
市庁舎整備基金：市庁舎の整備に要する財源に充てるため
国際交流基金：国際化に対応した施策の推進と市民の国際感覚の醸成に資するため
地球温暖化対策実行計画推進基金：市の区域における温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のための盛岡市地球温暖化対策地方公共団体実行計画の推進に要する経費の財源に充てるため
子ども未来基金：市民が行う子ども及びその保護者に対する支援の促進を図ることにより、市の未来を担う子どもがより健やかに成長することができる社会の実現に資するため

（増減理由）

公共施設等整備基金：今後、本格化する公共施設の保有最適化・長寿命化計画に係る大規模改修工事等の財源とするための積立による増
市庁舎整備基金：市庁舎の建て替え等の財源とするための積立による増
国際交流基金：姉妹都市等国際交流事業などの国際交流関係事業の財源とするための取崩しによる減
地球温暖化対策実行計画推進基金：地球温高対策実行計画推進事業など温暖化対策関連事業の財源とするための取崩しによる減
子ども未来基金：子ども未来基金事業の財源とするための積立による増

（今後の方針）

基金の使途を明確にし、今後の各事業の計画を踏まえ、適正な規模の維持、活用を図ることとする。

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成30年度

岩手県盛岡市

人	口	290,136	人 (H31. 1. 1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
う ち 日 本 人		288,667	人 (H31. 1. 1現在)	連 結 実 質 赤 字 比 率	-	%
面 積		886.47	k㎡	実 質 公 債 費 比 率	9.3	%
歳 入 総 額		112,067,865	千円	将 来 負 担 比 率	60.6	%
歳 出 総 額		110,325,183	千円	市 町 村 類 型	H26 中核市	H27 中核市
実 質 収 支		1,030,085	千円	(年 度 毎)	H29 中核市	H30 中核市
標 準 財 政 規 模		63,911,655	千円			
地 方 債 現 在 高		131,002,651	千円			

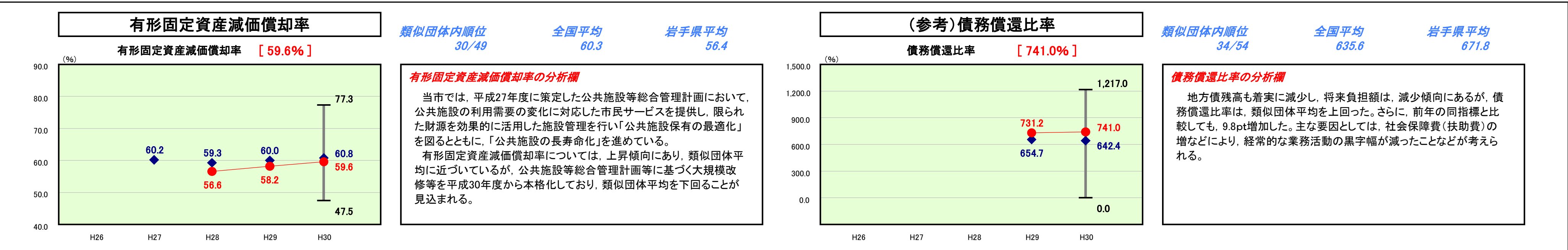
- 当該団体値
- 類似団体内平均値
- 類似団体内の
最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

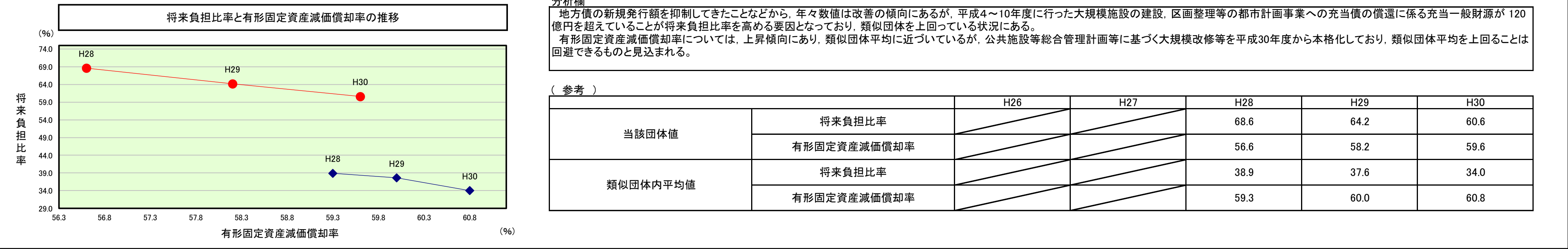
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

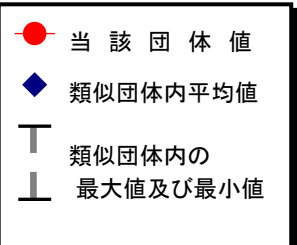


(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成30年度

岩手県盛岡市

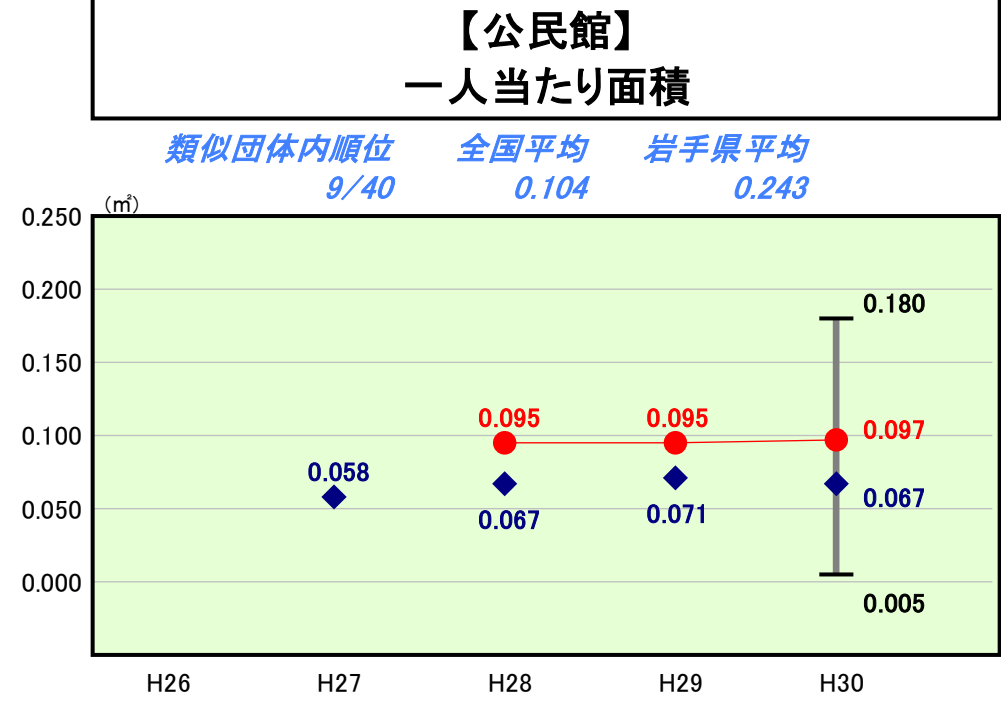
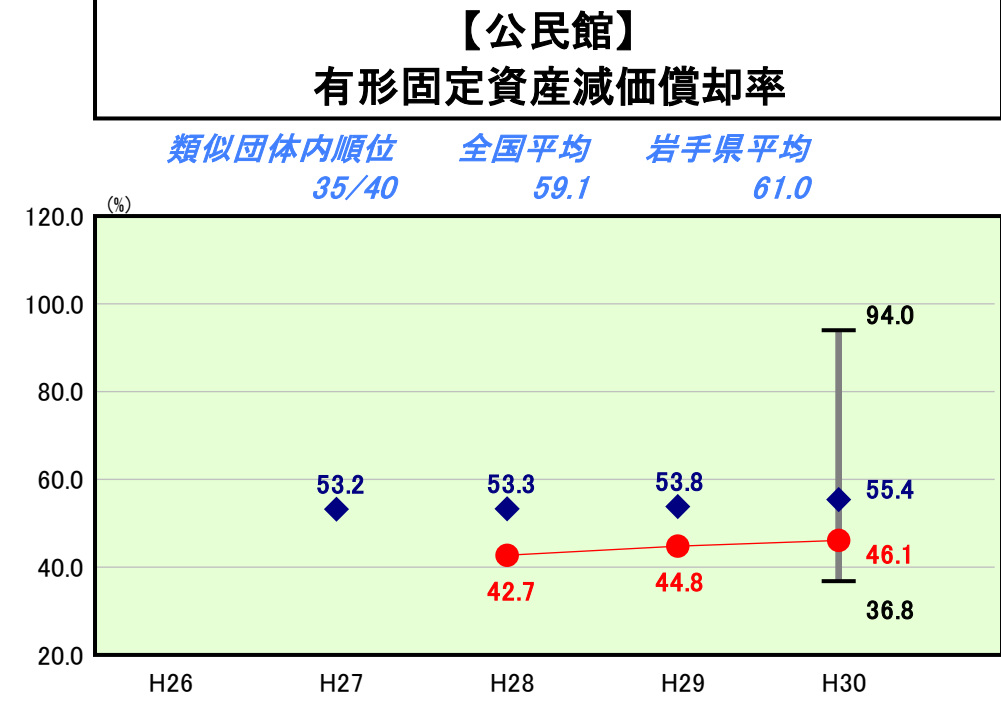
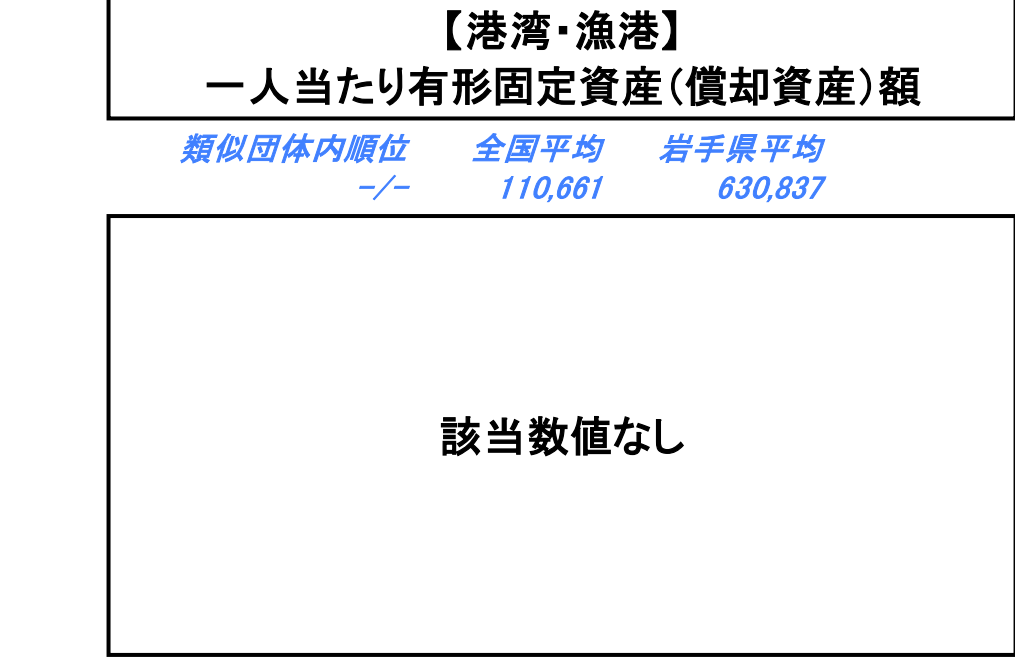
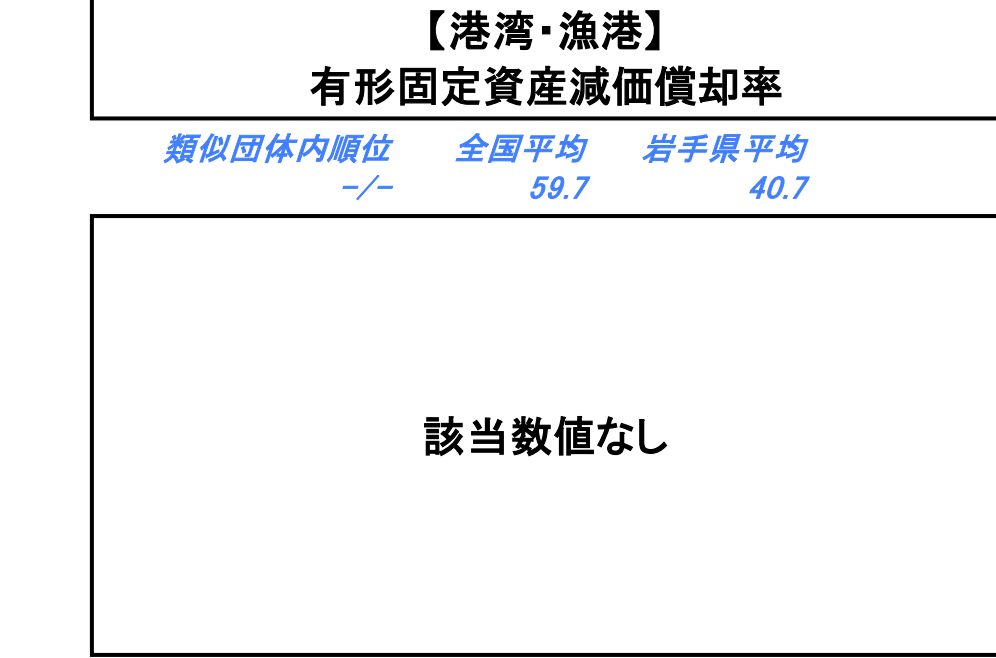
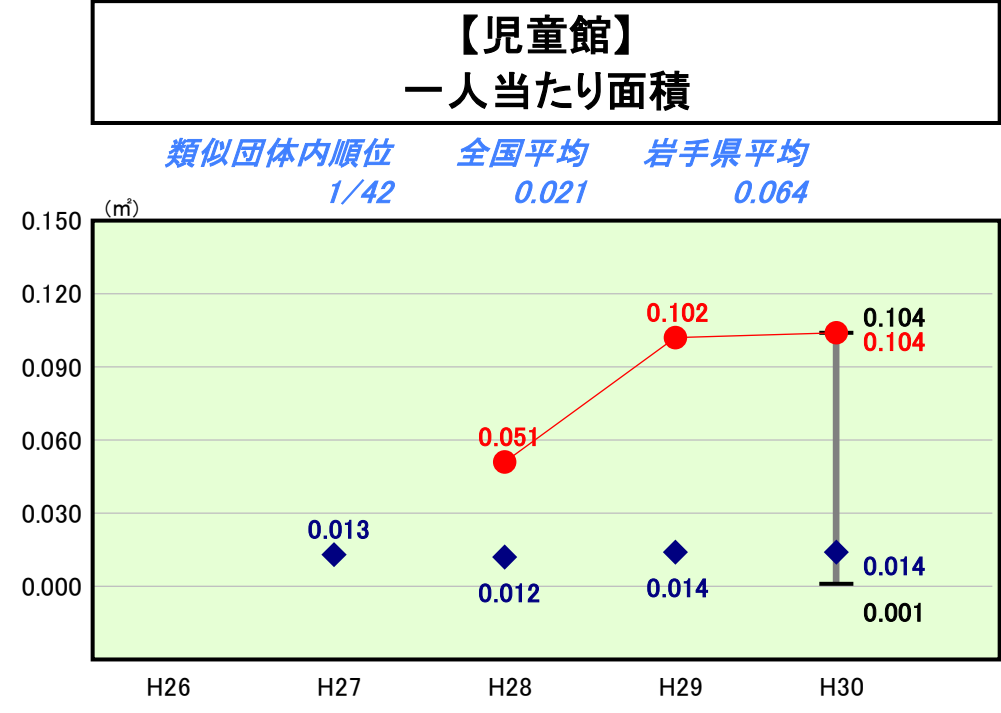
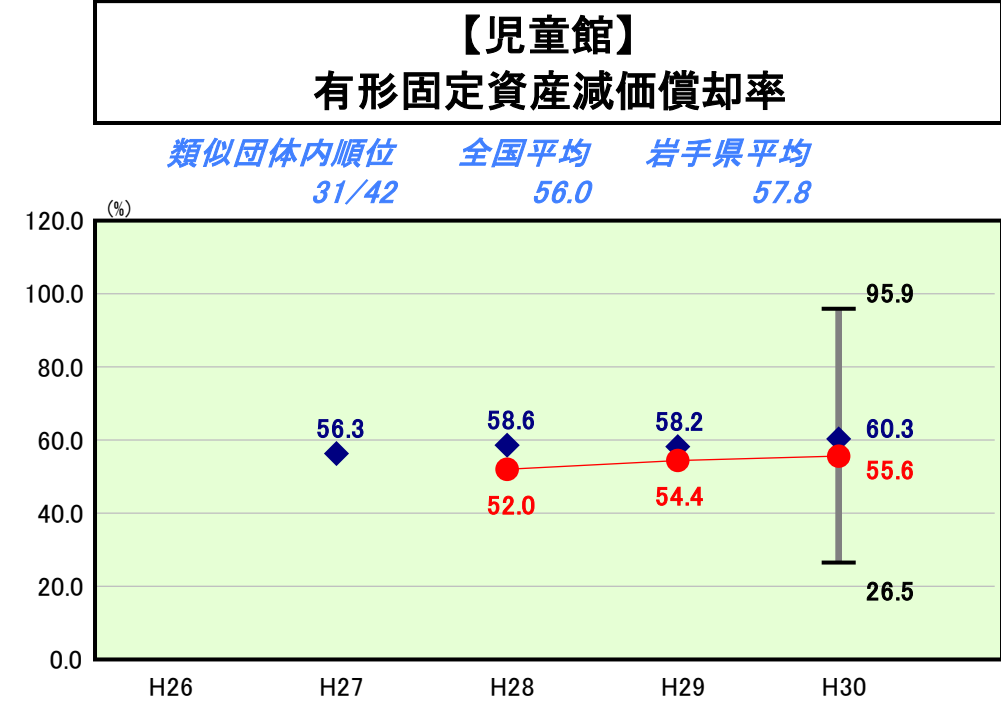
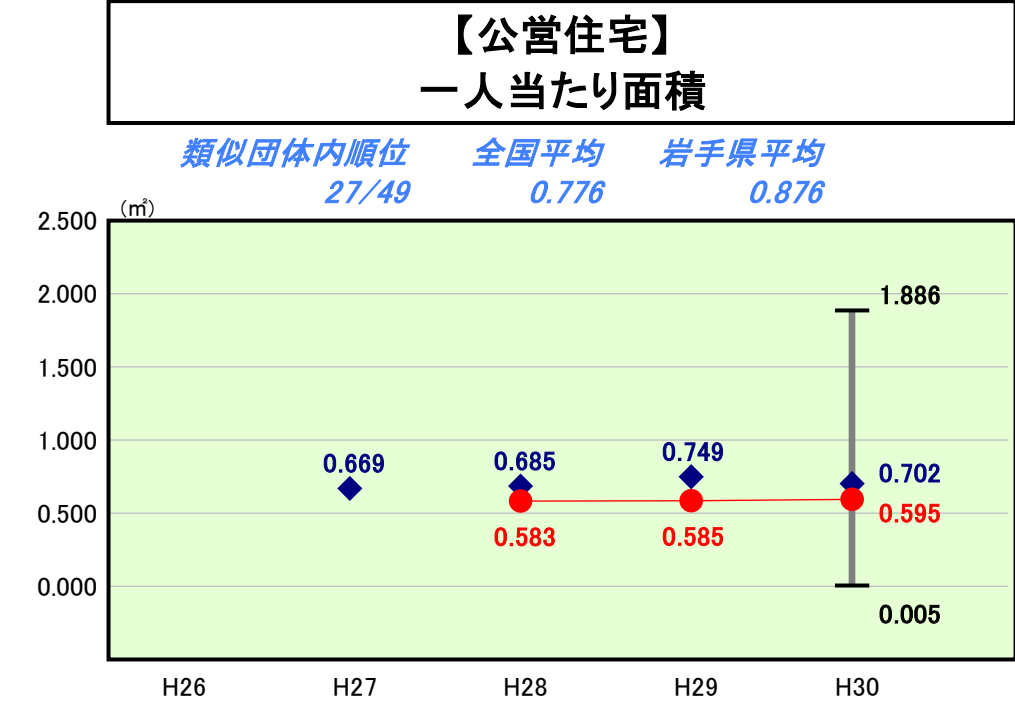
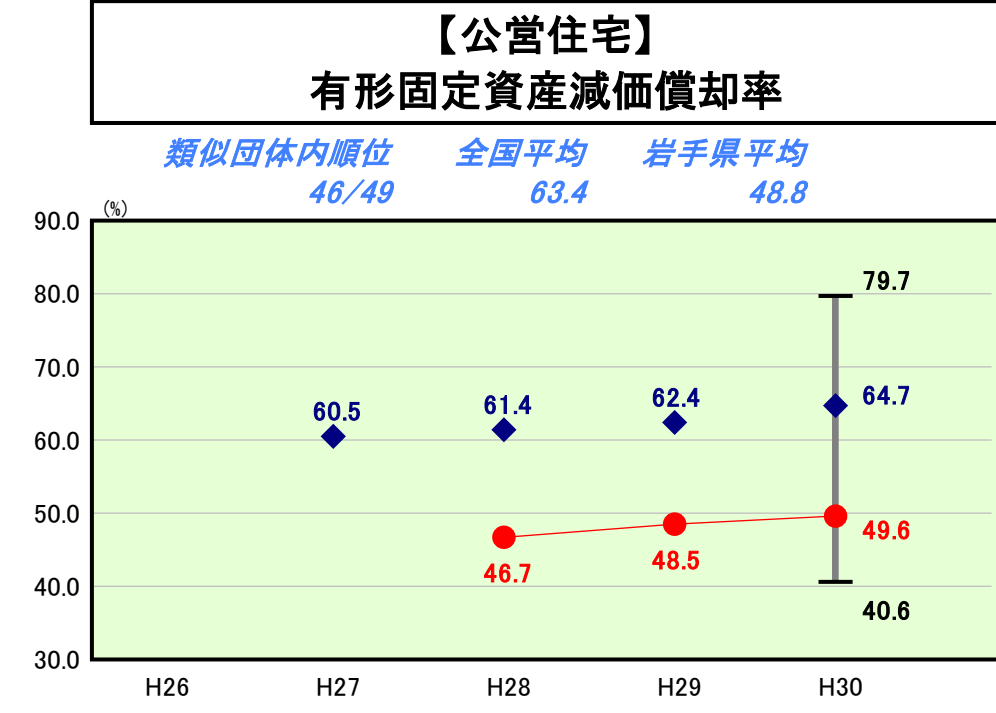
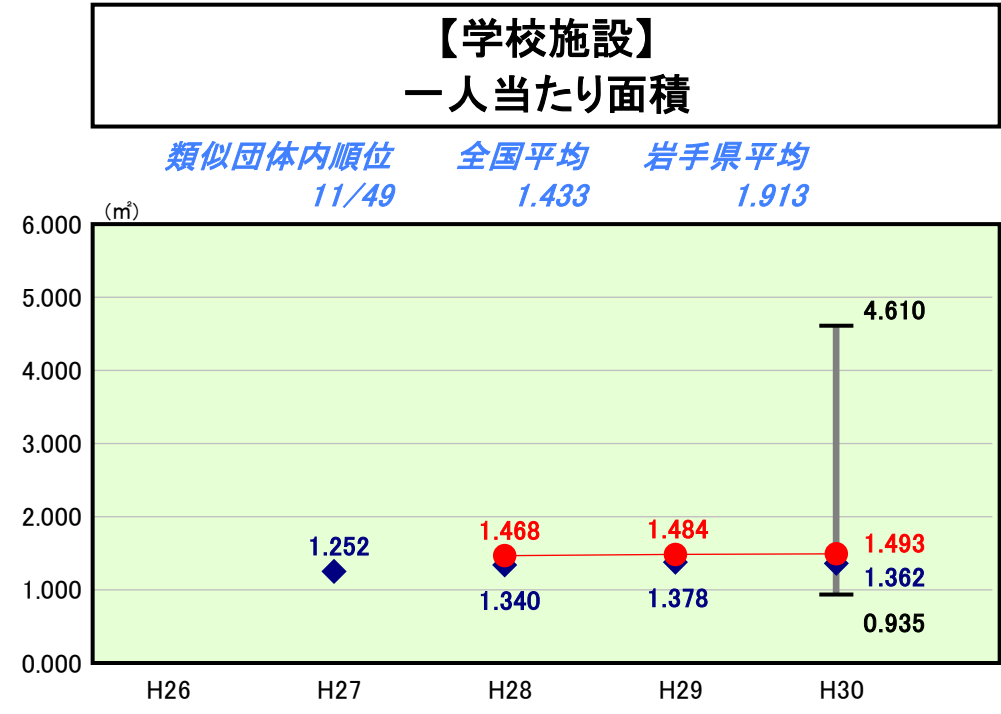
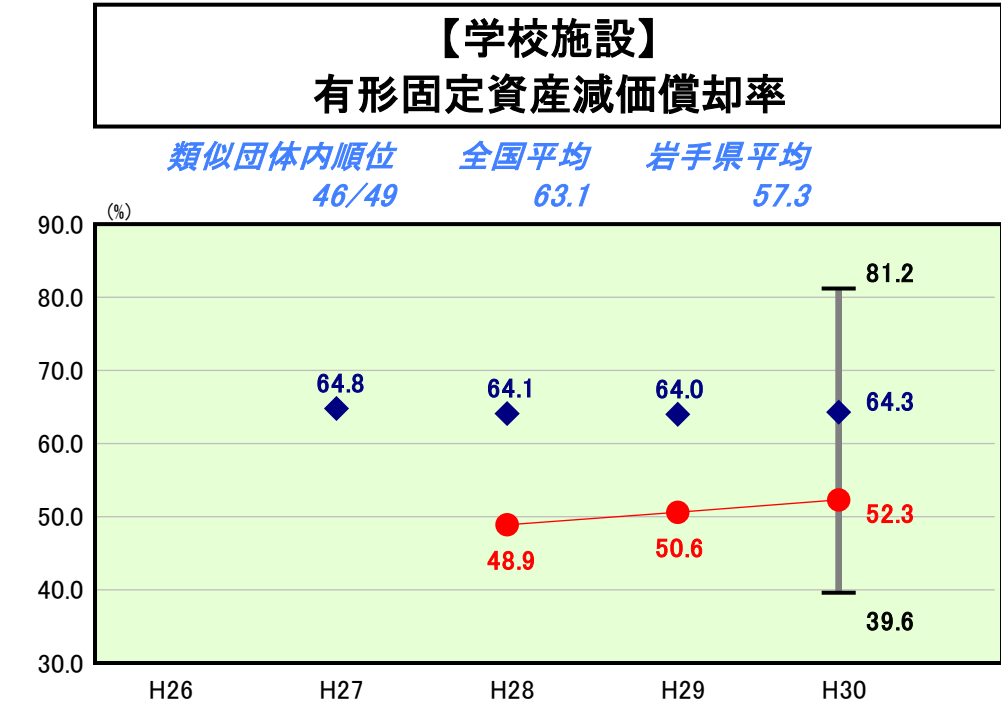
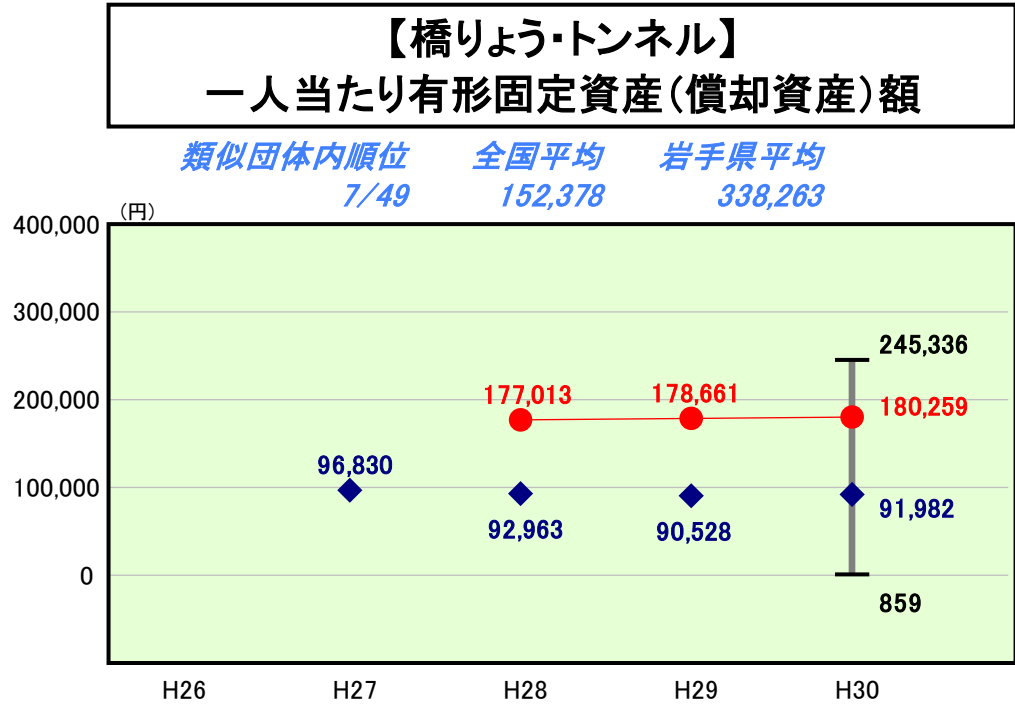
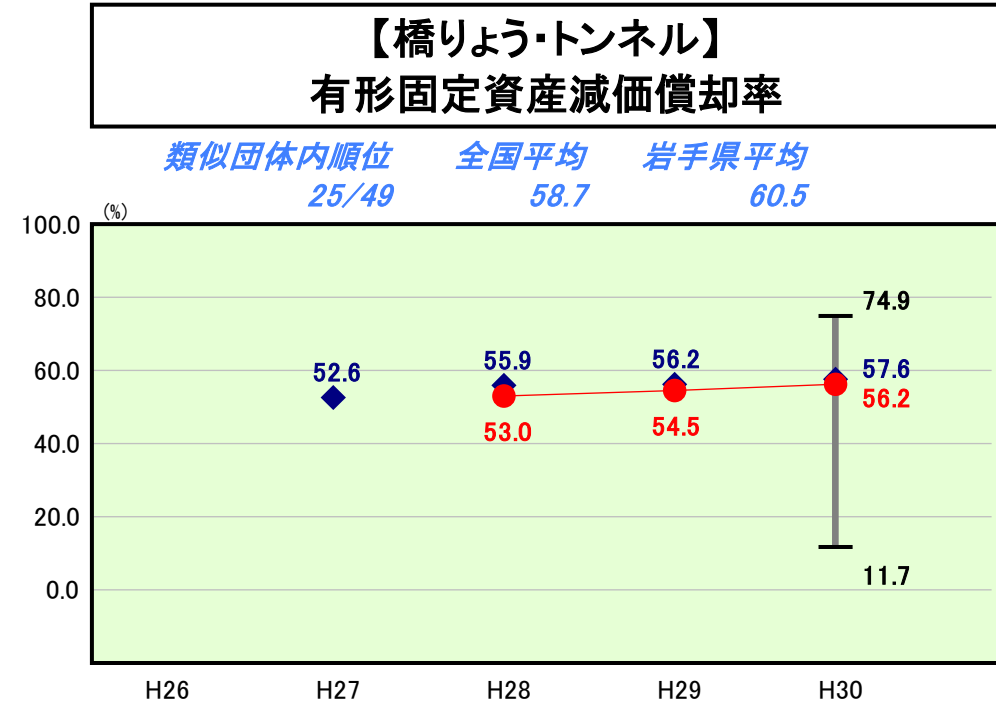
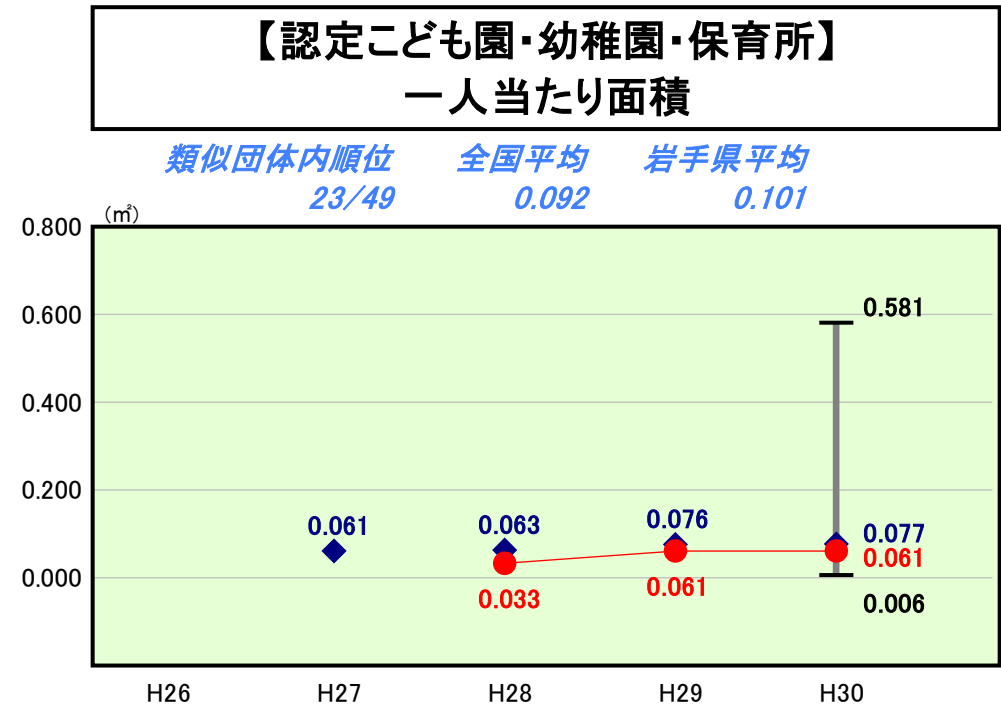
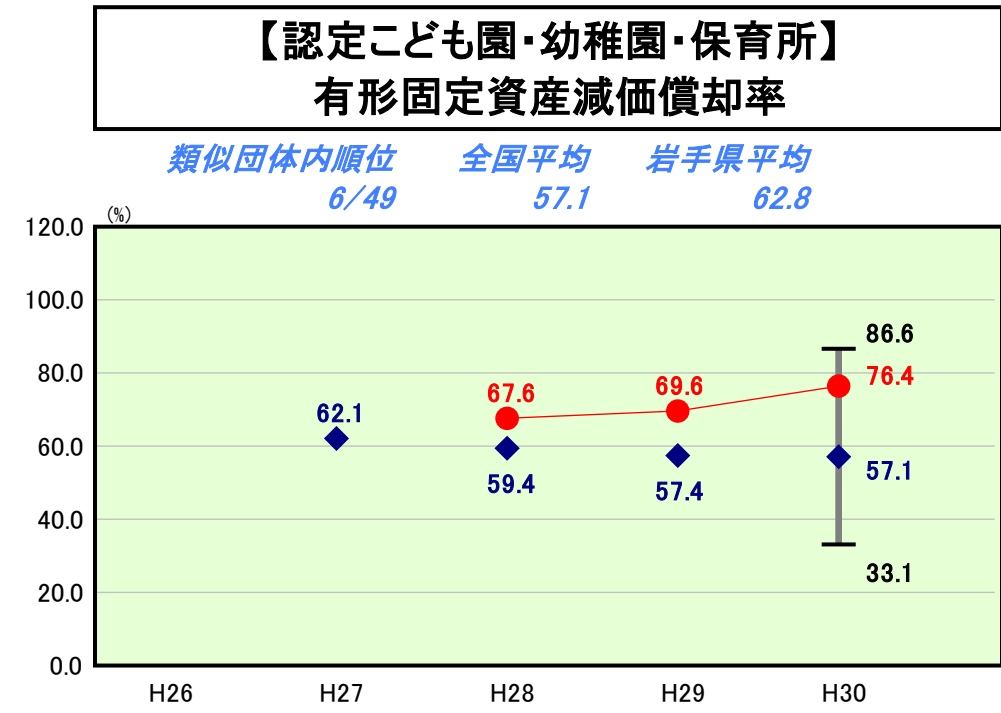
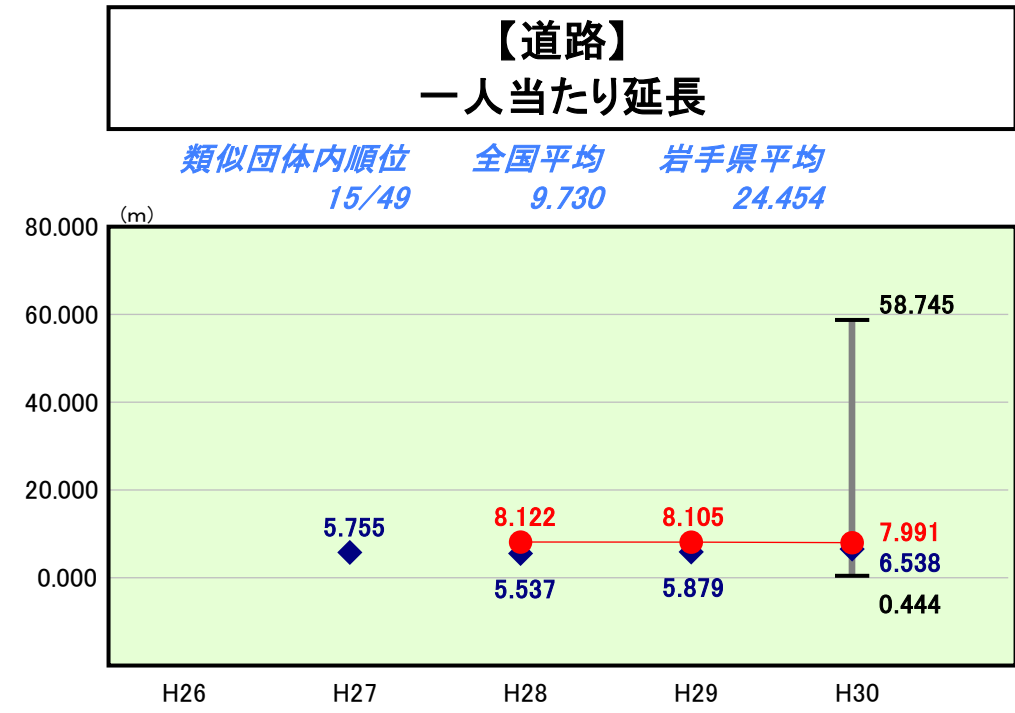
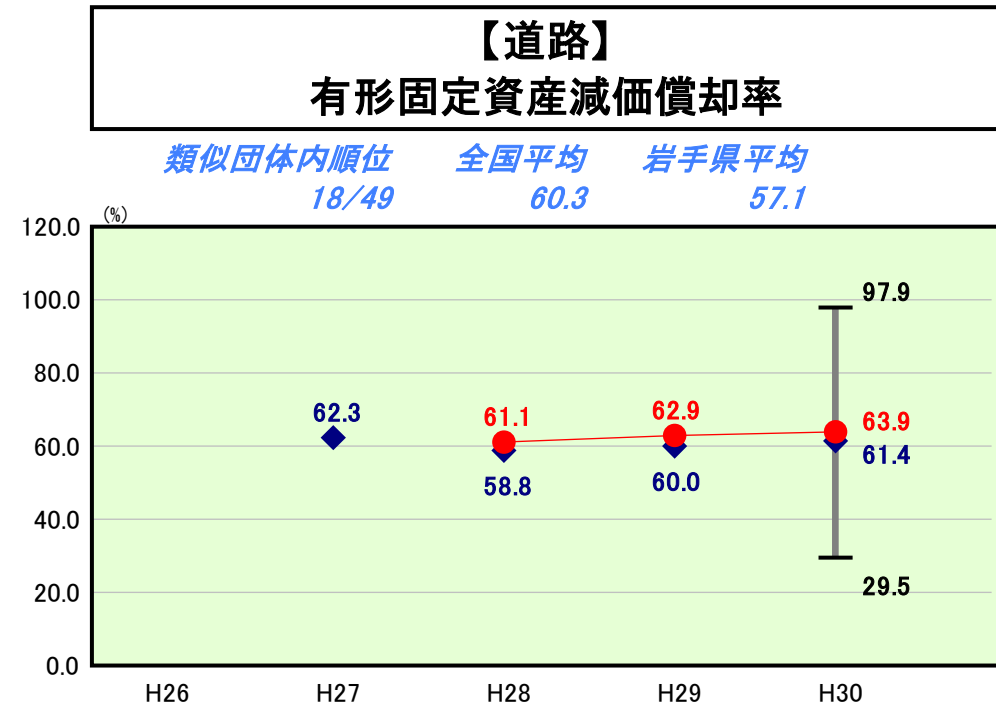
人	口	290,136	人(H31.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%	
うち日本人	人	288,667	人(H31.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	-	%	
面積	積	886.47	km ²	実	質	公	債	費	比	率	9.3	%
歳入総額	額	112,067,865	千円	得	来	負	担	比	率	60.6	%	
歳出総額	額	110,325,183	千円	市	町	村	類	型	H26	中核市	H27	中核市
実質収支	支	1,030,085	千円	(	年	度	毎	)	H29	中核市	H30	中核市
標準財政規模	規	63,911,655	千円									
地方債現在高	高	131,002,651	千円									



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄

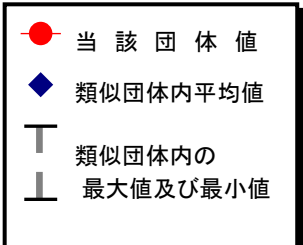
ほとんどの類型において、有形固定資産減価償却率は類似団体平均を下回っているものの、道路及び認定こども園・幼稚園・保育所においては、類似団体平均を上回っている。これは、耐用年数を迎える道路及び保育所が多いことが影響している。道路及び保育所においても、公共施設等総合管理計画等に基づき、計画的な修繕や大規模改修を行うこととしており、施設の長寿命化と適正な維持管理を行っている。道路の一人当たりの延長は減少したものの、類似団体平均を上回っている。また、市営住宅の一人当たりの面積は増加したものの、類似団体を下回っている。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

平成30年度

岩手県盛岡市

人	290,136	人(H31.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	288,667	人(H31.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面積	886.47	km ²	実	質	公	費	比	率	9.3	%
歳入総額	112,067,865	千円	得	来	負	担	比	率	60.6	%
歳出総額	110,325,183	千円	市	町	村	類	型		H26 中核市	H27 中核市
実質収支	1,030,085	千円	(	年	度	毎	)		H29 中核市	H30 中核市
標準財政規模	63,911,655	千円								
地方債現在高	131,002,651	千円								

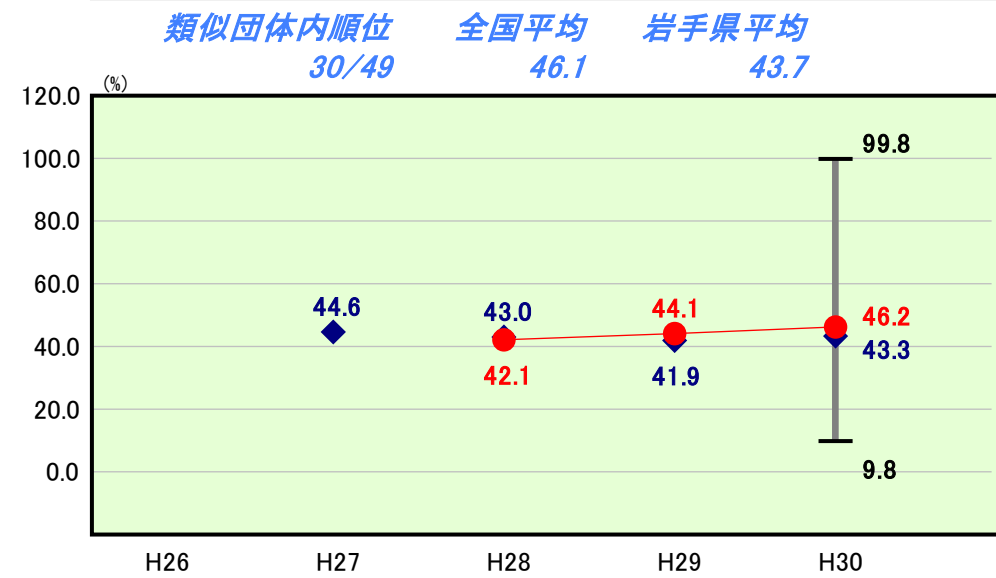


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

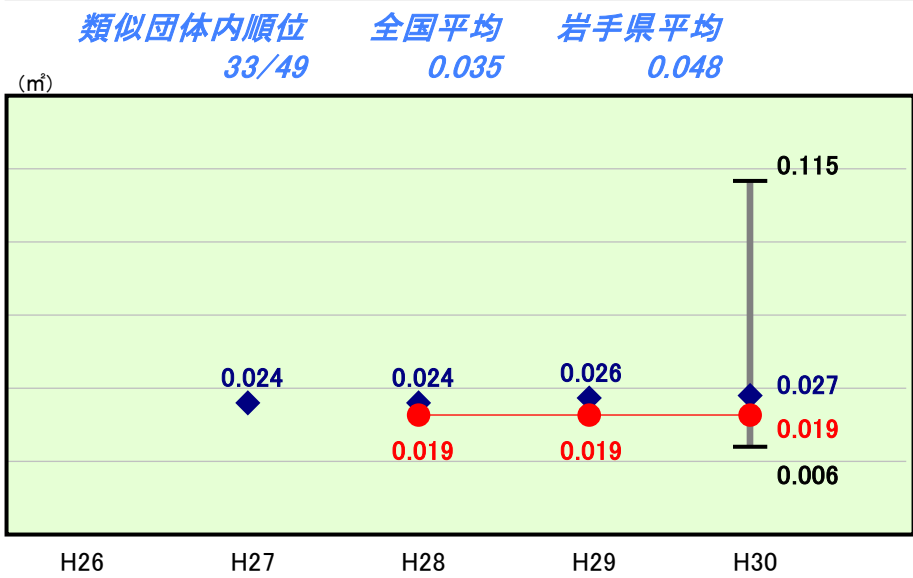
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

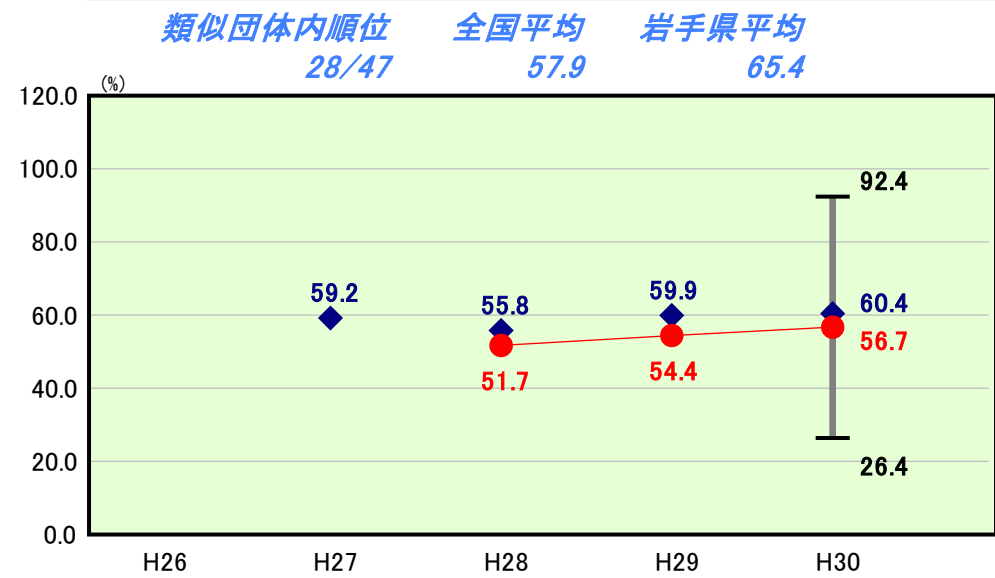
【図書館】
有形固定資産減価償却率



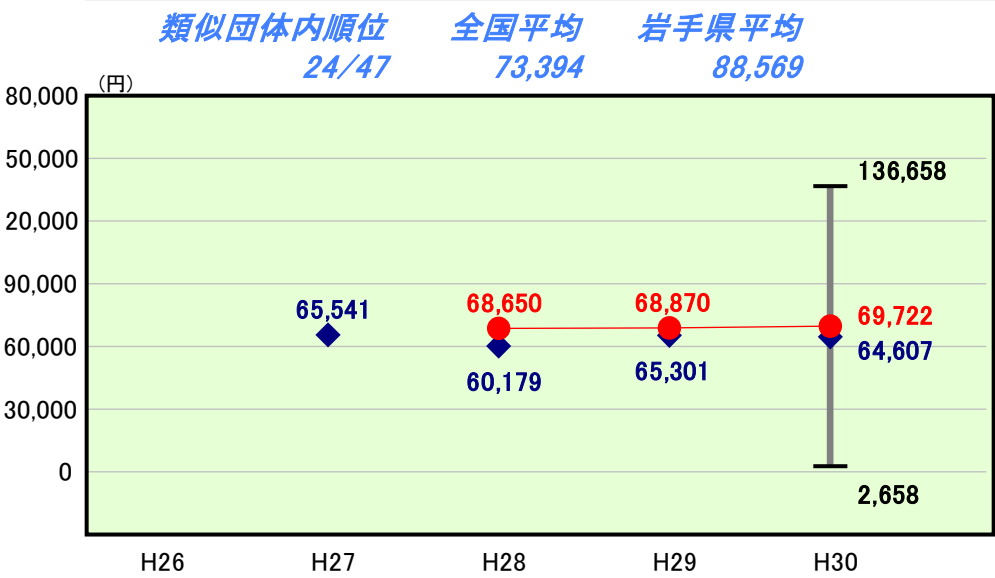
【図書館】
一人当たり面積



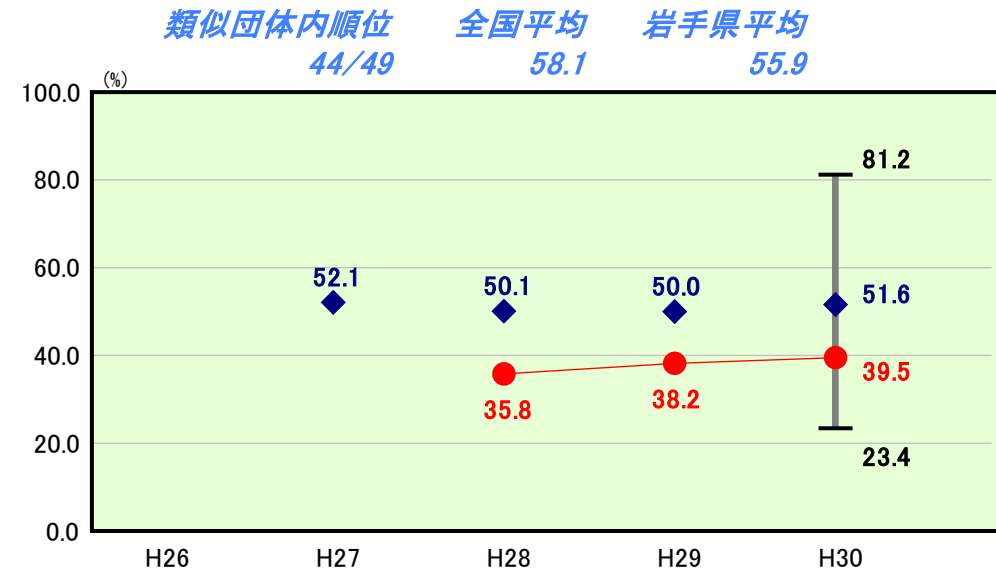
【一般廃棄物処理施設】
有形固定資産減価償却率



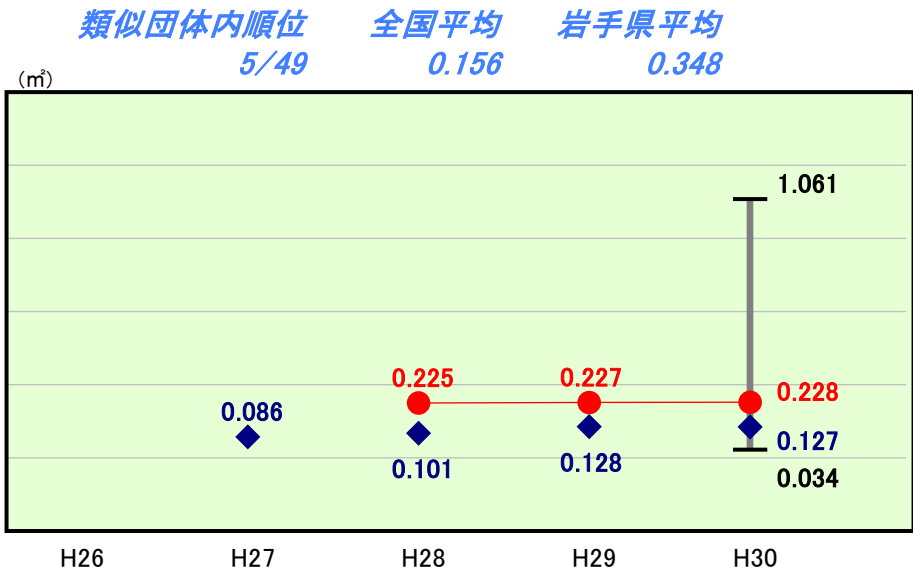
【一般廃棄物処理施設】
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



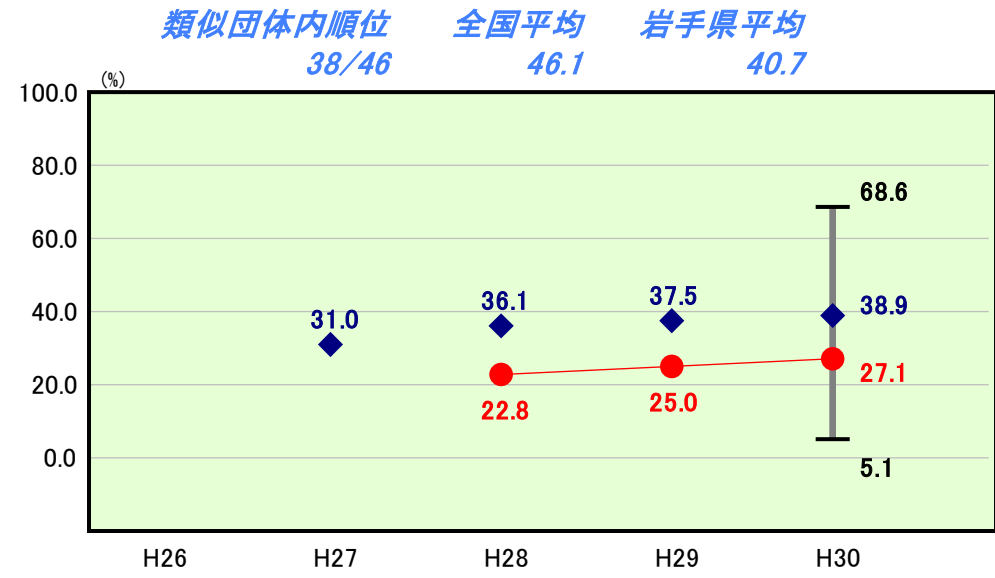
【体育館・プール】
有形固定資産減価償却率



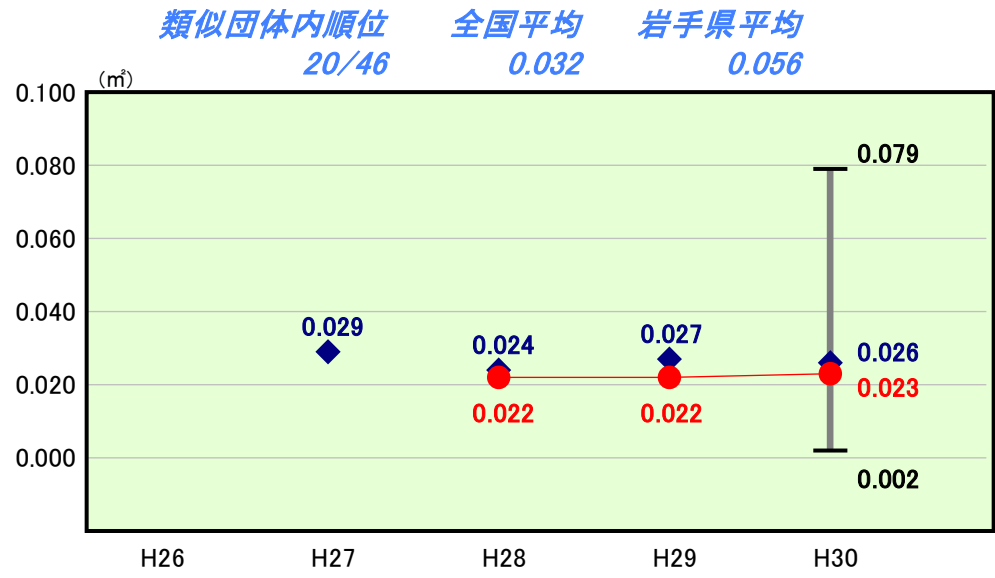
【体育館・プール】
一人当たり面積



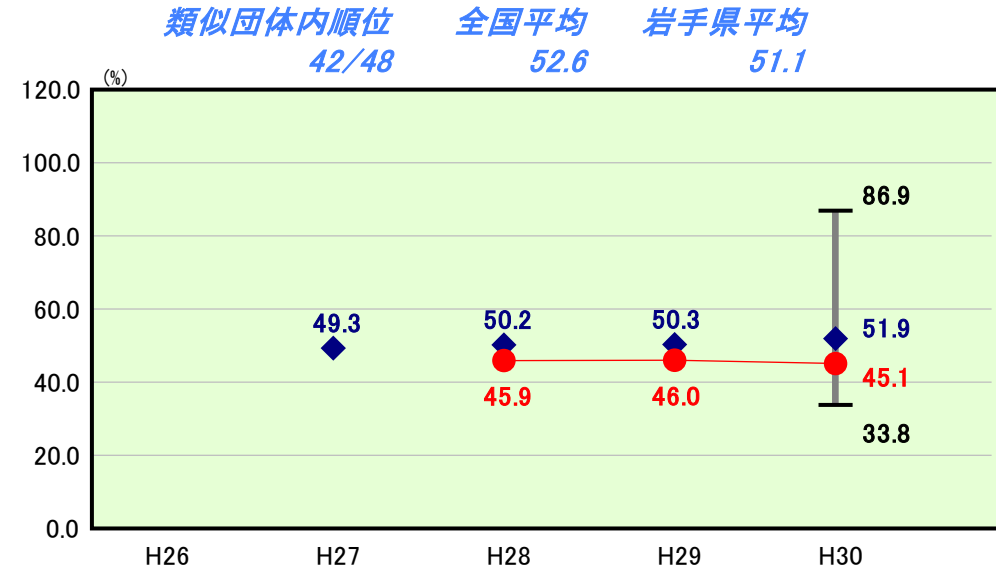
【保健センター・保健所】
有形固定資産減価償却率



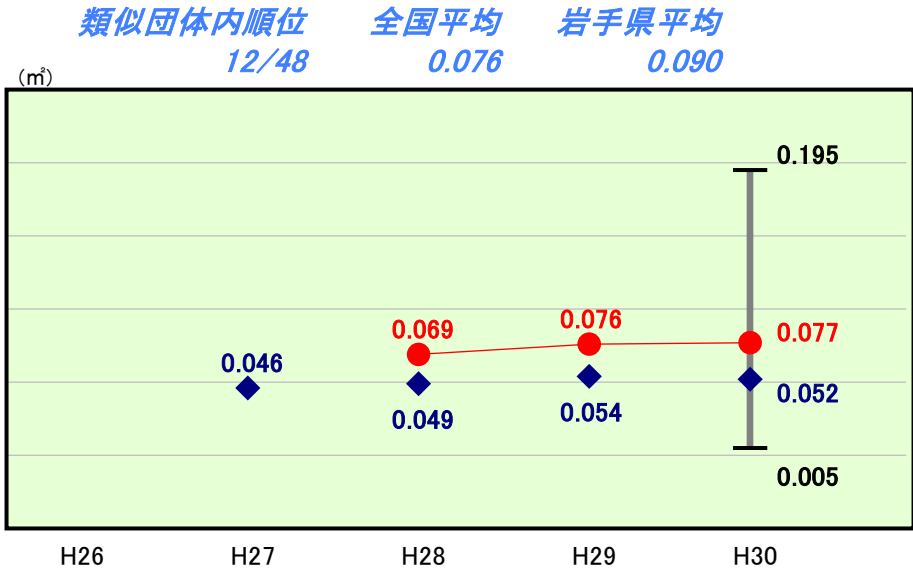
【保健センター・保健所】
一人当たり面積



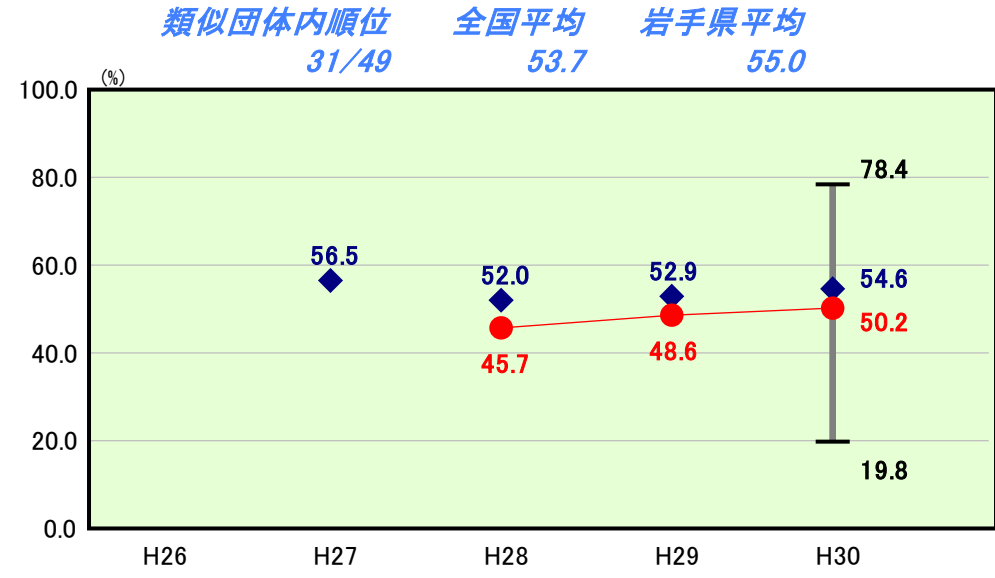
【福祉施設】
有形固定資産減価償却率



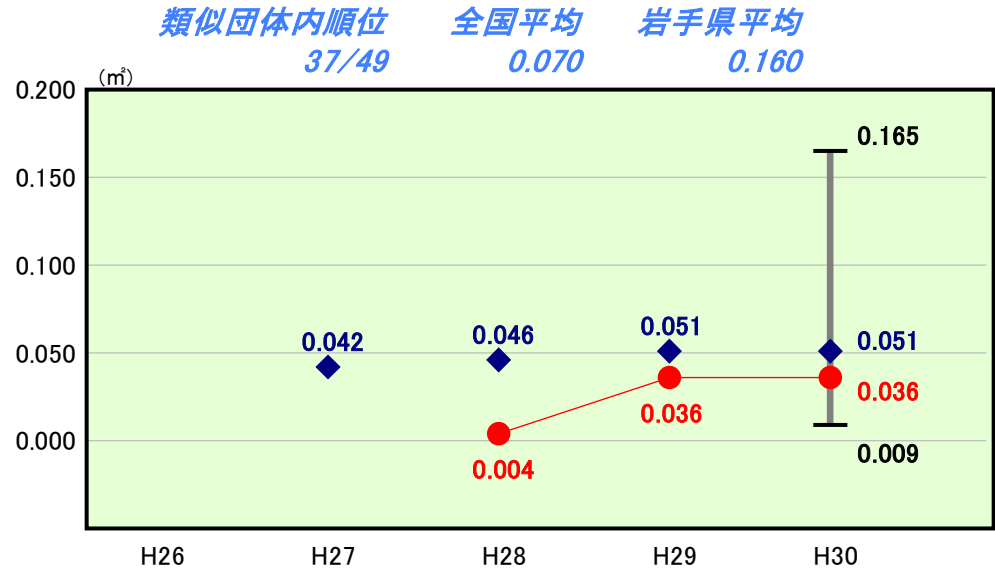
【福祉施設】
一人当たり面積



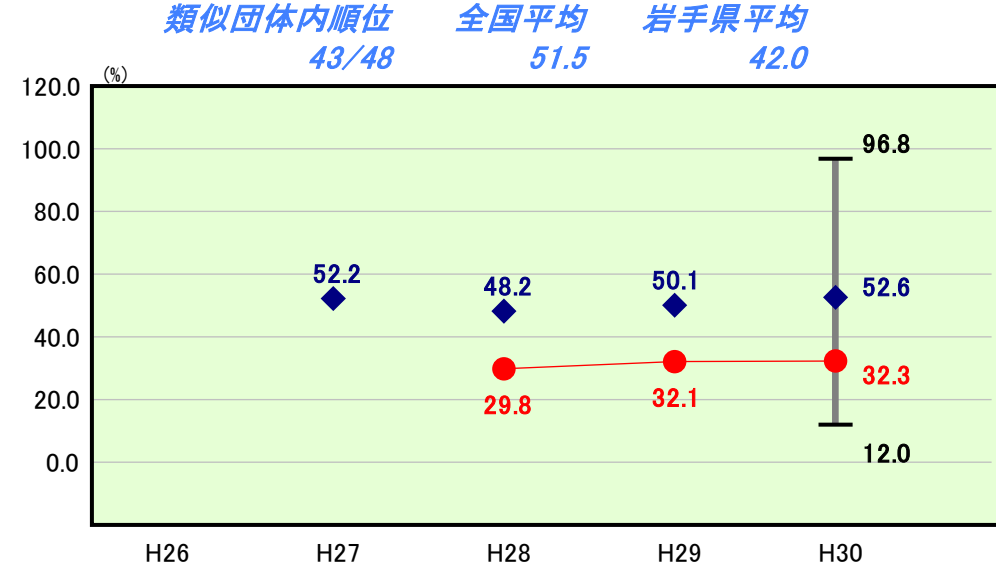
【消防施設】
有形固定資産減価償却率



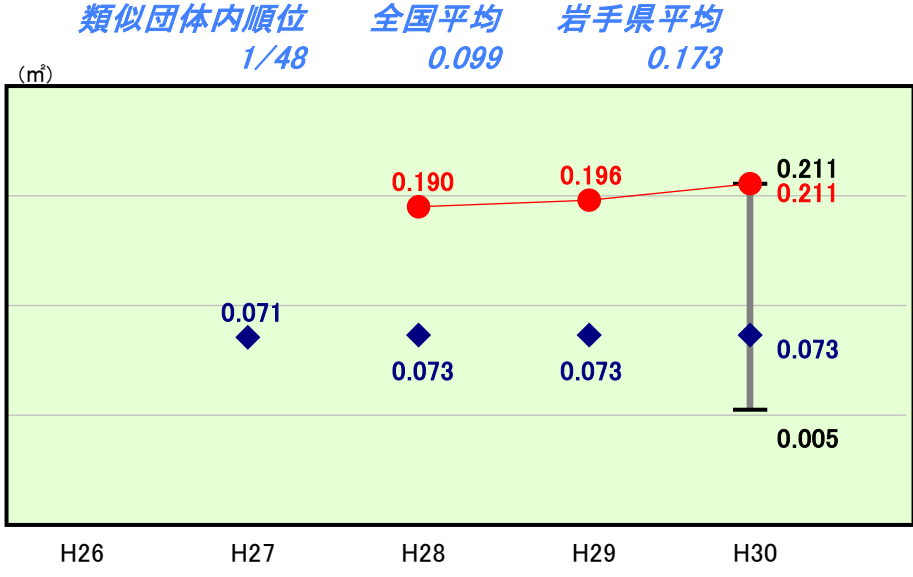
【消防施設】
一人当たり面積



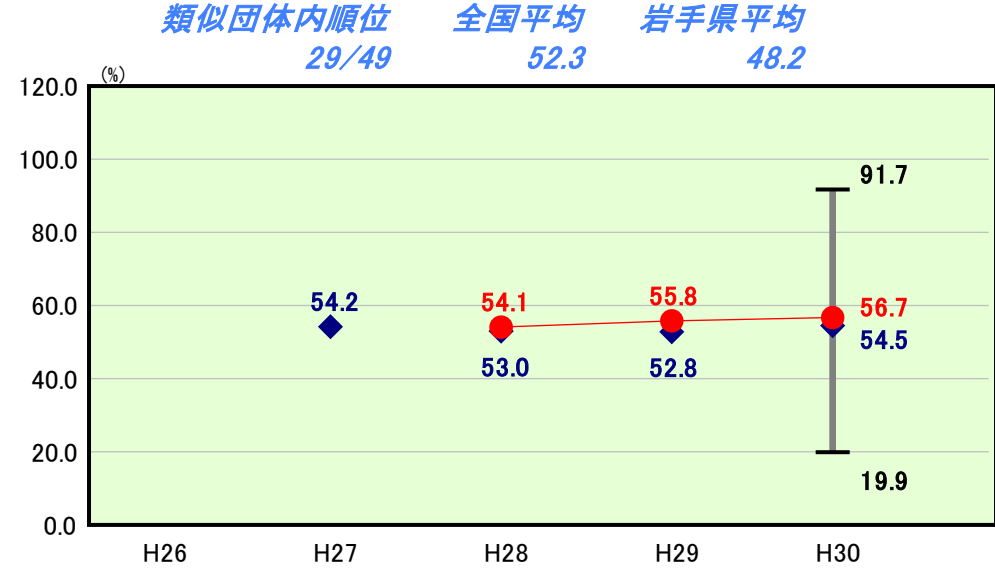
【市民会館】
有形固定資産減価償却率



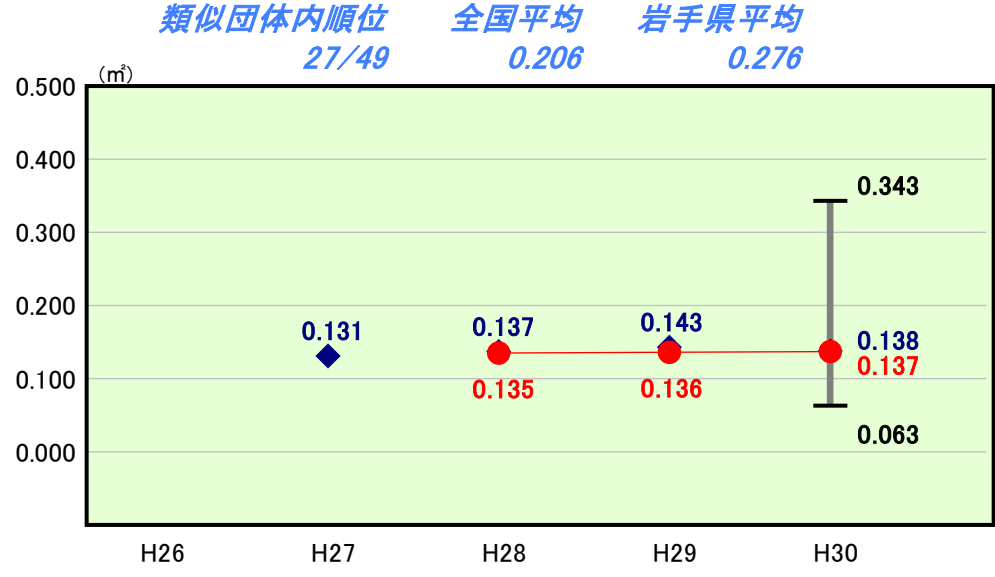
【市民会館】
一人当たり面積



【庁舎】
有形固定資産減価償却率



【庁舎】
一人当たり面積



施設情報の分析欄

ほとんどの類型において、有形固定資産減価償却率は類似団体平均を下回っているものの、図書館及び庁舎においては、類似団体平均を若干上回っている。
図書館については、昭和46年～8年の間に3館建設されており、一部の施設においては、耐用年数である50年を迎えようとしているためである。いずれの図書館も、公共施設保有最適化・長寿命化長期計画等に基づき、計画的な修繕の実施や大規模改修を行うこととしており、施設の長寿命化と適正な施設維持管理を行っている。
また、庁舎については、昭和35年に建設され、既に耐用年数である50年を超える庁舎があるためである。この庁舎については、平成25年度までに耐震改修を完了しており、その後、計画的な修繕を実施している。
一人当たり面積において、類似団体平均を下回った施設は、消防施設、庁舎、図書館、保健センター・保健所であった。